年報２０２１の発行にあたって

新型コロナウイルス感染症は2021年度も収束せず、当館事業も2020年度に引き続き感染拡大防止対策を徹底して実施しました。また、5 月 16 日にまん延防止等重点措置が群馬県に適用されたことを受け、同日から6月13日まで臨時休館し、燻蒸休館を挟んで6月23日に再開することができました。

入館にあたっては事前予約・人数制限を行い、入退館の動線を分けることで密集・密接を回避し、館内には入口やタッチパネル横などに手指消毒液を配置しましたが、イベントについては多くを中止とせざるを得ませんでした。

このような中でも県民、来館者の方が、私たちをとりまく自然の成り立ちや仕組み、自然界の構造について、展示や観察会等の教育普及活動、調査・研究を通じて理解していただくために様々な事業を行いました。

企画展は3回開催し、第63回企画展「すき間片隅植物図鑑」（2021年3月20日～5月15日）では、道端や石垣などにいる、ふだん気にとめない植物たちの、すき間片隅に適応する力や意外な生態を紹介しました。

第64回企画展「鳥がトリであるために」(2021年7月17日～9月5日、9月11日～12月5日）では、体の大きなハシビロコウから小さなハチドリまで、形さまざま、色とりどりで多様な環境に適応した鳥たちの世界を紹介しました。

第65回企画展「魅惑のハーブ＆スパイス」(2022年3月19日～5月15日)では、薬草や料理、香料として使われ、身近な存在であるスパイスやハーブに焦点をあて、その知られざる世界と魅力を紹介しました。

特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」（2022年1月22日～2月13日）では、県内で自然保護に携わる団体等の活動の成果を紹介しました。また、特別展示では日本最古のサケ属化石オンコリンクス・ラストロスス、恐竜エウブロンテス・ノビタイの足跡化石(レプリカ)、ワニの祖先型でゴニオフォリス類の新種アンフィコティルス・マイルシの実物全身骨格化石の展示を行いました。

調査研究分野では、みなかみ町及び周辺地域の学術調査を継続して実施しました。また職員による学術論文が25本報告されたほか、論文20編からなる群馬県自然史博物館研究報告第26号を発行しました。

教育普及事業は常設展定時解説や自然史博物館探検隊など多くの事業が中止となりましたが、サイエンス・サタデーやミュージアムスクールなどは一部が中止となったものの感染対策をとり実施しました。

感染拡大防止にもなるオンラインを活用した動画配信などの新たな取組はオンラインの利点を活かすよう工夫を重ねながら実施しました。また、当館は1996年の開館から25年を迎えました。そこで開館 25 周年特別企画として「長谷川名誉館長と真鍋特別館長による特別対談」を実施し、動画で配信しました。

当館の活動には博物館友の会・博物館ボランティアの皆様をはじめ、県内外の研究者、自治体関係者、関係する企業・団体など多くの皆様に多大なる御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

このたび 2021 年度の事業の概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願い申し上げ、御挨拶といたします。

2022年7月

群馬県立自然史博物館長　藤巻　薫

Ⅰ　管理

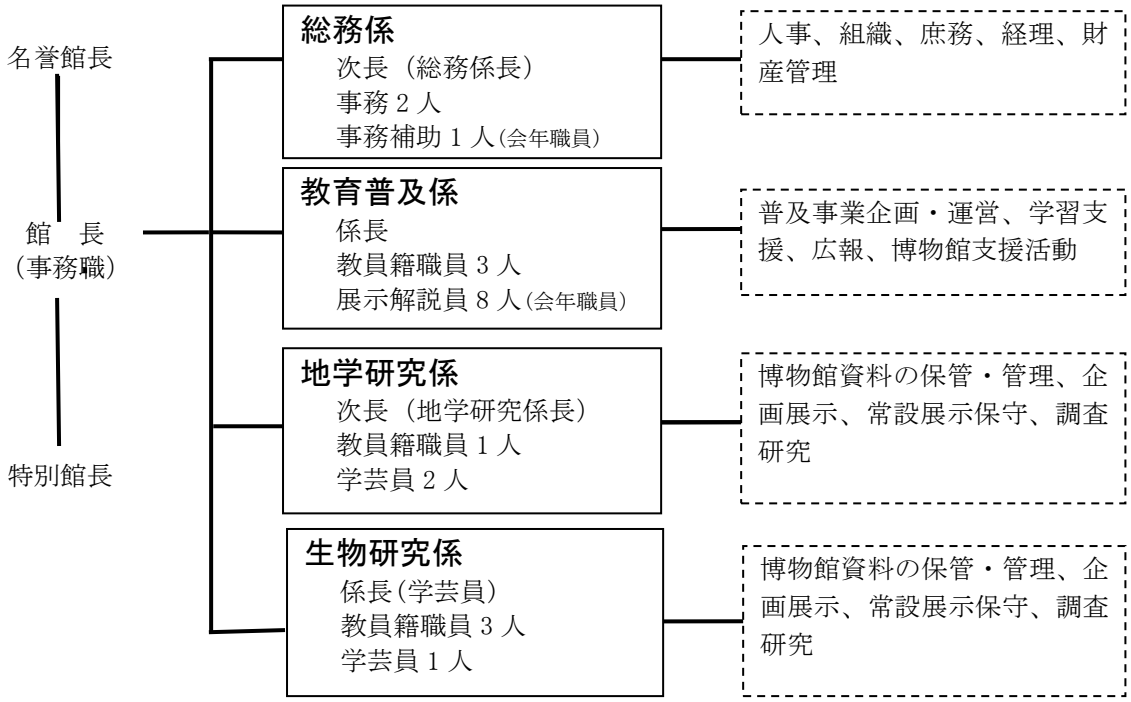
1　沿革

群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。

昭和 32 年 3 月 12 日	「群馬県立博物館」として開館（群馬県富岡市一ノ宮 1353）
昭和 54 年 10 月 17 日	「群馬県立博物館」を廃止、「群馬県立歴史博物館」開館
昭和 57 年 7 月 16 日	「旧県立博物館」を改修し、「群馬県立自然科学資料館」として開館
昭和 63 年 12 月 1 日	「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置（学識経験者 10 名、行政職 6 名）
平成元年 4 月 1 日	群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
平成 4 年 2 月 3 日	建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
平成 4 年 3 月 31 日	建築基本設計終了
平成 5 年 1 月 28 日	(株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結 (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
平成 5 年 4 月 1 日	県教委文化振興課に建設準備室を設置
平成 5 年 7 月 31 日	建設実施設計終了
平成 5 年 8 月 31 日	展示実施設計終了
平成 6 年 6 月 30 日	建築工事等着工
平成 7 年 4 月 1 日	長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が参与に就任
平成 8 年 3 月 15 日	建築工事等竣工
平成 8 年 3 月 27 日	「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
平成 8 年 3 月 31 日	「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ 併せて群馬県立歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
平成 8 年 4 月 1 日	「群馬県立自然史博物館」発足（事務局：前橋市大友町庁舎３階） 職員 18 名（副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名） 非常勤嘱託 5 名 長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が初代館長に就任
平成 8 年 5 月 16 日	附帯ホール（愛称「かぶら文化ホール」）の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
平成 8 年 5 月 27 日	事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
平成 8 年 5 月 31 日	財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
平成 8 年 9 月 14 日	展示工事竣工（(株)丹青社）
平成 8 年 10 月 21 日	開館記念式典
平成 8 年 10 月 22 日	「群馬県立自然史博物館」開館（一般公開） 開館記念展（第１回）「アルゼンチンの大恐竜展」開催
平成 14 年 1 月	開館５周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催(1月4日~2月17日) 開館５周年記念講演会「ヒトと森と一森がヒトをはぐくむ」開催（26 日）
平成 14 年 6 月 9 日	入館者 100 万人達成
平成 18 年４月 1 日	附帯ホールに指定管理者制度が導入され、富岡市が指定管理者になる
平成 18 年 7 月 15 日	開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア　～ふしぎな動物たちの世界～」開催
平成 19 年 1 月 4 日	開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
平成 20 年 8 月 8 日	入館者 200 万人達成
平成 22 年 2 月	正面玄関プロムナード路面改修
平成 22 年 3 月	尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
平成 23 年 7 月	開館 15 周年記念展「よみがえる！謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催（7 月 16 日～11 月 20 日）
平成 23 年 9 月 17 日	入館者 250 万人達成
平成 24 年 10 月 16 日	平成 23 年度博物館活動の評価(内部評価)結果公表
平成 25 年 11 月 8 日	平成 24 年度博物館活動の評価(内部評価)に対する外部委員意見公表
平成 26 年 4 月 1 日	自然史博物館ＥＳＣＯサービス開始
平成 26 年 8 月 17 日	入館者 300 万人達成
平成 28 年 7 月 16 日	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex*」開催
平成 28 年 9 月 30 日	開館 20 周年記念式典開催
平成 29 年 1 月 14 日	開館 20 周年記念「自然史博物館 20 年のあゆみ」開催
平成 29 年 4 月 16 日	入館者 350 万人達成
令和 2 年 1 月 18 日	入館者 500 万人達成

令和２年３月１日　　新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（６月１日まで）
令和２年４月１日　　長谷川善和名誉館長が活動の拠点を長野県飯田市へ移転
　　真鍋真氏（博士(理学)・国立科学博物館）が特別館長に就任
令和３年７月 17 日　　開館 25 周年記念展「鳥がトリであるために」開催
令和３年 11 月 21 日　　開館 25 周年記念　長谷川名誉館長、真鍋特別館長による特別対談実施

２ 組織



３ 事業体系

管理運営			人事、組織	総務係
			予算、経理	
			施設管理	
			庶務	
事業	展示		常設展示保守、改修	地学・生物研究係
			企画展示	
	教育普及事業	一般対象	展示解説	教育普及係
			ビデオ上映会	
			スポット解説（一般、学校向け）	
			紙芝居	
			ファミリー観察会	
			天体観望会	
			自然史講座	
			企画展講演会	
			企画展自然教室	
			学芸員解説ツアー	
			出張展示	
			サイエンス・サタデー	

	教育普及事業	一般対象	ミュージアム・ナイト・ツアー	教育普及係
			バックヤード・ツアー	
		成人対象	大人の自然史倶楽部	
		高校生対象	高校生学芸員	
		小中学生対象	ミュージアム・スクール	
		小学生対象	自然史博物館探検隊	
事業	学校教育支援		館内授業・出前授業	教育普及係
			職場体験	
			教育用資料貸出	
			博物館実習・大学生インターン	地学・生物
	調査研究		みなかみ町及び周辺地域学術調査	地学・生物研究係
			分野別調査研究	
			外部研究機関との連携調査研究	
			研究報告出版	
	情報システム			全体
	資料収集・保存・管理		採集	地学・生物研究係
			製作委託・購入	
			寄贈・寄託・移管	
			貸出・借用管理	
			文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報		ボランティア	教育普及係
			友の会	
			視察受入	
			広報	
			相談指導	
	自治体等との連携		調査	全体
			相談指導	

４ 管理運営業務

（1）観覧者数の状況

令和３年度の観覧者数は 129,301 人（前年比 152.5%）で、前年度に比べ 44,504 人増加した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による休館日数が、令和３年度は令和２年度よりも少なかったこと、令和２年度より導入した事前予約制を継続したものの、県内の警戒度に応じ、1 日の入館人数を柔軟に増減したことによると考えられる。

企画展毎の状況をみると、令和２年３月から開催予定であった第 64 回企画展「鳥がトリであるために」は、会期を７月から９月をシーズン１、９月から１２月までをシーズン２として開催し、期間中に 74,317 人の観覧があった。「鳥がトリであるために」は、開館 25 周年記念の企画展として、自然史博物館の基盤である調査研究の成果を、当館収蔵資料の蓄積とともに紹介した。

令和４年３月からは第 65 回企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」を開催し、人の生活の中で何らかの分野で有益な役割を果たしているスパイスとハーブについて、来歴、利用する部位の違い、有用性、効果等を紹介した。

令和４年１～２月に開催した特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」では、地域に根ざした団体等が研究活動成果の発表を行い、来館者に好評を博した。期間中、１日平均 262 人の観覧者があり、学校団体等の減少する冬場の誘客にも貢献したといえる。

また、文化庁からの受託事業で、コロナ禍での新たな試みとして、３次元デジタルデータを活用したオンライン講座の実施などを通じ、恐竜化石を通じた交際交流のため、バーチャル恐竜博物館の取り組みを進め、令和４年２月にシンポジウムのオンライン配信（無料）を行った。

今後も魅力的な企画展示を引き続き行うとともに、工夫を凝らした教育普及事業や解説員によるわかりやすい展示解説など、平素の活動にも一層力点を置く。

なお、開館以来の累計の観覧者数は、4,340,812 人となり。１日平均の観覧者数は 590 人である。また、年度別の観覧者数の推移は、次のとおりである。（詳細は 116 ページ参照）

観覧者の推移

年度	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ１０	Ｈ１１	Ｈ１２	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
観覧者数	120,712	207,688	165,071	150,211	156,633	159,416	166,989	171,697
１日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
観覧者数	160,456	153,613	166,629	161,626	146,170	162,760	148,697	177,698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０	Ｒ１
開館日数	290	288	289	290	289	287	290	263
観覧者数	182,038	166,533	167,549	188,680	212,022	209,136	220,039	204,654
一日平均	628	578	580	651	734	728	981	778

年度	Ｒ２	Ｒ３	累　計
開館日数	234	261	7,353
観覧者数	84,797	129,301	4,340,812
一日平均	362	495	590

＊観覧者数は実観覧者数であり、教育普及事業等の参加人員は含まない。

(2)歳入歳出決算の状況

歳入　　単位（千円）

区　　分	金　　額	内　　容
博物館入館料	３９，７１６	観覧料
施設使用料	４８１	ミュージアムショップ他
財産収入	１，２４２	自動販売機設置収入
雑　　入	４，９６９	船の科学館助成金 3,301 千円含む
計	４６，４０８	

歳出

事　業　名	金　　額	内　　容
館　運　営	２３１，３６７	館の維持管理、事業運営等
博物展示	４６，７０４	常設展示メンテナンス、企画展
教育普及活動	２，０４１	観察会等教育普及事業
調査研究	８，３７８	フィールド調査、学会参加
計	２８８，４９０	

(3)博物館評価の実施

令和元年度に引き続き令和２年度の博物館活動の自己評価を行い、令和３年11月26日から博物館ホームページで公開した。この後、３名の博物館専門委員を委嘱し、自己評価に対する意見聴取を行った。意見聴取の結果についても令和３年11月26日付けで博物館ホームページで公開した。

群馬県立自然史博物館専門委員（令和３年度）

・株式会社丹青研究所文化空間情報部部長　　石川　貴敏
・上毛新聞社論説委員長　　小田川　浩道
・埼玉県立自然の博物館元館長　　中村　修美

令和２年度の自己評価結果及びそれに対する専門委員の意見は次のとおり。

令和２年度　自然史博物館活動の評価結果

令和３年７月６日
群馬県立自然史博物館

１　はじめに

本評価は、平成 23 年度に策定した「活動目標の評価指標表（評価指標）」を用いた内部評価であり今回で 10 回目となるものである。本評価結果を踏まえ、今後の博物館活動の改善と充実につなげていきたい。

２　評価方法等について

（１）評価指標

評価指標は、令和元年度に実施した評価結果を踏まえ、令和２年度目標値として設定を行っている。

（２）評価作業

評価作業は職員 10 名による内部評価ＷＧが中心となって進め、素案作成後、職員全員で決定するという方法によった。

（３）結果の公表

評価結果については、全職員にフィードバックし、個々の業務改善につなげるほか、ＨＰにて公表し、県有施設としての説明責任を果たすために役立てたい。

※　博物館活動の評価に至る経緯、自然史博物館の使命と事業方針等は、平成 23 年度の評価結果を参照してください。

３　外部評価

平成 24 年度の評価から導入し、博物館活動に造詣の深い３名の外部有識者を専門委員に委嘱し、博物館活動に対する意見を毎年いただいている。昨年度の評価は、令和２年９月 30 日に評価委員会を開催して意見交換を行った後、同年 11 月 27 日に意見の公表を行った。

口頭及び文書で多岐にわたる有益な意見をいただき、特に収蔵スペース不足への対応、広報、オンラインの活用については館内で検討を継続し、一つずつ取組を進めているところである。

４　自己評価結果

（１）資料の収集・保存と活用　（「未来に伝える博物館」）

資料収集について、採集等により収集した資料の合計点数は、目標値 6,000 点を 1,308 点下回る 4,692 点、新規寄贈・移管等は 729 点であった。追加される資料数は年度ごとに大きく変わるが、令和２年度は、コロナ禍で調査があまりできなかったこと、収蔵庫が飽和状態のため寄贈に基準を設けていることなどの影響が大きい。

資料保存について、一部の資料を除き、資料は温湿度管理、日常の点検、定期的な燻蒸等により、安全に管理されている。ESCO 事業導入後、収蔵庫の温湿度は新たな空調機器により管理されている。今後も微調整を加えながら適切な運用を継続したい。収集資料のデータベースは、常時サーバで運用されるとともに、第４次システムでは館外のサーバでの保存が行われている。

収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっており、第一収蔵庫・第二収蔵庫ともに慢性的かつ深刻な課題は解消できていない。温湿度が管理された収蔵庫での資料保存を優先するために収蔵・配架を行ったので、分類群ごとの整頓、資料を安全に出し入れできる配架、資料を運搬する動線など、配慮しきれないところがあった。各種調査活動に伴い毎年増える証拠標本（令和２年度は、採集・寄贈・移管等 5,464 点）は、永年に渡り受け継がれる資料であることを考えると収蔵庫に保管していかなくてはならない。そのため、収蔵スペースに対して資料がオーバーフローしている非常事態となっている。資料活用時の作業のたびに通路の標本を移動させる必要があるため、資料を破損させる危険性が伴い、通常より労力と繊細な作業が求められている。

収蔵スペース確保のための取組として、はじめに、収蔵庫の棚や床の収蔵率調査を行った。100％近い棚に加え、通路にも仮置きされた状態である。次に、標本の再配架を行いスペースの確保に取り組んだ。しかし、再配架では十分なスペースが確保できていない。さらに、標本数をコントロールするため、調査のときの収蔵基準の検討をしている。また、新規寄贈もなかなか受け入れられない状況にある。新規寄贈については、受け入れ方針の見直しを行い、同定可能で良好な状況にある標本（詳細なデータのあるもの、絶滅危惧種、稀産種、年次から侵入史研究上重要な標本、研究上重要な標本、喪失・荒廃により今後の追加収集が見込めない産地の標本）のみを登録・配架することとした。しかし、収蔵資料は今後も増え続けるため、収蔵庫の必要性をはたらきかけていきたい。

資料の活用について、企画展などでの資料公開、他館への資料貸出、学校関係などへの教

育普及面での資料貸出、レファレンス対応や研究者などによる特別観覧などの事例があり、今年度も収蔵資料は活用された。コロナ禍で企画展の中止や日程変更の影響を受け、前年度の実績値より減少しているもののニーズはある。S-Net、GBIF 等の外部データベースへの収蔵情報の発信は今年度も継続して行われた。

（２）調査研究　（「魅力を引き出す博物館」）

調査研究の推進では、令和２年度は 5 年計画で行われるみなかみ地域総合学術調査の４年目で、延べ 32 回（前年比－38 回）の現地調査を行った。緊急事態宣言の発出や、新型コロナ感染症流行第２波による外出自粛のため、特に宿泊を伴う調査、協力者と行う調査の大幅減を強いられた。各職員が独自に行っている調査研究は 15 分野 37 研究、外部研究施設等と連携している調査研究は 40 研究で、前年度並みで推移した。研究成果の公表では、発表論文数 26、雑誌等への発表 18 で、これらは前年度並みである。しかし、学会等発表数は 14 タイトル（前年度－12 タイトル）であった。新型コロナウイルス感染症流行に伴う学会・研究会中止が相次いだことが減少の直接的な原因である。うち２件はオンライン開催またはリモート＋現地のハイブリッド形式での発表であった。外部連携・招聘による講演会講座等数は 20 件で、過去５年間で２番目に少なかった。うちオンライン講演会が７件、ハイブリッド形式が２件で、全体のほぼ半数を占めた。市民参加型調査や市民連携の調査は５件で、過去５年間３～５件で推移している。令和２年度の調査研究部門の活動実績は、いずれも目標には達しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、自然史調査の回数や学会発表で大きく前年度を下回った。一方で、Zoom や Skype を用いた講演会・講習会や、野外における少人数の講座、オンラインの学会・研究集会での発表など、新しい生活様式に対応した活動も、年度の後半には確実に比重が高まってきた。今後は、従来の現地に根ざした調査研究の推進とともに、その発表や成果の普及・啓発には、with corona 時代に合った方法を積極的に取り入れることが今後も求められる。オンラインを用いた発表や学会参加を誰もができるよう、館内のインフラ整備を具体化する予定である。

（３）展　示　（「知を広め、高める博物館」）

令和２年度は新型コロナウィルス感染症の影響により令和元年度 3 月から約３か月間の臨時休館、そしてその後は事前予約制・定員制による開館となった。そのため観覧者数は当初の目標値に対して大幅な減少となった（84,794 名）。今後も新型コロナウィルス感染症への対応について先が見通すことが困難であるとともに、仮に開館できたとしても事前予約制・定員制の継続が見込まれるため、観覧者目標値についてはこれまでより大幅に少ない人数としている。

新型コロナウィルス感染症の影響は観覧者数以外の指標でも顕著で、常設展示における更新標本数、展示解説は目標値に達しなかった。また対面による感染リスクへの配慮から令和２年度は解説員による定時解説は実施しなかった。定時解説については引き続き令和３年度も実施を予定していないため、目標値の設定を行わなかった。

その他の指標ではアンケートにもとづいたリピーター率は 66％であり、例年よりもわずかに高い数値となった。またアンケートによる常設展示の満足率は 100％であった。これまでと同様に当館ではリピーター率が高く、これは過去の来館で満足をしていただいた来館者の方の割合が多いことを示していると考えられる。なお本年度は新型コロナウィルス感染症への対応として、顕微鏡について非接触型の装置への更新、zoom を利用したオンライン解説への取り組みを行った。引き続き、来館者の方の満足度向上に向けて取り組みを進めていくことで，現状を維持・向上させていきたい。

（４）教育普及（「知を広め、高める博物館」－わくわく・ドキドキ・新発見－）

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館を受けてイベント中止などの期間が長かった。そのため、令和２年度に計画されていたイベントの多くを中止することになった。８月からイベント開催に向け少人数でのイベントを開催し、安全な開催方法を確認して９月から計画されていたイベントを再開した。開催方法として、参加者の距離の

確保をするために予定した定員を半分にし、座席の配置を家族単位に限定することで新型コロナウイルス感染症対策を行った。そのため、普及事業の参加者数は、大幅に減ることとなった。また、ボランティアや友の会の活動においても、入館制限や活動制限があり活動回数や入会数なども減少することになった。

しかし、学校への講師派遣が４４件と前年を上回った。校外学習等の中止により来館ができない学校への講師派遣を行い、本物に触れる体験をした。また、ホリデー・サイエンスや企画展ワークショップなどイベントを新たに開催し、中止になったイベントの代替を行った。さらに、常設展示室に解説員の Q&A パネルを展示したり紙面を使った館内ウォークラリーを開催したりした。そして、おうちミュージアムを開設し、既存のデジタルコンテンツの公開や新たなコンテンツも開発した。イベントでは、オンライン講座を実施し、コロナ禍でも楽しめる方法を構築し始めた。こうした積み重ねにより、参加者の満足度は１００％となり高い水準であった。令和３年度は、引き続きイベント開催するとともに代替などを検討していきたい。

（５）情報の発信と公開　（「知を広め、高める博物館」）

令和２年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止における臨時休館やイベント自粛に伴い、企画展や普及イベント等の館内イベントが減少したことで、各メディア（新聞やラジオ・テレビなど）に取り上げられる件数も大きく減少した。（県広報を介した発信：12 件（前年度比 38%）、館からの発信：63 件（前年度比 53%）、メディアの取材対応件数は 12 件（前年度比 32%）。しかし、ホームページの更新件数は 442 件（前年度比 247%）、フェイスブックでの情報発信件数は 335 件（前年度比 228%）と大きく増加した。見通しのきかない社会情勢を敏感にキャッチし、博物館の最新情報を広く発信するため、HP や SNS を積極的に活用した。８月には、公式ツイッターを開設（フォロワー数：468）し、幅広い客層をターゲットにリアルタイムの博物館情報を広く発信した。また、企画展毎のポスターやチラシの作成、図録の発行、イベントカレンダー（上期・下期）や博物館だより「デメテール」（２回）を発刊すると共に、文真堂書店や上信電鉄等の企業と連携しながら博物館情報を紙媒体を活用して広く県民に周知した。今後は、各媒体の特徴を生かしながら効果的な情報発信を推進したい。

（６）シンクタンクとしての社会貢献　（「知を広め、高める博物館」）

公共の博物館として、その有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師の派遣など、シンクタンクとしての機能を充実させ社会貢献を果たすことは博物館の重要な使命の一つである。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での活動、特に、一般の方の来館による問い合わせ、学校・主任会・研修会等の講師派遣数が減少し、いずれも目標値に届かなかった。しかし、一般の方、自治体および各種機関･団体、学会等からの電話やメール等での問い合わせ、他の博物館等からの資料貸出や連携事業等に関しては、例年と同程度の要望があったので、引き続き専門知識を提供していく。

また、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、大学生・大学院生の博物館実習やインターンの受け入れを見送った。令和 3 年度以降は感染状況を踏まえながら、受け入れ可否の判断をすることとなるが、感染対策を実施しオンライン等を活用しながら対応していく。年々、博物館への情報提供を求める要望の高まりを感じるので、引き続き専門性を高め、要望への対応を強化していきたい。

（７）マネージメント　（経営）

平成 28 年度にこれからの 10 年の館運営の基本的な考え方や理念や使命、機能、事業活動方針と事業展開方向などを盛り込んだ基本構想「自然史博物館のこれからの 10 年」を公表した。引き続き基本構想に則して事業展開をすすめていく。

安全で利用しやすい博物館施設への改善では、施設改修等は予算的な制約から大幅な進展は見込めない状況であるが、開館後 25 年が経ち、建物の老朽化が見られる。令和元年東日

本台風の影響で常設展示室内に雨漏りが発生したため、屋根の応急修繕工事を行った。今後も入館者の安全対策及び資料の保全の面からも対応していきたい。

情報システム関連は、平成 28 年 10 月から第四次情報システムを導入、稼働した。令和２年度に第五次システムの設計に着手する予定であったが、令和３年度当初予算編成作業過程で１年先送りとなり、令和４年度の着手に向け今後準備を行っていく予定である。

また、常設展示の展示資料についても開館時から大規模な更新をしておらず、資料の傷みや機器の故障が目立ってきている。今後、計画的な修繕・更新に努めたい。

観覧者サービスの点検と質的向上では、案内員の接遇研修を、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた段階で再開し、観覧者サービスの一定の水準の確保した上で、更なる向上を目指したい。

博物館認知度の向上と利用者層の拡大では、平成 30 年度は入館者数、観覧者数が歴代１位となった。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響から前年よりも入館者数が減少した。令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響をさらに大きく受け、４月、５月が休館、６月から再開したが、感染防止対策のため事前予約制を導入したことから、入館者数は大幅な減少となった。博物館の認知度向上のための広報活動としては、新たにＳＮＳを活用して博物館情報の発信することで、博物館来館者のエリア拡大や利用者層の拡大につなげていきたい。

職員の意識改革と資質の向上では、研修会・学会等への参加が新型コロナウイルス感染拡大に伴い少ない状況にある。　博物館を一層魅力的なものにしていくためにも、職員には継続的なレベルアップが求められており、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、取組を呼びかけていきたい。

博物館活動への理解及び外部協力の確保は、令和２年度当初予算で令和元年度並　の予算を確保することができた。また、令和２年度は公益財団法人からの助成を得て今後開催予定の企画展に関する調査研究をすることができた。令和３年度も助成を得る予定であり、引き続き外部資金の導入に努めていきたい。さらに、博物館の取組を継続して発信し、企業等からの支援増加を図っていきたい。

防災意識の向上と危機管理体制の強化では、危機管理マニュアルに基づき防災訓練と地震訓練を各１回を行った。危機管理マニュアルについては、随時必要な見直しを行っていきたい。

博物館評価システムの構築では、平成 25 年度から外部評価を導入し有識者から意見をいただきＨＰで公開している。いただいた意見を受け止め、今後の博物館活動に生かしていきたい。

（８）博物館基本構想実現に向けた取組

博物館基本構想は、開館 20 周年を節目に今後 10 年間の当館が目指すべき中・長期的な目標をまとめたものである。また、当館の評価委員会では、その年度に作成された年報を基に、定められた指標について目標値を設定し、様々な取組を行ってきている。

昨年度からこの内部評価に、博物館基本構想に関わる職員の意識傾向を取り入れた。このことにより、館内の評価から改善への移行が、より一層促進されると考え、最終項目に付加した。以下の表は、昨年と今年度の職員の意識傾向の推移を示したものである。

この結果より、昨年度よりも全体的に数値の向上が見られた。その要因としては、職員間での博物館としての活動目的の共有や、個々の事業を行うごとに、成果や課題等を協議してきたことが要因として考えられる。しかし、昨年度の課題として挙げられた（２）「担い手活動ゾーン」は肯定的な意見が最も低く、今年度の調査結果も昨年度と同じ数値となった。また、（３）次世代育成機能の結果は昨年度に比べ、９％減の結果であった。生涯学習プログラムの強化、開発、改良に対して課題を感じていることが伺える。今年度は、感染症拡大防止の影響もあり、当初に予定していたプログラムが中止せざるおえない状況もあった。今後は、オンラインを活用したプログラムを開発していくとともに、次世代の自然史・自然環境活動を担う人材育成を行う社会教育施設として、専門的な器具や装置の導入とその活用の機会の増大に引き続き注力していきたい。

また、昨年度は（１）「資料が活用できる博物館へ」に関する数値が３０％とかなり低い

ものであったが、今年度は２０％上昇した。収蔵施設の充実は長期的な重要課題ではあるが、現状の資料整理及び収蔵資料登録を計画的に取り組んできた結果と考える。

一方、（２）「資料収集補完機能」が６％減少した。感染防止対策として思うような調査が行えなかったことと、収蔵スペース不足に伴う資料収集の見直し等が要因として考えられる。しかし、博物館の調査研究・資料収集は、根幹をなすものであるため、長期的な見通しをもって課題解決を図っていく必要がある。

基本構想の区分と職員の意識からみた達成状況（肯定的意見の%）　＊職員アンケートの肯定的意見（2＋3）と否定的意見（4＋5）の割合から算出

区分	区分	項目		
○群馬県立自然史博物館に求められる機能 令和元年(71%) 令和2年(77%) ↑	○継続する機能・博物館活動の基盤となる機能・博物館に求められる機能と場 令和元年(61%) 令和2年(62%) ↑	(1)調査研究機能(1~5)	令和元年(66%) 令和2年(77%)	↑
		(2)資料収集補完機能(6~9)	令和元年(65%) 令和2年(59%)	↓
		(3)管理運営機能(10~17)	令和元年(52%) 令和2年(64%)	↑
	○強化・充実・発展機能 令和元年(72%) 令和2年(77%) ↑	(1)シンクタンク的機能(18~19)	令和元年(67%) 令和2年(74%)	↑
		(2)資料収集補完機能(6~9)自然史学習支援機能(20~21)	令和元年(65%) 令和2年(82%)	↑
		(3)次世代育成機能(22)	令和元年(84%) 令和2年(75%)	↓
	○新規追加機能 令和元年(79%) 令和2年(91%) ↑	(1)参画型調査研究機能(23)	令和元年(84%) 令和2年(88%)	↑
		(2)県民活動、連携協働拠点機能(24)	令和元年(74%) 令和2年(94%)	↑
○これからの事業活動方針と展開方向 令和元年(61%) 令和2年(74%) ↑	○事業展開方向 令和元年(61%) 令和2年(74%) ↑	(1)資料が活用できる博物館へ(25)	令和元年(30%) 令和2年(50%)	↑
		(2)研究を進めて活かせる博物館へ(26~31)	令和元年(59%) 令和2年(80%)	↑
		(3)最新の情報を発信し続ける博物館へ(32~34)	令和元年(56%) 令和2年(64%)	↑
		(4)多様な"なぜ"を触発し創造的な活動ができる博物館へ(35~3	令和元年(68%) 令和2年(69%)	↑
		(5)担い手とフィールドをつなぐ役割を担う博物館へ(38)	令和元年(81%) 令和2年(88%)	↑
		(6)頼れる存在である博物館へ(39~44)	令和元年(70%) 令和2年(92%)	↑
○施設計画 令和元年(51%) 令和2年(58%) ↑	○博物館に必要な施設 令和元年(51%) 令和2年(58%) ↑	(1)知的好奇心を刺激する展示ゾーン(45)	令和元年(64%) 令和2年(87%)	↑
		(2)担い手活動ゾーン(46~48)	令和元年(30%) 令和2年(30%)	→
		(3)憩いのゾーン(49~50)	令和元年(49%) 令和2年(47%)	↓
		(4)調査研究ゾーン(51~52)	令和元年(48%) 令和2年(53%)	↑
		(5)収蔵ゾーン(53~57)	令和元年(63%) 令和2年(72%)	↑
○運営方式 令和元年(96%) 令和2年(98%) ↑	○運営方式 令和元年(96%) 令和2年(98%) ↑	運営・評価等(58~60)	令和元年(96%) 令和2年(98%)	↑

令和２年度自然史博物館活動の評価に対する意見

□「令和２年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

丹青研究所 文化空間情報部部長 石川貴敏

10 月 6 日の「群馬県立自然史博物館評価委員会」は初のオンラインによる開催でした。 評価委員会では、今回で 10 回目（10 年目）となる内部評価の結果をもとに、令和 2 年度 における博物館活動の報告を受けました。一年を通じて新型コロナウイルス感染症による影響が続いた令和 2 年度でしたが、多くの制約がある中、各係の職員が状況に応じた工夫を図りながら取り組んでいたことを実績値等とともに確認することができました。報告の随所にオンラインを活用した取組が見られ、博物館としての活動の可能性が広がったことも感じました。毎年、真摯に取り組み、事業の改善を図っている博物館（職員）ですので、より多くの人に利用していただきたいと思っています。

一方、今回も大きな課題は「収蔵スペース不足」でした。「令和 2 年度 自然史博物館活動の評価結果」には「収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっており、第一収蔵庫・第二収蔵庫ともに慢性的かつ深刻な問題は解消できていない」「収蔵スペースに対して資料がオーバーフローしている非常事態」「収蔵資料は今後も増え続けるため、収蔵庫の必要性をはたらきかけていきたい」の記載が見られ、喫緊の課題となっていることは明白です。「博物館基本構想」（群馬県立自然史博物館これからの 10 年）に「博物館活動の基盤となる機能」と記されている資料収集保管機能を十分に果たすことができない状態は早期に改善しなくてはなりません。収蔵スペース不足の問題は、群馬県立自然史博物館だけの問題ではなく、世界中の多くの博物館が抱えている課題です。栃木県立博物館、兵庫県立人と自然の博物館をはじめ、各地の公立博物館・美術館でも収蔵スペースの増改築を行っている事例が見られます。こうした時流を逃すことなく、積極的に取り組んでいただきたいと思います。整備実現に際しては、県民をはじめ一般の人々の理解や共感を得ることが必要です。博物館活動の根幹というべき収蔵資料の魅力を最もダイレクトに伝えることができるのは「収蔵庫」ではないでしょうか。なかなか一般の人々が見る（立ち入る）ことができない収蔵スペースにアクセスできる機会をオンラインによって増やすことで、現状に対する理解を広げていただきたいと思います。

令和 3 年 9 月 30 日、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置は全都道府県で解除されました。これで、すぐにコロナ前の状況に戻るわけではなく、しばらくの間はウィズコロナの意識で引き続き感染拡大の防止に努めながら、博物館事業に取り組むことになります。令和 2 年度は「インターネットによる情報発信の推進」に積極的に取り組み、ＨＰやＳＮＳを用いた情報発信件数を伸ばしました。館内における「三密（密閉・密集・密接）」な状況を防ぐため、時間指定や人数制限による事前予約制の開館形態がしばらく続くことでしょう。ここでも、利用者の裾野を広げるための取組が必要だと思います。一般的に、博物館は子どもたちや高齢者の利用が多く、働き盛りの人たちや子育てに取り組む人たちの利用促進が課題となってきました。博物館を訪れる時間がない、機会が持てないという人たちに対しても、オンラインによる事業展開は有効に機能するのではないかと思います。ただし、これまでの事業にそのままオンライン事業を加えるのでは、博物館（職員）にとって過大な負担となる懸念があります。現地（館内等で）の取組とオンラインの取組の長所を理解し、計画的に使い分け、効果的なハイブリッドの事業形態を協議・検討する必要があります。群馬県立自然史博物館の特徴は「リピーター率と満足度の高さ」にあります。まだ、来館したことがない人たち、気づいていない人たちに一人でも多くこの博物館を知ってもらい、来館や利用につなげていただきたいと思います。オンラインによって博物館へのアクセシビリティをさらに高めてください。

開館時から大規模な更新を行っていない常設展示についても、30 周年を迎える令和 8 年度（2026 年度）に向けてリニューアル計画に取り組む必要があります。2000 年代以降、フレキシブルに更新できる展示が求められる要素の一つに挙げられていましたが、近年のデジタル技術の急速な進展は解決策の一つになると思います。必要に応じて追加・更新したり、同じ展示空間でも新たな楽しみ方やストーリー展開を付することもできます。博物館（の展示）で感じたこと（学んだこと）を即座に記録したり、博物館（職員）に投稿することも可能だと思います。博物館での記憶（体験）を振り返ることができるように残すことは、博物館利用にとって重要なことだと思います。スマートフォンで写真を撮ったり、スクリーンショットをして、感じたことを口コミ（拡散・展開）してもらうことも必要です。日本科学未来館には「オピニオン・バンク」という科学や社会にまつわる問題にアンケート

形式で意見を発信するコーナーがあります（最近は常設展示内の端末だけでなく、ウェブサイト版もできたようです）。現代は「個人化（パーソナライゼーション）」と「多様性（ダイバーシティ）」の時代でもあります。デジタル技術を用いて、その人に合わせた博物館の楽しみ方ができるとともに、一つの事象に対してさまざまな意見や考え方・捉え方があることを知ることができる展示が必要ではないかと思います。

収蔵スペース不足の解消、常設展示の大規模な更新は数年かけて整備する課題です。現在、博物館活動に参画・協力・支援している人たちから、さらに多くの人に博物館が抱えている課題に関心を持ってもらえるよう、理解と共感の輪を広げてほしいと思います。一方、すぐに取り組むことができる実現可能な課題もあります。令和 2 年度の報告に見られたように、令和 3 年度以降も各係の職員ができることからさらなる工夫と改善に取り組んでいただきたいと思います。令和 3 年に入り、新型コロナウイルス感染症対策、「新しい生活様式」、オンライン社会等の社会状況を踏まえた新たな中長期計画やビジョンが各地 の博物館から発表されています。社会制度の大きな転換期を迎えている中、これからの博物館のあり方を見据えながら、「人々の、人々による、人々のための開かれた博物館」を実現していただきたいと思います。

□「令和２年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

群馬県立自然史博物館専門委員 中村修美

評価委員会にてご説明いただいた内部評価結果に基づき，所見を述べさせていただきます。

まず、令和 2 年度はコロナウィルスというこれまでに経験の無い事態に直面しました。その様な状況の中で、総体として博物館活動をしっかりと進めていると思います。令和 2 年の夏や初冬からコロナウィルスが蔓延し、地域によっては緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の措置がとられました。それにより、博物館も臨時休館したり、入館も事前予約制や定員制にしたりということがありました。また、各実施事業においても、様々な対応が求められ、実際中止になった事業も多かったと思います。それでも、Zoom や Skype を用いた講演会や講習会の実施、少人数の講座、対面での展示解説の停止、顕微鏡等の非接触型装置への更新など、多様な工夫がなされています。

コロナ禍は今年度も引き続いていますし、いつ終息するかは分かりません。その様な状況であり中途ではありますが、これまでのコロナウィルスへの対応や事業の工夫などの詳細な情報を把握している段階で、どのような対応を取ったのか、その効果はどうであったか、あるいは別の方策が考えられたかなどを、まとめておく必要があると思います。また、それをどのような形であれ、今後の参考のために公表しておいていただきたいと思います。これは他の館の参考にもなると思います。

コロナウィルス対応で内容を工夫した事業展開を進められています。コロナウィルスが終息した後でも、工夫して行った事業方法は今後も有効だと思います。博物館のキャパシティーの問題もありますので、工夫をどのように取捨選択していくかを考える必要があると思います。

次に、「令和 2 年度項目別実施結果」では、昨年度のコメントを考慮していただき、目標 値の項目を設定していただきありがとうございます。評価の基準が分かりやすくなったと思いますが、気になる点があります。

「R2 年度目標値」に「実績値を記入」と「随時」の記述がありますが、この記述は目標値では無いと思います。

項目には博物館の自助努力で達成できる項目と他からの支援・依頼等によるものがありますので、すべてを同列には語れません。「実績値の記入」は、他からの支援・依頼に等による項目だと思いますが、例えば、過去数年間のデータを参考に設定したら如何でしょうか。あるいは、目標値の設定が非常に困難な項目ならば、特に設定しないのもあり得ると思います。その場合には、どのような理由によりその様な対応になったかを明示しておく必要があります。

「随時」の項目は、自発的な活動内容が多く含まれています。この数値を把握するのは大変だと思いますが、博物館活動としては把握しておくべきものだと思います。是非、把握する方法を検討してください。

目標値ですが、必ずしも前年の数値に対して増加させる必要はありません。博物館の方針や持っているキャパシティーを考慮して設定していただければと思います。
いずれにしましても、このコロナウィルス禍の中で工夫をされ、活溌に活動されていると思います。今後も継続されることを期待します。

□「令和２年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

群馬県立自然史博物館専門委員 小田川浩道

新型コロナウイルスの感染拡大で、県立の美術館や博物館は予約制導入など感染防止のための制約が課せられた。コロナに対する知見の集積とワクチン接種率の向上で日常が戻りつつあるが、入館にあたっての体温測定、マスク着用、３密を防ぐための入館者数の管理は今後も続くことになる。内部評価の目標設定も次期計画策定で大きく見直しを迫られることになるだろう。
懸案の収蔵スペースについては、標本の再配架でスペース確保に取り組んだが十分なスペースを確保できず、受け入れ方針を見直して同定可能で良好な状態にある標本のみを受け入れることにしたという。化石、鉱物、昆虫など在野には群馬県立自然史博物館の開館前から発掘・採集を行い、貴重な標本や資料を所有する人がいる。こうした人々が集めた貴重な収集物が散逸しないよう、日頃からの情報交換と信頼関係の醸成が欠かせない。収蔵のハードルは高いが、常に情報を集めておく必要がある。
報道機関の立場から、情報発信の強化を提案したい。コロナで館内イベントが減少したことでメディアに取り上げられる件数が大きく減少しているという。令和２年度の取材対応件数は 12 件（前年度比 32%）だった。上毛新聞のデータベースによると、掲載記事数は 2019 年 20 本、2020 年 13 本、2021 年は９月までで８本である。減少傾向はコロナ下でやむを得ないが、これは発信の細分化で改善できるのではないか。会期の長い企画展では展示替え後の後期に話題になる展示物を用意しておく。クイズなどの抽選発表を会期途中に設定して贈呈式を行うなど、切れ目なく話題を提供できるよう検討するべきだ。ホームページの更新件数、フェイスブックでの発信数は大きく伸びているが、博物館の活動を多様な年齢層に知ってもらうにはテレビや新聞の力はやはり大きい。広く告知するためにもっと広報を積極的にしてはどうだろうか。
企画展と連動した関連書籍のコーナーが設けられた書店もあった。これは効果的な情報発信の形の一つだろう。予算の問題はあるが、県内随一のにぎわいがある高崎駅のコンコースに企画展の看板を設置できないか。そうすれば来県者を含め多くの人の目に触れ、来館につながる。近代美術館や歴史博物館の PR も同時にできるメリットもある。県として検討してはどうだろうか

５ ESCO事業

平成26年度から開始されたＥＳＣＯサービスは、前年度の反省点を踏まえつつ、博物館と受託業者が連携して取り組んだ結果、令和３年度も削減保証額を上回る73,027千円のエネルギーコスト削減となった。

※ 変更契約締結後のベースライン　　107,268 千円(補正後)
〃　　削減保証額　　61,809 千円

なお、削減実績の検証を行うために、博物館、受託業者、県関係課から構成される「自然史博物館ＥＳＣＯサービス検証ワーク」を１１月、３月に開催した。

６ 防災訓練･危機管理

地震や火災などの発生に備えるため、かぶら文化ホールと連携して２回の防災訓練を行った。

・令和３年９月２９日（水）　地震避難訓練

・平成４年３月１１日（金）　消防訓練

７ 施設修繕･機器更新

⑴施設修繕

１階通用口ドア修繕、大屋根雨漏り修繕、解剖室冷凍庫修繕、急速防腐処理装置修繕、防火シャッター修繕、１階冷水機修繕、スプリンクラー修繕、常設展示室加湿器修繕、防災センターＯＡ床修繕、天体望遠鏡モーター修繕（繰越）等を行った。

・修繕件数　22件（繰越案件を含む）

⑵機器更新

二酸化炭素消火剤貯蔵容器更新(R4へ繰越)、天体望遠鏡制御システム更新（R4へ繰越）等を行った。

※上記以外に常設展示室Ｂコーナー　シラビソーオオシラビソ林ジオラマの補修工事を行った。（P18に記載）

８　２５周年記念事業

令和３年（２０２１年）１０月１７日で開館２５周年を迎えたことから、２５周年記念事業として、記念動画を作成・公開した。

タイトル：『群馬県立自然史博物館　開館25周年
特別企画「長谷川名誉館長と真鍋特別館長による特別対談」』

内　　容：自然史博物館のこれまでとこれから

公開方法：１１月２１日に館内で対談を実施、編集作業を経て、令和４年３月８日１６時から群馬県のYouTubeアカウント「tsulunos」にて公開。

出演者：長谷川善和名誉館長、真鍋真特別館長、佐々木尚子展示解説員（進行役）

祝賀メッセージ出演者：以下に挙げる当館にゆかりのある国内外の研究者・関係者の方々からお祝いのメッセージをいただいた。出演者は以下のとおり（動画出演順）

フェルナンド・ノヴァス博士、マルチェロ・イサシ氏
（以上、アルゼンチン国立自然史博物館・イサシ氏は開館記念展の標本組立でも来館）

ケネス・カーペンター博士
（アメリカ、コロラド大学ボールダー校自然史博物館）

周　忠和博士、張　弥曼博士
（以上、中国科学院・古脊椎動物・古人類研究所）

パトリシア・ヴィッカーズ・リッチ博士
（オーストラリア、モナッシュ大学）

デイビッド・アンウィン博士
（イギリス、レスター大学）

フィリップ・カリー教授
（カナダ、アルバータ大学）

馬場悠男博士
（国立科学博物館名誉研究員【人類学】）

須永　智
（元県立高崎女子高等学校長、元当館学芸係指導主事）

小林快次教授
（北海道大学総合博物館）

アヌスヤ・チンサミー・チュラン教授
（南アフリカ、ケープタウン大学）

カーク・ジョンソン館長
（アメリカ、
スミソニアン自然史博物館）
スーザン・エヴァンス教授
（イギリス、
ユニバーシティ・カレッジ
・ロンドン）
マット・ラマンナ博士
（アメリカ、
カーネギー自然史博物館）
トーマス・ホルツ博士
（アメリカ、メリーランド大学）。

９　日本地質学会関東支部からの表彰

平成８（１９９６）年の開館以降、これまでに実施してきた様々な館活動を通じ、県民の文化的欲求に対応して地球科学に関する普及啓発に広く貢献し、日本の自然史系博物館をリードする地域博物館の一つとして活躍してきたとして、一般財団法人日本地質学会関東支部から2020年度の関東支部功労賞を授与された。

Ⅱ　事業の概要

1　展示

(1)常設展示

県民が自然の生い立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、①資料についてはできる限り実物を揃える、②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらう、③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、の３点に配意している。

常設展示は、下記の５つのコーナーに区分されている。展示室の管理にあたっては、令和3年度も各コーナーの担当者が展示室内の状況を毎月１回以上確認した（清掃、修繕を含む）。日々の展示物の動作確認については展示解説員が実施している。

①　地球の時代（Ａコーナー）

誕生から 46 億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本的規模で展示している。本コーナーの展示は、現在のヒトから宇宙の誕生までを一気に遡って紹介する導入部のタイムトンネルを抜けたところからはじまり、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生ならびに先カンブリア時代の発展を紹介する「A-1 水の惑星と生命の誕生」を皮切りに、「A-2 生命を育てた太古の海」（古生代）、「A-3 恐竜の時代」（中生代）、「A-4 哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「A-5 人類の時代」（新生代第四紀）の５つに分けられる。

A-1「水の惑星と生命の誕生」では、博物館実習の一環として、既に設置されているソーシャルディスタンスを保つためのサイン（テープ）の横に、A-2 で全身骨格が展示されているディメトロドンの足跡マークを床面の動線中央に追加設置した。

Ａ－3「恐竜の時代」では、アンキロサウルス類の歯について、7 月 18 日から丹波市立丹波竜化石工房に貸し出し、返却後の９月１３日から再展示した。

A-4「哺乳類の時代」では、令和２年度にコロナウイルス感染症への対策として、有孔虫、浮遊性有孔虫・底生有孔虫、ミオジプシナ・コトイ（大型有孔虫）の双眼実体顕微鏡をマイクロスコープに変更した。しかし、センサーの落下やアクリルカバー内部への押し込みが続いたため、センサーをより落ちにくいものに交換した。標本に関しては、ミアキス（原始的な食肉類）の全身骨格レプリカについて、6 月 23 日から宮崎県総合博物館に貸し出し、返却後の９月１３日から再展示した。また 12 月 12 日まで特別展示となっていた板鼻層産サケ属化石「オンコリンクス・ラストロスス」の標本（キャプション含む）を１月２日から常設展示に追加した。

A-5「人類の時代」では、令和２年度にコロナウイルス感染症への対策として、花粉化石の生物顕微鏡、浅間山火山灰の双眼実体顕微鏡をマイクロスコープに変更した。しかし、センサーの落下やアクリルカバー内部への押し込みが続いたため、センサーをより落ちにくいものに交換した。マグマの粘り気の体験コーナーでは、マグマに見立てているゲルの劣化によって粘り気が変化したため、容器の中のマグマを新しいものに作り替えた。オオツノジカの展示では、わかりやすく、所蔵先と寄託先が明確になるように、解説パネルを更新した。また、博物館実習の一環としてソーシャルディスタンスを保つためのサイン（テープ）をナウマンゾウの足跡マークとともに群馬産のヒグマ、トラ等の化石付近の床面の動線中央に設置した。

（展示資料数 1,215 点、うち追加・更新展示資料 計 3 点）

② 群馬の自然と環境（Ｂコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソーオオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年24回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている（新型コロナウイルス感染対策のため、運用休止中）。令和3年度は、幹の亀裂や枝の下垂がみつかった亜高山帯コーナーの、シラビソーオオシラビソ林ジオラマの補修工事を行った。

（展示資料数1,354点，修復ジオラマ1点）

③ ダーウィンの部屋（Ｃコーナー）

博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。動刻（ロボット博士チャーリー）については、保守点検を年４回実施した。

（展示資料数546点、更新展示資料2点）

④ 自然界におけるヒト（Ｄコーナー）

このコーナーの名称は、ダーウィンの進化論を擁護したトーマス・ハックスリーの本の題名「自然界における人の位置」にもとづいている。コーナーの展示は以下の３つから成っている。

1 動物としてのヒト：ここではヒトが脊椎動物や哺乳類とどのような同じ特徴をもつかを展示しておりヒトがいかに動物であるかが実感できる。哺乳類は世界中に約 4,500 種いる。哺乳類には、授乳により子どもを育てる、胎生、恒温生、２心房２心室、大脳の発達、７個の頚椎、異形歯性、二生歯性などの特徴がある。ヒトはオランウータン、ゴリラ、チンパンジーなどの霊長類のなかまで、霊長類には拇指対向性、平爪をもつ、指紋がある、立体視ができ色覚があるなどの特徴が見られる。

2 ヒトの進化と起源：ヒトという種が複雑な進化の段階を経てきたことを当時の研究成果にもとづいて展示している。ヒトはチンパンジーとの共通祖先から別れた後、ヒトは独自の進化をとげてきた。現代人はホモ・ハイデルベルゲンシス（50 万年前）からホモ・サピエンス（20 万年前）と進化し現在にいたっている。

他の動物にはなくヒトだけがもつ特徴がいつどこで始まったのかを、欧米の芸術家の手による精巧な等身大人形や科学的復元図で展示している。

3 ヒトの特徴：ヒトの身体には、ほかの霊長類には見られない様々な特徴がある。この特徴は、そのほとんどが直立二足歩行を始めたために起きたと考えられている。頭蓋骨では脊髄が出る大後頭孔は真下にあり、頭をささえる項筋が付着する部分は小さくなっている。胸郭は内臓が下がらないようにすぼまっていて背骨は足から伝わるショックをやわらげるために S 字状になっている。また骨盤は内臓をささえるためにゆりかごのような形をしている。さらに脚にある大腿骨は斜めについており、歩く際にチンパンジーのように左右に揺れることなく歩行することができる。足の骨はアーチ状になって土踏まずができ、体重が一点に集中しないようになっ

ている。
直立二足歩行、脳の発達が道具の製作と使用、死者の埋葬、火の使用、芸術と象徴、農耕と牧畜、文明などを生み出すことになった。これを実物標本や模型・複製等で再現している。

（展示資料数364点、更新展示資料なし）

⑤ かけがえのない地球（Ｅコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展示である。エコボール、ドードーやトキなどの絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。

（展示資料数29点）

⑥ 常設展メンテナンス

ESCO 事業以外の照明等で LED 化未対応の部分について、電球交換を実施した。トランスやソケット等照明器具等が生産終了となり、今後、順次更新が必要となる。また、ジオラマのメンテナンス、清掃を行った。メディアプレーヤー、展示機器等のメンテナンスを行った。

⑦ 常設展更新事業

・前述のとおり、５枚のパネル更新（A-1コーナー：隕石２枚、A-3コーナー：恐竜の進化１枚、B-6コーナー：群馬の天然記念物１枚、Eコーナー：エコボール１枚）を行った。

(2) 企画展示

① 第63回企画展「すきま片隅植物図鑑」

A 趣旨

植物の中には形態的・生態的に狭い空間や他の植物が利用しづらい空間をうまく利用するものがある。また、岩壁や溶岩など自然が作ったもの以外にも石垣や溝などヒトが作り出したすき間が、我々の身近な場所に存在する。特に都市域では、歩車分離帯、植え込み、舗装道路や歩道の継ぎ目など、すき間と呼べる空間が多数存在する。本企画では、植物のすき間や極端な空間への適応とそこに生きる生態を解説し、植物への関心をいだくためのきっかけとする。また、すき間に生育する外来植物や絶滅危惧植物を通して、身近なところで展開される保全生物学的問題に気づく契機とする。さらに、都市や農村での観察や、住民参加の調査活動を展開する契機とする。

B 開催期間

令和 3（2021）年 3 月 20 日（土）～5 月 15 日（土） 実開館日数 49 日

（内訳：令和 2 年度 10 日、令和 3 年度 39 日）

C 展示構成

0 導入

(1) アーチ：立体交差のシダ
(2) ローカル駅のホームと線路
(3) 駅の広告看板風会場案内とタンポポ調査の案内

1 自然のすき間に生きる

(1) 岩壁のテラス
(2) 溶岩のすき間
(3) 岩壁のすき間

トピック　最強植物！ベンケイソウ科
トピック　雨が嫌い？タチゲヒカゲミズという生き方

２　都市空間のすき間
（1）都市におけるすき間のスケール
（2）都市の緑地－公園と社寺
（3）駅前と繁華街と
トピック　都会でタネを運ぶ者－都市鳥とタヌキとハクビシンと
トピック　街路樹・公園樹と着生植物

３　意外に多様？ヒトが作りだしたすき間は植物の楽園
（1）道路
（2）鉄道施設
（3）石垣
トピック　石垣の植物は誰が運んだのか？－意外にメジャーなアリ散布種子
トピック　昆虫や爬虫類にとっての石垣
（4）用水路と溝

４　すき間植物の生態学
（1）すき間植物に地域性はあるか？
トピック　天空のスキマモン
（2）すき間植物のルーツ
（3）すき間植物と帰化植物
トピック　ニューフェイスとそっくりさん－外来植物
研究室　ぐんまタンポポ研究室
（4）すき間に生きる絶滅危惧種
観察コーナー　旬の雑草観察

５　すき間･片隅植物ウォッチング

（1）すき間・片隅植物図鑑

研究室　すき間植物ライブラリー

（2）レッツ・スキマモン・ウォッチング

ワークショップ　博物館周辺開花状況案内

D　展示点数：c.a. 300 点（展示時期により変動有り：内当館収蔵資料数 270 点）

E　入館者数

20,807 人（うち 2021 年４月１日から会期終了までの入館者数 15,650 人）

F　関連事業

a）企画展観察会　「まちなか観察会 in 高崎」

実施日：2021 年 4 月 18 日（日） 9 時 00 分～12 時 00 分

講　師：大森威宏（生物研究係）

場　所：高崎城址公園周辺（高崎市高松町）

参加人数：15 人（7 組）

b）企画展観察会　「まちなか観察会 in 前橋」

実施日：2021 年 4 月 25 日（日） 9 時 00 分～12 時 00 分

講　師：大森威宏（生物研究係）

場　所：前橋公園（前橋市大手町）

参加人数：13 人（6 組）

上記２観察会は当館のタンポポ調査を兼ねた。

c）上信電鉄途中下車の旅自然観察会

計画日：５月９日(日)　9 時 15 分～12 時 30 分

講師予定：大森威宏（生物研究係）

計画場所：上州一ノ宮－貫前神社、千平－不通渓谷、下仁田町清泉寺

新型コロナウイルス感染症に係る警戒レベル引き上げのため中止

G　後援

上信電鉄株式会社、上毛新聞社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、株式会社 エフエム群馬、ラジオ高崎

H　協力団体・協力者（順不同）

読売新聞社、日本蛇族学術研究所、高崎市、前橋市、甘楽町、国土地理院、群馬県立ぐんま昆虫の森、片野光一、金杉隆雄、清水伸彦、鈴木伸一、藤田淳一、松井雅之、森口一、吉井広始

I 来館者アンケート結果

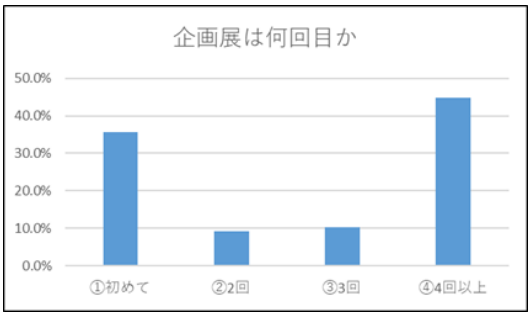
a)回答数：197件

b)年代構成：10歳未満17.9%，10歳代19.9%，20歳代12.8%，30歳代9.7%，40歳代16.3%，50歳代10.7%，60歳以上12.8%，

c)居住地：群馬県内75.1%，県外24.9%

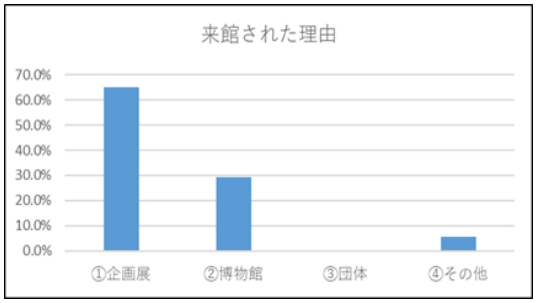
d)企画展は何回目か

①初めて
②2回
③3回
④4回以上



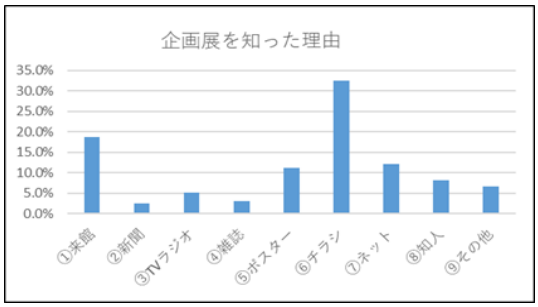
e)来館された理由

①すき間片隅植物図鑑を観るため
②博物館の展示を観るため
③団体の見学地の一つ
④その他



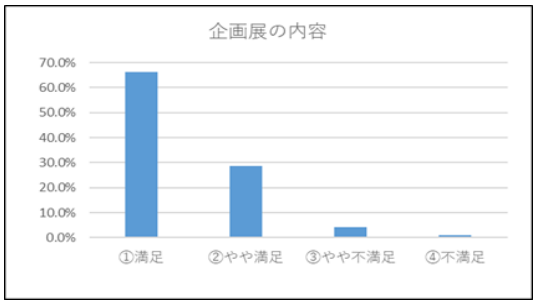
f)企画展「すき間片隅植物図鑑」を知った理由

①来館して
②新聞
③テレビやラジオ
④雑誌・ガイドブック・広報誌
⑤ポスター
⑥チラシ（ビラ）
⑦インターネット
⑧知人から聞いて
⑨その他



g)企画展の内容はいかがでしたか

①満足
②だいたい満足
③やや不満足
④不満足



② 第 64 回企画展「鳥がトリであるために」

A 趣旨

陸、海、空に暮らす鳥。鳥がトリである最大の特徴は、「羽」があることです。しかし、「羽」があるだけでは、空を飛ぶことはできません。夏（シーズン１）、秋（シーズン２）ともに、体の大きなハシビロコウから小さなハチドリまで、さまざまな環境に適応し、多様な姿、形、色をしている鳥たちを紹介し、生物多様性を普及することを目的とした。また、開館 25 周年記念の企画展として、自然史博物館の基盤である調査研究の成果を、当館収蔵資料の蓄積とともに紹介した。

B 期間

令和 3 年 7 月 17 日（土）～令和 3 年 12 月 5 日（日）

（シーズン１：7 月 17 日（土）～9 月 5 日（日）、シーズン２：9 月 11 日(土)～12 月 5 日（日））

C 展示構成

１）シーズン１

（１）空中、水中、陸上への適応：ペンギンランド
（２）鳥がトリである特徴は「羽」：羽はねオンパレード
（３）１枚の羽から持ち主を探す：とり羽チャレンジ
（４）空を飛ぶために必要な体の構造：骨ほねオンパレード
（５）鳥類を屋内で観察：鳥トリ大行進
（６）鳥類たまごコレクション
（７）夏のキャンプサイト
（８）鳥のアートの世界（加藤休ミ、柴田めいこ、小原玲、近藤愛子）

２）シーズン２

（１）空中、水中、陸上への適応：ペンギンランド
（２）鳥がトリである特徴は「羽」：羽はねオンパレード
（３）１枚の羽から持ち主を探す：とり羽チャレンジ
（４）空を飛ぶために必要な体の構造：骨ほねオンパレード
（５）鳥類を屋内で観察：鳥トリ大行進
（６）渡り鳥の世界：地球をめぐる渡り鳥
（７）絶滅危惧種と特別天然記念物
（９）鳥のアートの世界（加藤休ミ、柴田めいこ、小原玲、近藤愛子）

シーズン１オープニング動画　　シーズン１展示室　　トリトリアート

シーズン２展示室　　森林総合研究所・川上和人先生　解説動画２本

鳥たちの姿　　剥製が収蔵庫にもどるまで

D 展示点数
1,210 点（内、当館収蔵資料 1,200 点）

E 入館者数
74,700 人

F 関連事業
１）ワークショップ：クレヨンで鳥トリすけっち
実施日：2021 年 7 月 17 日（土）　10:00～11:30、13:00～14:30
講　師：加藤休ミ（クレヨン画家）
場　所：実験室、文化ホールホワイエ
参加人数：午前 9 人、午後 10 人

２）観察会：屋内鳥トリ観察会～夏鳥をさがせ～
実施日：2021 年 7 月 29 日（木）　10:30～10:45、13:45～14:00
講　師：清水伸彦（当館特別研究員）
場　所：企画展示室
参加人数：午前 11 人、午後 9 人

３）観察会：屋内鳥トリ観察会～夏鳥をさがせ～
実施日：2021 年 8 月 19 日（木）　10:30～10:45
講　師：清水伸彦（当館特別研究員）
場　所：オンライン Zoom
参加人数：0 人(実施したが参加者がいなかった。)

４）ワークショップ：鳥トリキューブをつくってみよう！
実施日：2021 年 9 月 11 日（日）　10:00～11:30
講　師：高橋　綾（群馬県立女子大学）
場　所：オンライン Zoom
参加人数：20 人

５）観察会：群馬サファリで鳥トリ観察会
実施日：2021 年 10 月 10 日　10:00～14:00
講　師：中川真梨子、澤田寛、新井優希（群馬サファリパーク）
場　所：群馬サファリパーク
参加人数：緊急事態宣言により中止

６）講演会：鳥類学者の食卓～キッチンから覗く鳥類進化～
実施日：2021 年 10 月 17 日　13:30～15:30
講　師：川上和人（森林総合研究所・野生動物研究領域島嶼性鳥類担当チーム長）
場　所：学習室
参加人数：緊急事態宣言により中止、
講師による企画展示室内解説動画、西ノ島開設動画を制作、公開

７）講演会：鳥と古代人のトリドリばなし～ニワトリ・「鵜」と弥生人、地上絵の鳥とナスカ人～
実施日：2021 年 11 月 7 日　13:30～15:30
講　師：江田真毅　（北海道大学総合博物館准教授）
場　所：学習室
参加人数：33 人
備　考：講演内容のダイジェスト動画を湯けむりフォーラムにて公開

８）観察会：屋内鳥トリ観察会～冬鳥をさがせ～
実施日：2021 年 11 月 20 日（土）　10:30～10:45
講　師：清水伸彦（当館特別研究員）
場　所：企画展示室
参加人数：12 人

９）ワークショップ：ニワトリの骨格標本をつくってみよう
実施日：2021 年 11 月 28 日（日）　10:00～15:00
講　師：中川真梨子　澤田寛　川上茂久（群馬サファリパーク）
場　所：実験室
参加人数：14 人

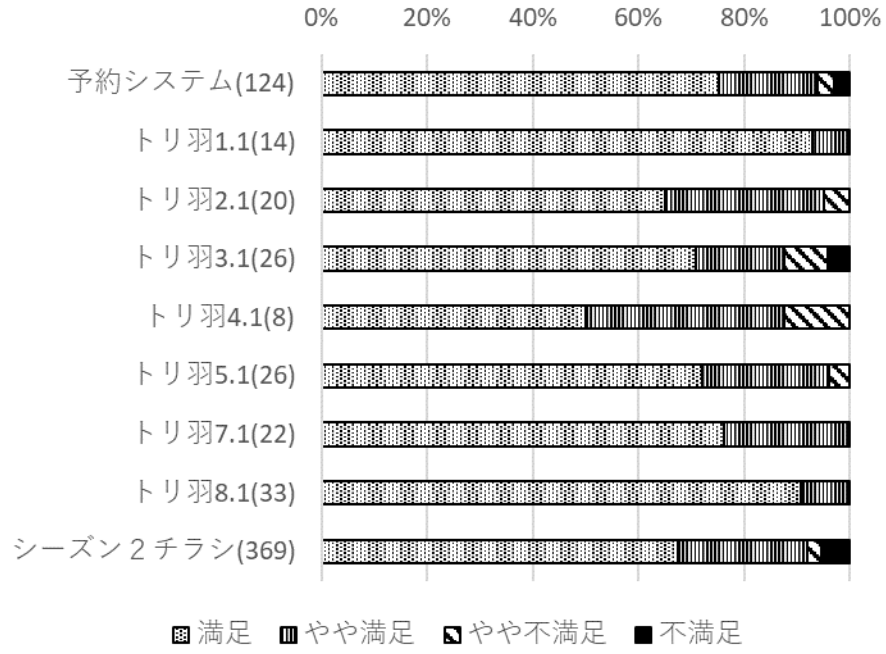
G 後援

日本野鳥の会、日本野鳥の会群馬、（公財）山階鳥類研究所、NPO 法人バードリサーチ、群馬サファリワールド、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、株式会社 エフエム群馬、上毛新聞社、㈱ラジオ高崎

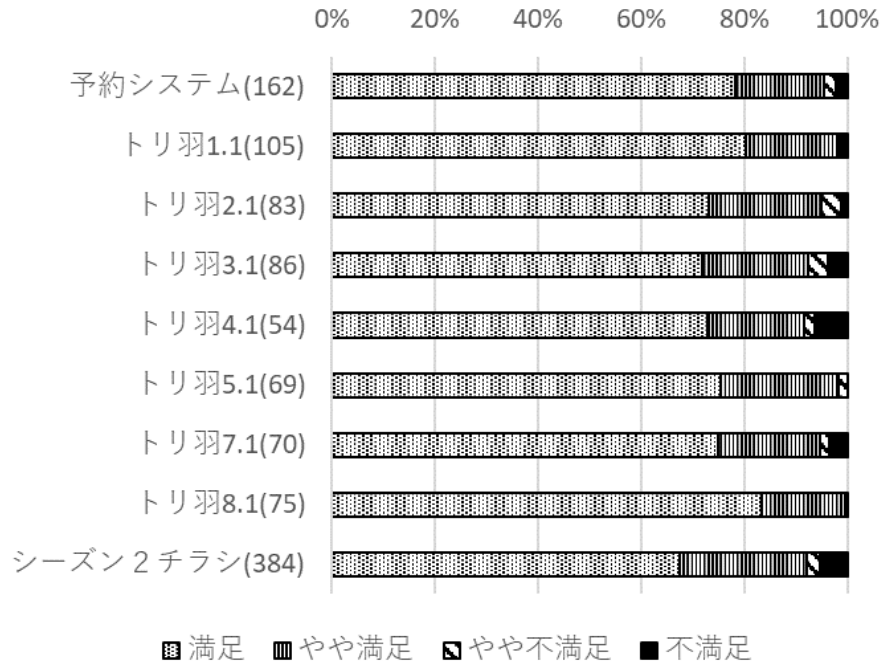
H 協力団体

日本野鳥の会吾妻、森林総合研究所、群馬県立女子大学、北海道大学総合博物館、名古屋港水族館、那須どうぶつ王国、東京海洋大学ミュージアム機構マリンサイエンスミュージアム、東洋大学、国立極地研究所、きしわだ自然資料館、文一総合出版、興和光学株式会社、株式会社モンベル、NPO 法人生物多様性研究所あーすわーむ、アオバトの谷 PROJECT、群馬県野鳥の森小根山森林公園、桐生が岡動物園、群馬県林業試験場野鳥病院、株式会社金澤屋、一般社団法人 森林風致計画研究所

I アンケート結果：Google form による
シーズン１：企画展満足度



シーズン２：企画展満足度



(3) 特別展示

① ぐんまの自然のいま

A 趣旨

この企画では、群馬県内で長年にわたって地域に根ざして活動している自然保護、保全に携わる団体、学校等や自然史博物館職員・ボランティア・特別研究員の活動成果を、収蔵実物標本等を活用しながら、ポスターやパネル等で紹介した。広く一般の県民に展示、教育普及することで、県民の自然史に関する好奇心・探求心を刺激し、地域の生物多様性の保全への関心を高めるたり、

各団体との活動の繋がり目的とした。更に、地域活動を支える新たな担い手を養成し、その担い手がさらに担い手を養成するという輪を創出するように努めた。

B　期　　間
　令和４年１月 22 日（土）～2 月 13 日（日）（開催日数 20 日）

C　展示点数：約 300 点
　展示内容：
　・各種団体、学校、自然史博物館職員、ボランティア、特別研究員のポスターやパンフレット、展示物
　・動画
　・岩石標本、化石標本、
　　植物標本、昆虫標本、甲殻類液浸標本、変形菌標本、菌類標本、鳥類標本ほか

D　ポスター件数
　85 本、55 団体

E 観覧者数
　5,253 人

F　関連事業
　報告会　令和４年１月 22 日（土）　13:00～15:45
　オンライン：YoutubeLive にて配信
　１）基調講演　「森林と人間が共に健康に　－群馬県における森林療法の可能性－」
　　講師　上原　巌（東京農業大学　造林学研究室　教授）
　２）口頭発表
　①『感じてほしい！大地のエネルギー！』（下仁田ジオパークの会）
　②『みなかみ町の小さな湿地の生き物たちと湿地の保全』（赤谷プロジェクトサポーター）
　③『ソバ殻と三番粉を培地基材としたアラゲキクラゲの栽培実験』
　（群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科）
　④『群馬県におけるツキノワグマの繁殖パラメータの推定の試み』（東京農工大学ほか）
　⑤『群馬県指定天然記念物の「いま」 - チョウ類 -』（群馬県自然保護連盟）
　視聴者数：66 人

②「群馬で発見！日本最古のサケ属化石・オンコリンクス・ラストロスス」特別展示

2021（令和３）年３月発行の研究報告 25 号で報告された当館所蔵の板鼻層産サケ属化石（オンコリンクス・ラストロスス／GMNH-PV-2299）が８月１４日付の東京新聞で大きく取り上げられたことを受け、本標本と関連する現生サケ属標本、関連資料の特別展示を実施した。

A　展示場所
・自然史博物館エントランス　常設展示
　入口付近壁面（チケットカウンター北側）
・片面覗きケース１台を使用

B　展示期間
　令和３年１０月２日（土）～１２月１２日（日）

C　展示内容
・板鼻層産サケ属化石（オンコリンクス・ラストロスス）　１点、
・化石種に近縁な現生サケ属２種（ベニザケ、カラフトマス）の全身剥製　各１点
・オンコリンクス・ラストロススの原記載論文　１点
・大型解説パネル１点（既知の研究による復元画を含む）
・小型解説パネル３点
・標本等キャプション４点
※　板鼻層産サケ属化石（オンコリンクス・ラストロスス）１点については、本特別展示終了後、そのキャプションと共に常設展示 A-4 の展示に追加した（p.16）。

D　会期中観覧者数
　42,163 人

③ 特別展示『「のび太」の夢をかなえた恐竜の足跡化石～エウブロンテス・ノビタイ *Eubrontes nobitai* ～』

文化庁「博物館等の国際交流の促進事業（実施事業）」に当館から申請・採択された「バーチャル恐竜博物館」の関連事業の一つとして、特別展示『「のび太」の夢をかなえた恐竜の足跡化石～エウブロンテス・ノビタイ *Eubrontes nobitai* ～』を実施した。

A　展示場所
・自然史博物館エントランス　常設展示
　入口付近（東側、情報コーナー壁面）
・片面覗きケース１台、ギヤエッジパネル 1960㎜ 幅、980㎜ 幅（h2400㎜）各１枚を使用。

B　展示期間
　令和４年１月８日（土）～２月２７日（日）

C　展示内容
・中国・四川省産エウブロンテス・ノビタイ
　Eubrontes nobitai 足跡化石標本(レプリカ)　１点
・中国・四川省産エウブロンテス・ノビタイ
　行跡実物大ターポリンバナー　１点
・特別館長挨拶パネル　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「きっかけは集中豪雨」　１点

・解説パネル（大・A2 サイズ）「足跡の主を推理する」　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「新種の足跡化石の命名」　１点
・特別展示サインパネル（特大サイズ・w1000mm）　１点
・解説パネル（小・A4 サイズ）「足跡化石 関連展示」　１点
・解説パネル（小・A4 サイズ）「シン准教授の最新研究」　１点

D　協力機関
国立科学博物館（展示資料２点ならびに大型解説パネルのデータを借用）

E　会期中観覧者数
12,754人

④ 特別展示「ワニの祖先型・ゴニオフォリス類の新種化石アンフィコティルス・マイルシ～実物全身骨格化石特別公開」

当館所蔵のゴニオフォリス類全身骨格化石標本（GMNH-PV-229）に関する当館と他機関との共同研究論文が昨年 12 月に国際学術雑誌に公表され、この標本を模式標本に指定して、ゴニオフォリス類の新種アンフィコティルス・マイルシが提唱されたことから、特別展示「ワニの祖先型・ゴニオフォリス類の新種化石アンフィコティルス・マイルシ～実物全身骨格化石特別公開」を実施した。

A　展示場所
・自然史博物館エントランス　常設展示入口付近（南側、中庭側壁面）
・平覗きケース２台、ギヤエッジパネル 1960mm 幅１枚、980mm 幅（h1200mm）２枚を使用。

B　展示期間
令和４年１月２２日（土）～２月１３日（日）～２７日（日／延長）

C　展示内容
・アンフィコティルス・マイルシ *Amphicotylus milesi* 全身骨格化石
（GMNH-PV-229・実物）一式
・アンフィコティルス *Amphicotylus milesi* 記載論文（コピー）　１点
・特別展示サインパネル（特大サイズ・w1000mm）　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「カマラサウルスとともに発見」　１点
・カマラサウルス産状図（大・w480mm）　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）『「おまけ」として群馬に寄贈』　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「展示、そして共同研究」　１点
・アンフィコティルス・マイルシ生体復元図（特大・w1000mm）　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「論文公表、そして新種に」　１点
・解説パネル（大・A2 サイズ）「新種化石からわかったこと」　１点
・図「角鰓骨の形、後鼻孔の位置と系統関係」（大・w480mm）　１点
・解説パネル「世界でただ一つだけの基準となる標本」（中・A3 サイズ）　１点

・標本等キャプション　２点
・骨名称キャプション　一式

D　協力
吉田将希（福島県立博物館）

E　会期中観覧者数
8,984人

(4)　ミニ展示

①　Ｃコーナー解説員カウンター展示内容

展示テーマ	実施期間	展示構成
カラスの すすめ	令和３（2021）年８月 １日～令和４（2022） ２月４日	・身近で見られるカラス （ﾊｼﾌﾞﾄｶﾗｽ、ﾊｼﾎﾞｿｶﾗｽ） ・カラス○×クイズ ・カラスを観察しよう ・カラスの食べ物 ・日本にやってくる冬鳥カラス
お家 －つなぐ－ 博物館	令和４（2022）年２月 ５日～令和４（2022） ５月31日	・お家を博物館にしてしまいましょう ・そもそも博物館って？ ・標本制作室 ・つくってみましょう ・博物館の標本の紹介

Ｃコーナー解説員カウンター展示風景写真

「カラスのすすめ」

「お家－つなぐ－博物館」

(5)　共催展示

ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021　　※詳細は、Ⅱ2（4）学会等の開催を参照

２　教育普及

令和３年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ2,882回の事業を開催し、19,137名の参加者を得た。その内訳は、以下のとおりである。

（１）教育普及事業

① 解説員対応

ア　展示解説（一般向け）→昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常設　展随時解説のみを実施。

展示解説は、常設展示室並びに企画展示室の解説があり、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」がある。「定時解説」は、常設展示室内を、Ａコーナー(地球の時代)、Ｂコーナー(群馬の自然と環境)、２階(ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球)の３つに区分し、それぞれの定時解説時間を 30 分として１日３回実施する。企画展開催中は、企画展の定時解説(30分)を加えて実施する。

月	開館日数	定時解説実施回数	常設展定時解説参加者	企画展定時解説参加者	定時解説参加者	一日平均参加者数	随時解説回数	随時解説参加者
4	26	－	－	－	－	－	168	350
5	13	－	－	－	－	－	164	372
6	7	－	－	－	－	－	58	134
7	27	－	－	－	－	－	339	919
8	31	－	－	－	－	－	245	537
9	26	－	－	－	－	－	139	265
10	27	－	－	－	－	－	391	995
11	25	－	－	－	－	－	350	771
12	11	－	－	－	－	－	131	251
1	21	－	－	－	－	－	119	234
2	20	－	－	－	－	－	99	193
3	27	－	－	－	－	－	242	585
合計	261	－	－	－	－	－	2445	5606

イ　ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する小学校低学年用のものを多くした。今年度は、午前１１時、午後２時に上映した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント中止期間は、ビデオ上映を行うことができなかった。

月	上　映　作　品	上映回数	参加者数
4	五味太郎ビデオライブラリー「みんなうんち」	24	326
5	五味太郎ビデオライブラリー「みんなうんち」	6	152
6	五味太郎ビデオライブラリー「みんなうんち」	4	74
7	まんが日本昔ばなし「にせ本尊/きつね女房」	22	374
8	生命進化の謎「鳥は恐竜の子孫なのか」	6	107
9	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント中止	0	0
10	「14ひきのおつきみ」	15	224
11	ディズニーアニマルワールド「イルカ」	10	496

12	小学国語DVD「さけが大きくなるまで」	8	42
1	まんが日本昔ばなし「念仏天狗/猫檀家」	10	145
2	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント中止	―	―
3	自然なぜなに？ＤＶＤ図鑑「オオカマキリ」	2	48
合　　計		107	1988

ウ　ポイント解説（一般向け）

「ポイント解説」は、２階展示室から１階Ａコーナーの恐竜を見下ろす位置から行う一般向けの解説であり、恐竜について 10 分程度の解説を行う。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ　紙芝居（一般向け）

「紙芝居」は、子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として行うものである。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ　スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象にした「スポット解説」は、引率者と事前の打ち合わせを行い、特定の展示資料について 15 分程度の解説を行うものである。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「カマラサウルス」（定員２０～３０名）限定のスポット解説を実施した。

計　実施数 89 回　2742 名

内　　容	団体数	内　　訳
カマラサウルス	52	小学校 52

カ　ビデオ上映会（学校向け）

学校等の団体を対象にした「ビデオ上映会」は、引率者と事前の打ち合わせを行い、自然史に関係する内容について上映するものである。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

計　実施数 0 回　　0 名

キ 解説員研修

展示解説の充実と資質向上のため、解説員の研修を以下の通り実施した。

○新人解説員研修Ⅰ　4 月～5 月

○第 64 回企画展研修

5/18, 20　6/16　7/13, 15　9/10

○全体職員研修会　12/14

・講話（ハイブリッド形式）

「群馬県立自然史博物館で働くみなさんへ」

講師：真鍋特別館長

・講話（ハイブリッド形式）「博物館をめぐる最新状況」講師：姉崎主幹、菅原副主幹

・救命入門コース講習

・解説業務改善のための協議

○新人解説員研修Ⅱ　2月～3月
○第65回企画展研修　3/8,9　3/17

② ファミリー自然観察会

群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
6月27日(日)	カタツムリのいる石を見つけようin下仁田ジオパーク	下仁田ジオパークでカタツムリを見つけ、石の観察をした	鳥羽隆敏 菅原久誠 関谷友彦	15
7月18日(日)	水の中の生きものを調べよう	安中市松井田町小日向スポーツ広場周辺の九十九川で水棲昆虫の観察と採集を行った。	土屋清喜 宮原義夫	13
10月2日(日)	谷川岳 ～一ノ倉沢観察会～	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	大森威宏 阿部利夫	―
3月13日(日)	化石探しに挑戦しよう	吉井町運動公園の河川敷で化石さがしを行った。	髙桒祐司	15
３回開催				計43

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	33(人)	0(人)	0(人)	0(人)
県民のニーズ	・化石発掘体験をもっと増やしてほしい。 ・昆虫に触れる企画をしてほしい。			

③ 天体観望会

博物館の屋上で移動式の天体望遠鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・惑星について観察した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
5月22日(土)	春の大三角・水星と金星	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	鳥羽隆敏	―
8月13日(金)	ペルセウス座流星群・夏の大三角	※オンライン開催（Zoom） ペルセウス座流星群や夏の大三角について解説を行った。	鳥羽隆敏	10

11月19日(金)	部分月食と秋の四辺形	９８％が欠けて見えるほぼ皆既月食についての天体ショー（１４０年ぶり）を観察し、惑星も観察した。	鳥羽隆敏 ボランティア１名	14
1月8日(土)	冬の夜空を眺めてみよう	移動式の天体望遠鏡を使って冬の大三角や惑星の観察を行った。	鳥羽隆敏 ボランティア４名	12
3月21日（月）	春分の日の太陽	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	鳥羽隆敏	－
３回開催				計36

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	１０(人)	１(人)	０(人)	０(人)
県民のニーズ	・ドームを直して、観望会を企画してほしい。			

④ 自然史講座

自然科学の第一戦で活躍される研究者を講師に招き、県民に自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
７月４日(日)	夏のきのこをたくさん見つけよう	博物館周辺で夏に出るきのこを観察し採集・同定を行った。	生物研究係 伊藤　智史	29
10月31日(日)	博物館の化石、いろいろ調べてます	博物館で調査・研究をし最古のサケを見つけた内容を話した。	地学研究係 髙桒　祐司	38
年２回開催				計67

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	34(人)	0(人)	0(人)	0(人)
県民のニーズ	・化石を発掘したい。 ・キノコについてもっと知りたい。			

⑤ 企画展 講演会

企画展に協力していただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
10月17日(日)	鳥類学者の食卓～キッチンから覗く鳥類進化～	＊新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為中止	川上和人 森林総合研究所 ・野生動物研究領域島嶼性鳥類担当チーム長	-
11月7日(日)	鳥と古代人のトリドリばなし～ニワトリ・「鵜」と弥生人、地上絵の鳥とナスカ人～	弥生時代ではニワトリが現代の肉や卵を食べるために飼育されてはいなかったことや、山口県の土井が浜遺跡で出土した「鵜を抱く女」と呼ばれた、ウミウの雛	江田真毅 北海道大学総合博物館　准教授	38

		を胸に抱いた状態で埋葬されたとされる女性の人骨が、女性シャーマンの骨と考えられていましたが、実際に「鵜」の骨を同定してみると「鵜」の骨ではないことが分かったこと、など鳥と弥生人との関わりについて紹介された。		
1 回開催				計38

⑥ 企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材として、企画展に関する興味・関心を高めるために、さまざまな自然教室を実施した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月18日(日)	まちなか観察会in高崎	企画展「すき間片隅植物図鑑」に関した観察会として、高崎城址公園において、道ばたや土塁などのすき間の植物を観察したり、タンポポ調査を行ったりした。	生物研究係 大森威宏	15
4月25日(日)	まちなか観察会in前橋	企画展「すき間片隅植物図鑑」に関した観察会として、前橋公園において、石垣や道ばたなどのすき間の植物を観察したり、タンポポ調査を行ったりした。	生物研究係 大森威宏	13
5月9日(日)	上信電鉄途中下車の旅観察会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	生物研究係 大森威宏	―
7月17日(土)	クレヨンで鳥トリすけっち	企画展示にあるはく製から気に入った鳥を探して、鳥をスケッチすることで、鳥の展示により関心をもち、さらに羽や体の特徴などを捉え、深い学びにつなげるようにした。	加藤休ミ クレヨン画家	19
7月29日(木) 8月11日(水)	屋内 鳥トリ観察会 ～夏鳥を探せ～	企画展示室に並ぶはく製の中から、７，８月は、夏に渡る鳥を紹介し、解説した。	清水伸彦 博物館・特別研究員	7/29 20 8/11 0

9月11日(土)	鳥トリキューブをつくってみよう	「鳥の羽」と「キューブ」を用いて、パズルのように組み合わせて作品を仕上げ、企画展示室に作品を展示する。体験と感性を使って楽しむ作品づくりをした。	高橋綾 群馬県立女子大学教授	20
10月10日(日)	群馬サファリで鳥トリ観察会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	川上和人 中川真梨子 澤田寛 新井優希 群馬サファリパーク	―
11月20日(土)	屋内 鳥トリ観察会 ～冬鳥を探せ～	企画展示室に並ぶはく製の中から、冬に渡る鳥を紹介し、解説した。	清水伸彦 博物館・特別研究員	12
11月28日(日)	ニワトリの骨格標本をつくってみよう	飼育しているブロイラーのニワトリを提供していただき、ニワトリを丸々使って骨格標本を作製した。	中川真梨子 澤田寛 新井優希 川上茂久 群馬サファリパーク	14
3月20日(日)	インド茜を使ってスヌードを赤く染めよう	インド茜を使ってスヌード（おしゃれな筒状のマフラー）を赤く染めた。	木暮こづえ	12
10 回開催				125 計

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満		不満
	８０(人)	２(人)	０(人)		０(人)

⑦ 自然史博物館探検隊

夏休みに入ったばかりの小学校高学年の子どもたちを対象として、博物館に一泊し、普段公開していない収蔵庫や展示室の裏側などを探検するイベントとして計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

日　　時：7 月 23 日(土)　集合　午後 6:00
　　7 月 24 日(日)　解散　午前 8:00

⑧ ミュージアムスクール

小学５年生から中学３年生を対象に、博物館周辺の里山を主な調査地として、里山の自然についていろいろな角度から調べた。各担当 2 回ずつ８回の野外実習を行う予定で、最後には研究発表会を計画していた。

月　日	概　　要	指導担当職員
4月24日(土)	開校式、タンポポ調査を行った。	石川 姉崎
5月8日(土)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	石川
6月12日(土)	カタツムリを探した。	鳥羽 石川
7月10日(日)	カタツムリの標本作製を行った。	鳥羽 石川
8月14日(土)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	髙桒・石川 姉崎
9月12日(日)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	髙桒・石川 姉崎
10月23日(土)	ひっつき虫をくっつけて調べた。①	大森 石川
11月3日 (水・祝)	ひっつき虫をくっつけて調べた。②	大森 石川
12月12日(日)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	石川
12月18日(土)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	石川
1月15日(土)	＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	石川 姉崎

⑨ 出張展示

ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人等に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の公民館や大型商業施設へ資料を運んで展示する移動博物館を例年、前年度に計画していたが、今年度は、新型コロナウイルスの関係で募集をかけなかった。しかし、年度中に実施希望があった渋川市小野上公民館について、感染症対策を十分行った上で実施した。

会　　場	期　　日	利用者数	博物館資料点数
渋川市小野上公民館	12月4日(土)・5日(日) 2日間	336	108
合　　計		336	108

イ 他館連携出前教室

年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してＰＲ活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。

会　　場	期　　日	担当	参加者数
富岡市丹生公民館	7月20日(火)	教育普及係　月田寿典	18
群馬県生涯学習センター	7月23日(金)	教育普及係　橋本真里子	32
群馬県生涯学習センター	10月31日(日)	教育普及係　橋本真里子	32
富岡市高瀬公民館	11月6日(土)	教育普及係　石川直紀	20
富岡市吉田公民館	12月23日(木)	教育普及係　石川直紀	20
群馬県生涯学習センター	2月6日(日)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
合　　計			122

⑩ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の午後 2 時から 3 時まで、実験室や館周辺で生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。対象を小学生以上とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月	テーマ	概　　要	参加者数
4	アロマオイルでルームスプレーをつくってみよう	アロマオイルをブレンドしてオリジナルのルームスプレーを作成した。（４回）	137
5	モササウルスの歯のレプリカをつくってみよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
6	海のハーバリウムをつくろう	天然の海藻を使用して、オリジナルのハーバリウムを作成した（1回）	29
7	アンモナイト化石のレプリカをつくろう	アンモナイトについて学んだ後、アンモナイト化石のレプリカを作成した。（5回）	209
8	ぱたぱた鳥のモビールをつくってみよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
9	カイと宝石のお宝キーホルダーをつくってみよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
10	メガロドンの歯のレプリカをつくってみよう	メガロドンの属性を知り、レプリカを作成した。（４回）	134
11	植物化石をさがしてみよう	化石のでき方、化石の探し方について学んだ後、実際に岩石の中から木の葉化石をさがした。（4回）	165
12	フローライト（蛍石）をみがいてみよう	八面体の蛍石をみがき宝石に仕上げていった。（2回）	135

1	コハクをみがいて虫をさがそう	コパル（コハク）について学んだ後、コハクをみがき、みがいたコハクの中に、虫がいるかさがした。（2回）	114
2	化石ミニ発掘体験をしよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止
3	アロマとハーブのロールオンボトルづくり	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止
合　　計			1121

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	210	13	0	0

⑪ホリデーサイエンス

土曜日、日曜日、祭日に、実験室や館周辺等で生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。対象を未就学児や小学生以上などメニューに合わせた内容とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月　日	テーマ	概　　要	参加者数
4月29日(木・祝)	ミニハーバリウムづくりwithタンポポ調査	県民参加型のタンポポ調査を行いつつ、ドライフラワーでハーバリウムをつくった。（2回）	22
5月1日(土)	ストローロケットをつくって飛ばそう	未就学児を対象として、H2ロケット型のロケットを飛ばした。	7
5月3日(月・祝)	とぶタネの模型をつくって飛ばそう	未就学児を対象とて、様々なタネの飛び方を学んだ。	8
5月3日(月・祝)	化石ミニ発掘体験	化石のでき方について学んだ後、ミニ発掘を行った。（2回）	60
5月5日(水・祝)	光るスライムをつくろう 化石ミニ発掘体験	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
7月25日(日)	きのこにふれてみようinきのこ展示会	中庭で開催しているきのこ展示会の解説を行った。（4回）	36
7月25日(日)	海のハーバリウムをつくろう	海藻について学んだ後、海藻を使ったハーバリウムを作成した。	15
7月31日(土)	光るスライムをつくろう	光る生物について学んだ後、闇夜に光るスライムを作成した（2回）	48
8月1日(日)	モササウルスの歯のレプリカをつくろう	モササウルスの生態について学んだ後、歯のレプリカを作成した。（2回）	31
8月1日(日)	アロマ香るルームスプレーをつくろう	アロマについて学んだ後、オリジナルのルームスプレーを作成した。（2回）	48
8月7日(土)	モササウルスの歯のレプリカをつくろう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
8月8日(日)	モササウルスの歯のレプリカをつくろう フローライト（蛍石）をみがいてみよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―

8月21日(土)	ストローロケットをつくってとばしてみよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
8月22日(日)	アロマとハーブのロールオンボトルづくり 化石ミニ発掘体験	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	―
10月9日(土)	海のハーバリウムをつくろう	海藻について学んだ後、海藻を使ったハーバリウムを作成した。	19
10月10日(日)	コパル（コハク）をみがいて虫をさがそう	コハクについて学んだ後、コパルをみがいて虫を探した。（2回）	28
10月10日(日)	フローライト（蛍石）をみがいてみよう	フローライトの特徴を学んだ後、八面体のフローラいををみがいた。（2回）	33
10月17日(日)	化石ミニ発掘体験	化石のでき方について学んだ後、ミニ発掘を行った。（2回）	50
10月24日(日)	秋のきのこを見つけてみよう	秋に出てくる博物館周辺のきのこを採集し、同定を行った。	34
10月28日(木)	化石ミニ発掘体験	化石のでき方について学んだ後、ミニ発掘を行った。（2回）	38
10月28日(木)	ぱたぱた鳥をつくってみよう	鳥の羽の特徴を学んだあと、画用紙でぱたぱたとはばたく鳥を作成した。(2回)	39
10月30日(土)	アロマとハーブのロールオンボトルづくり	様々なミントの香りを嗅いだ後、オリジナルのロールオンボトルを作成した。（2回）	30
10月31日(日)	フローライト（蛍石）をみがいてみよう	フローライトの特徴を学んだ後、八面体のフローライトをみがいた。（2回）	42
11月6日(土)	モササウルスの歯のレプリカをつくろう	モササウルスの生態について学んだ後、歯のレプリカを作成した。	21
11月7日(日)	モササウルスの歯のレプリカをつくろう	モササウルスの生態について学んだ後、歯のレプリカを作成した。	19
11月13日(土)	かわいいミニハーバリウムをつくってみよう	乾燥のタンポポを使って調査形式で行い、かわいいミニハーバリウムをつくった。(2回)	34
11月23日 (火・祝)	コハクのようなたからものをつくってみよう	松ヤニを使用して、コパルを作成した。	51
11月23日 (火・祝)	ぱたぱた鳥をつくってみよう	鳥の羽の特徴を学んだあと、画用紙でぱたぱたとはばたく鳥を作成した。(2回)	31
1月2日(日)	アロマ香るてるてる坊主サシェ（においぶくろ）をつくってみよう	サシェの起源を学び、オリジナルのにおいぶくろを作成した。	10

1月2日(日)	フローライト（蛍石）をみがいてみよう	フローライトの特徴を学んだ後、八面体のフローライトををみがいた。（2回）	48
1月9日(日)	フローライト（蛍石）をみがいてみよう	フローライトの特徴を学んだ後、八面体のフローライトをみがいた。（2回）	50
合　　計			852

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	325	0	0	0

⑫ ミュージアム・ナイト・ツアー

夜の博物館で、地球４６億年の歴史や恐竜、また動物の生態等について紹介しながら、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行うツアーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

開催日（予定日）：１月２９日（土）・２月５日（土）

⑬ バックヤード・ツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内する。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介するツアーを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和３年度は、実施なし。

⑭ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定した研究テーマについて、地学研究係・生物研究係職員の指導をもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は７名の高校生が、５分野のテーマに取り組んだ。

	分　野	参 加 者	指導職員
1	植物	県立前橋東高等学校　１名	大森
2	哺乳類	県立中央中等教育学校　１名	姉崎

3	地質	県立前橋東高等学校　１名	菅原
4	地質	高崎経済大学附属高等学校　１名	菅原
5	地質	県立高崎女子高等学校　１名	菅原
6	蘚苔類	県立伊勢崎商業高校　１名	伊藤
7	化石	県立前橋高校　１名	髙桒

⑮ 大人の自然史倶楽部

大人向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味・関心が高まるきっかけとなるよう以下の２コースで実施した。

コース	内　　容			参加人数	担当
ライトトラップによる昆虫採集	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			―	高橋
カタツムリ	下仁田ジオパークや博物館周辺でカタツムリを採集し、カタツムリについて学んだ。			12	鳥羽
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	
	6	0	0	0	
県民のニーズ	・大人の自然史倶楽部をもっと増やして欲しい。				

⑯ 外部資金の導入

・オンラインコンテンツの開発

公益財団法人日本海事科学振興財団、船の科学館「海の学び ミュージアムサポート・サポートプログラム：特別プログラム」の支援を受け、海洋の学びに関するオンラインコンテンツを制作し、tsulunos で配信した。

事業名：海なし県・群馬からの『山・川・海の循環の海洋教育』の
オンライン教材の開発と配信

事業期間：2021 年 4 月 15 日（木） ～ 2022 年 2 月 25 日（金）

事業内容：本事業は、海のない群馬県を含めた広く一般の人々の「日々の暮らしの中に『山・川・海の循環の海洋教育』」を浸透させることを目標に、オンラインコンテンツの開発と提供を行うものである。

海なし県に暮らす子どもたち、およびその家族は、家庭環境が海に興味関心をもち、触れたい、体感したいと、海や水族館に足を運ばない限り、実際に海に触れることも、海洋について学ぶ機会を得ることもない。また、海、川、山のつながりを意識することもない。コンテンツの開発と提供により、自然を守る意識を高め、地域の自然を未来につなぐ糸口をさぐり、普及することを目的とした。

高等学校を対象とした「山・川・海の循環による海洋教育」に関する動画やワ

ークシート等のオンラインコンテンツを開発し、公開した。

支 援 額：288 万円

・企画展調査

公益財団法人日本海事科学振興財団、船の科学館「海の学び ミュージアムサポート・サポートプログラム３」の支援を受け、企画展「極地」の調査研究を行った。

事業名：群馬県立自然史博物館第 70 回企画展「極地の海洋環境」開催にむけての調査（非接触型コンテンツの開発と試作）

事業期間：2021 年 6 月 1 日（火） ～ 2022 年 2 月 25 日（金）

事業内容：群馬県立自然史博物館第 70 回企画展「極地の海洋環境」開催にむけての調査 3 ヶ年計画の 2 年目として、調査とコンテンツの試作を行い、それに基づき展示シナリオを修正した。本調査研究では、極地観測のはじまりに特に焦点をあて、極地の自然環境の現状と保全、極地の環境変動がもたらす私たちの暮らしへの影響を基軸とした。あわせて、１年目の調査研究の視点として挙げた、１）博物館展示空間における人間の体験の本質の追究、２）体感・実感による長期記憶化の仕組みの探究、３）「自分ごと」としてとらえ行動・実行・継続を誘発する仕組みの実践、に加えて、４）非接触型体験コンテンツの開発、５）デジタルコンテンツの開発とオンライン提供の視点から、展示内容を構築する。さらに、2021 年度から当館の夏の企画展の開催期間が夏・秋を１本にした約 140 日以上のロングランとなるため、より多くの人々に極地の海洋環境について普及することができるようになる。このため、開催期間の途中で、展示物や内容の入替を含めた設計を想定した。

支援額：43 万円

⑰ 文化庁「博物館等の国際交流の促進事業」

文化庁「博物館等の国際交流の促進事業委託業務」の委託を受け、国内博物館が海外の博物館等と連携してウィズコロナにおける国際交流モデル（収益力強化・海外への日本文化発信等）の構築について研究し、持続的な国際交流モデルの提案を行った。

事業名：デジタルアーカイブデータを活用したバーチャル恐竜博物館による国際交流

受託者：バーチャル恐竜博物館（構成員：群馬県立自然史博物館、凸版印刷(株)）

事業期間：2021 年 12 月 15 日（水）～2022 年 3 月 14 日（月）

事業内容：博物館標本のデジタルアーカイブデータを基に、各国の研究者がオンライン上で解説や交流などの連携を行い、群馬県立自然史博物館では中国地質大学と連携し、群馬でのノビタイ足跡化石の展示と、それをテーマとしたオンライン講座を開催した。また、バーチャル空間にアーカイブデータやデジタルレプリカを展示する「バーチャル恐竜博物館」を設立・公開し、その運用試験としてバーチャルツアーを実施し、アバターを用いた展示解説を実施した。

さらにデジタルアーカイブデータを活用したオンライン講座や「バーチャル恐竜博物館」に関するオンラインシンポジウムを開催し、バーチャルとリアルのスパイラル効果を実現できる方法について検討した。

支援額：1 億 564 万円

協力機関：北海道大学総合博物館、むかわ町穂別博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、スミソニアン協会（アメリカ）、中国地質大学（中国）、モンゴル国科学アカデミー、ロイヤル・ティレル古生物学博物館（カナダ）

オンラインシンポジウム：「恐竜化石の三次元デジタルデータによる国際交流」

２月１９日１３時～、当館からネット配信を実施。　プログラムは以下のとおり。

第一部：３次元デジタルデータを活用したオンライン講座（一般の方向け）

バーチャル恐竜博物館の 3 次元デジタルデータを活用したオンライン講座と同様に、一般の方やお子様も楽しめる内容。

●国交 50 周年を迎えるモンゴルとの恐竜研究
小林快次（北海道大学総合博物館）
●3 次元デジタルデータとともに海生哺乳類の進化をたどる
木村敏之（群馬県立自然史博物館）

第二部：「博物館等の国際交流の促進」事業成果報告

これまで開催してきたオンライン講座や 3 次元デジタルデータを活用して博物館の国際交流に関する報告。主に博物館等関係者向けの内容。

●基調講演「スミソニアン博物館における三次元デジタルデータ戦略について」
ヴィンセント・ロッシ氏
（スミソニアン協会デジタイゼーション プログラムオフィス）

●事例報告
「化石と旅する世界　中国と日本をつなぐ（1/30・オンライン講座）」
髙桒祐司（群馬県立自然史博物館）
ビデオメッセージ：シン・リーター准教授（中国地質大学（北京））

「化石と旅する世界　モンゴルと日本をつなぐ（2/23・オンライン講座）」
　小林快次（北海道大学総合博物館）
「モンゴルとのオンライン授業（2/21 からアーカイブ配信）に関して」
　櫻井和彦（むかわ町穂別博物館）
　ビデオメッセージ：ヒシグシャフ・ツォクトバートル博士
（モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所）
「化石と旅する世界　カナダと日本をつなぐ（2/12・オンライン講座）」
　大橋智之（北九州市立自然史・歴史博物館）
　ビデオメッセージ：ドナルド・ヘンダーソン博士
（ロイヤル・ティレル古生物学博物館）
●特別講演「三次元デジタルデータの著作権に関して」
　数藤雅彦（五常総合法律事務所）
●特別講演「バーチャル展示の可能性」
　栗原祐司（京都国立博物館　副館長）

(2)教育支援

① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

ア　大学・高等学校教育への支援　　計実施数3回　67名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
伊勢崎興陽高等学校	高校	7月12日	伊勢崎興陽高校	5	☆国語科出前授業「新しい地球観」	菅原
麻布大学	大・大院	8月26日	自然史博物館	30	資料作成の基本実習：昆虫	姉崎 高橋
群馬県立伊勢崎商業高等学校	高校	10月8日	伊勢崎商業高校	50	☆国語科出前授業「宮沢賢治が愛した鉱物」	菅原
群馬県立高崎高等学校	高校	10月13日	自然史博物館	5	OB訪問、博物館学、展示	伊藤
群馬県立尾瀬高等学校	高校	11月18日	自然史博物館	32	自然史博物館の展示概要	静野 月田
群馬県立伊勢崎商業高等学校	高校	1月12日	伊勢崎商業高校	18	きのこの生活とその役割	伊藤

※：リモート講義・講演、☆：現地及びリモート配信のハイブリッド式講義・講演

慶應義塾大学非常勤講師　博物館学特論III　2021年10月1日～2022年1月21日
13回　オンライン　受講者数86

イ　小中学校教育への支援

ⅰ 総合的な学習の時間への対応（一般見学は除く）　　計1校　6名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容（対応方法）	対応職員等
南牧村立南牧中学校	中1	5月21日	6	尾瀬学校事前学習	解説員

ⅱ 小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援　　計2回　64名

職員派遣先等	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
富岡市校長会	校長	6月1日	富岡市議会棟	32	自然史博物館の効果的な利用方法	月田
安中市校長会	校長	6月4日	安中市議会棟	32	自然史博物館の効果的な利用方法	月田

【出前授業】　　計 実施回数16回　　358名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
藤岡市立第一小学校	小3	6月30日	藤岡市立第一小学校	80	昆虫についての学習 昆虫の標本作り	月田

高崎市立 浜尻小学校	クラブ	9月30日	高崎市立 浜尻小学校	28	化石のレプリカづくり 海のハーバリウムをつくろうを行った	石川
高崎市立 浜尻小学校	クラブ	10月21日	高崎市立 浜尻小学校	59	アロマオイルでルームスプレーをつくろう フローライトをみがいてみようを行った	月田 石川
沼田市立 白沢中学校	中1～ 中3	11月3日	沼田市立 白沢中学校	19	フローライトをみがいてみよう 鳥の羽の模型をつくろうを行った	月田
東吾妻町立 東小学校	クラブ	11月5日	東吾妻町立 東小学校	12	化石ミニ発掘体験を行った	石川
前橋市立 二ノ宮小学校	クラブ	11月11日	前橋市立 二ノ宮小学校	23	コハクをみがいて虫をさがそうを行った	月田
安中市立 後閑小学校	小6	11月12日	安中市立 後閑小学校	22	植物化石をさがしてみようを行った	月田
適応指導教室 アクティブ並榎	小中学生	11月26日	適応指導教室 アクティブ並榎	6	化石のレプリカ作りを行った	月田
適応指導教室 うしぶせの家吉井	小中学生	11月26日	適応指導教室 アクティブ並榎	2	化石のレプリカ作りを行った	月田
適応指導教室 パブリック末広	小中学生	12月10日	適応指導教室 パブリック末広	5	化石のレプリカ作りを行った	月田
適応指導教室 すこやか新町	小中学生	12月10日	適応指導教室 すこやか新町	3	化石のレプリカ作りを行った	月田
みどり市立 大間々北小学校	小6	12月15日	みどり市立大間々北小学校	55	化石ミニ発掘体験を行った	月田
富岡市立 額部小学校	小6	12月17日	富岡市立 額部小学校	24	化石ミニ発掘体験	月田
適応指導教室 フレッシュ群馬	小中学生	12月22日	適応指導教室 フレッシュ群馬	8	化石のレプリカ作りを行った	静野
適応指導教室 さわやか箕郷	小中学生	12月22日	適応指導教室 さわやか箕郷	8	化石のレプリカ作りを行った	静野
適応指導教室 ユース台新田	小中学生	2月9日	適応指導教室 ユース台新田	4	化石のレプリカ作りを行った	月田

② **館内授業**　　計　参加校等 27 校、授業数 41 件、参加人数 809 名

期日		学年	人数	授業内容	回数
9月11日	桐生市立西小学校	4	47	化石のレプリカ作り	2
9月16日	桐生市立神明小学校	4	38	化石のレプリカ作り	2
9月29日	玉村町立南小学校	4	43	化石のレプリカ作り	2
9月30日	草津町立草津小学校	5	33	化石のレプリカ作り	2
10月1日	高崎市寺尾小学校	4	47	化石のレプリカ作り	2
10月2日	みなかみ町立新治小学校	4	28	化石のレプリカ作り	2
10月6日	沼田市立薄根小学校	4	51	化石のレプリカ作り	2
10月7日	前橋市立中川小学校	3・4	42	化石のレプリカ作り	2
10月8日	太田市立宝泉南小学校	4	38	化石のレプリカ作り	2
10月15日	神流町立万場小学校	3・4	12	化石のレプリカ作り	1
10月15日	県立渋川特別支援学校	5	5	化石のレプリカ作り	1
10月15日	藤岡市美九里東小学校	6	23	化石のレプリカ作り	1
10月16日	太田市立世良田小学校	4	36	化石のレプリカ作り	1
10月16日	沼田市立白沢小学校	6	30	化石のレプリカ作り	2
10月20日	高崎市大類小学校	4	46	化石のレプリカ作り	2
10月21日	富岡市立黒岩小学校	3・4	14	化石のレプリカ作り	1
10月22日	安中市立松井田小学校	6	12	化石のレプリカ作り	1
10月23日	高崎市立鼻高小学校	4	13	化石のレプリカ作り	1
10月23日	藤岡市美九里東小学校	5	16	化石のレプリカ作り	1
10月23日	渡良瀬特別支援学校	中学部2,3	11	化石のレプリカ作り	1
10月30日	高崎市立北小学校	4	42	化石のレプリカ作り	2
11月5日	邑楽町立中野東小学校	5	34	化石のレプリカ作り	2
11月6日	昭和村立大河原小学校	3・4	28	化石のレプリカ作り	1
11月19日	玉村町立上陽小学校	4	48	化石のレプリカ作り	2
12月1日	前橋市立笂井小学校	6	22	化石のレプリカ作り	1
12月8日	高崎市立八幡中学校	2	30	化石のレプリカ作り	1
12月11日	安中市秋間小学校	6	20	化石のレプリカ作り	1

※授業メニューは通常、下記の 4 種より選択できるが、今年度はコロナ感染対策により、
レプリカ：「化石のレプリカを作ろう」のみ実施した。
レプリカ：「化石のレプリカを作ろう」　飛ぶタネ：「飛ぶタネの模型を作ろう」
植物化石：「植物化石を探そう」　葉のパウチ：「葉のパウチ標本をつくろう」

③ **職場体験活動（中学校・高等学校）**　　**計 1 校・3 日・延べ 12 名**

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容	対応職員
群馬県立 吉井高等学校	高 1	11 月 16 日 ～18 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	髙桒・鳥羽・菅原・ 伊藤・月田、解説員

④ **教育用資料貸出**　　延べ 32 団体

貸出先	貸出資料	利用目的	貸出	返却
高崎市立六郷小学校	・動物頭骨標本 （パンダ、ワニ、ホモサピエンス、オラウータン、ブタ、タヌキ）	授業で使用	5 月 11 日	5 月 25 日

沼田市立薄根小学校	・動物頭骨標本（イルカ、トラ、アライグマ、ウシ、ゴリラ、ホモ・サピエンス）	理科授業	5月16日	5月29日
前橋市市立木瀬中学校	・動物の頭骨標本 （ウサギ、ウマ、ヒツジ、キツネ、シマウマ、ライオン、ヒョウ、ネコ、ハイイロキツネ） ・歯のレプリカ	理科授業	5月19日	5月28日
富岡市立東中学校	・動物骨格標本 （ウシ、ヤマヤギ、ライオン、クマ）	理科授業	5月26日	5月28日
太田市立城東中学校	・動物頭骨標本 （ライオン、シマウマ）	理科授業	5月29日	6月6日
安中市立松井田南中学校	・動物頭骨標本 （ウマ、ヒツジ、トラ、パンダ、ヒョウ、アライグマ）	理科授業	6月2日	6月8日
安中市立松井田南中学校	・動物頭骨標本 （ウシ、ワニ、タヌキ、ライオン）	理科授業	5月29日	6月12日
安中市立第一中学校	・動物頭骨標本 （ウマ、ヒツジ、トラ、パンダ、ヒョウ、アライグマ）	理科授業	6月2日	6月8日
前橋市立富士見中学校	・動物頭骨標本 （ウマ、ウシ、ウサギ、ヒツジ、ネコ、キツネ、ヒョウ、シマウマ、ヤマヤギ、ライオン、ホモ・サピエンス、シベリアトラ）	理科授業	6月6日	6月20日
まゆドーム	・レプリカ作成キット 石膏＆水 三葉虫型、アンモナイト型、小アンモナイト型、示準化石セット	体験学習	6月9日	6月23日
太田市立太田中学校	・動物頭骨標本 （ウサギ、ウマ、イヌ、ライオン、パンダ、チンパンジー） ・昆虫等ジェル標本	理科授業	6月12日	6月25日
榛東村立榛東中学校	・動物頭骨標本 （ライオン、ヒョウ、ウマ、ウシ） ・昆虫等ジェル標本	理科授業	6月22日	6月29日
高崎市立下室田小学校	・昆虫等ジェル標本 ・昆虫等標本（バッタ）	生活科授業	6月27日	7月10日

南牧村立南牧小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 小アンモナイト凹型 示準化石セット	理科授業	6月29日	7月7日
南牧村立南牧小学校	・ビカリヤ凹型 三葉虫凹型	理科授業	7月2日	7月7日
富岡市立額部小学校	・動物頭骨標本 （ホモ・サピエンス、パラントロプス・ボイセイ）	学校朝礼	7月6日	7月16日
明和幼稚園	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	体験学習	7月27日	7月31日
富岡市立東中学校	・始祖鳥 ・ティランノサウルスの歯	理科授業	8月30日	9月3日
甘楽町立小幡小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型　モササウルス両面型、スピノサウルス両面型、三葉虫凹型、ビカリア凹型 ・実物化石　モササウルス　スピノサウルス、アンモナイト、三葉虫、ビカリア	理科授業	9月17日	9月24日
伊勢崎市宮郷第二小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型 ・示準化石セット、ビカリア実物化石	理科授業	10月9日	10月23日
高崎市立吉井小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	理科授業	10月21日	10月26日
高崎市立岩平小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型 ・示準化石セット、ビカリア実物化石	理科授業	10月24日	11月7日
安中市立臼井小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型 三葉虫凹型 ・実物化石 アンモナイト、三葉虫	クラブ活動	11月9日	11月19日
みどり市立大間々北小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	理科授業	11月12日	11月26日

安中市立安中小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型　三葉虫凹型	理科授業	11月23日	11月28日
群馬大学共同教育学部附属中学校	・消化管のアクリル標本 ・鳥類の胃の内容物アクリル標本	理科授業	1月5日	1月31日
富岡市立西小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	図工クラブ	1月14日	1月19日
東吾妻町立東小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型 三葉虫凹型 ・実物化石 アンモナイト、三葉虫	クラブ活動	2月10日	2月17日
上野村立上野小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	理科授業	2月23日	3月1日
榛東村立榛東中学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型、三葉虫凹型、ビカリア凹型 ・実物化石 アンモナイト、三葉虫、ビカリア ・示準化石セット	理科授業	3月19日	3月24日
前橋市立富士見中学校	・実物化石セット ・いろいろな化石セット ・実物化石 アンモナイト、三葉虫、ビカリア、モササウルス、スピノサウルス	理科授業	3月19日	3月27日
富岡市立妙義中学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト凹型	理科授業	3月15日	3月17日

アンケート結果 利用者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	32	0	0	0
利用者の感想	・本物の化石と出会うことでとても嬉しそうでした。子ども達の興味関心が高まり、主体的な学びに繋がっていました。 ・写真の資料は有りますが、実物に触れながら肉食動物と草食動物の違いを考える授業は有効だった。			

⑤ 博物館実習

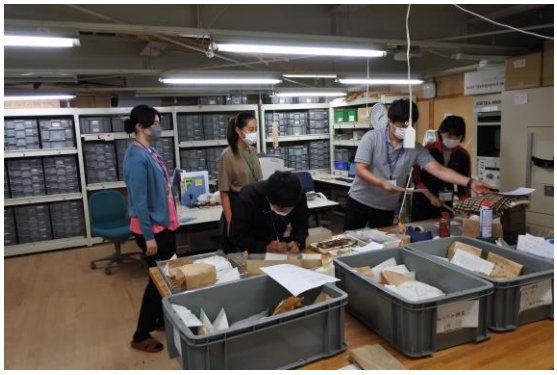
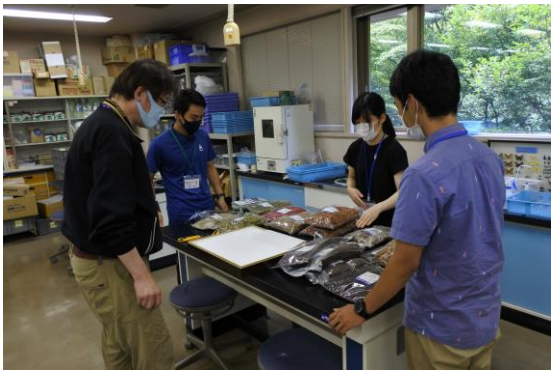
学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

受入期間　　令和３年８月１日（日）～８月 11 日（水）〔実質１０日間〕

大学別受入人数：

群馬県立女子大学	１名
立正大学	１名
大東文化大学	１名
東京農業大学	２名
桜美林大学	１名
八洲学園大学	１名
信州大学	２名
琉球大学	１名
奈良女子大学	１名
大正大学	１名
（計）	（ １２名 ）

主な実習内容：オンライン講義（学芸・教育普及業務）
オンラインバックヤード見学
教育普及活動立案実習（オンライン）
企画展案及び教育普及事業立案（オンライン）
資料整理業務実習（オンライン、対面）

⑥インターンシップ受入れ

本年度は実施なし

⑦ 大学パートナーシップ・連携等

8 月 26 日に麻布大学の館内実習を実施。学生 23 名、TA3 名、教員 2 名の計 28 名参加し、実験室にて神津牧場における麻布大学の野外実習調査で採集した糞虫の標本化実習を実施した。

⑧ 大学生・大学院生等指導

東京農業大学 1 名、東京農工大学 1 名

(3)　外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。令和3年度の問い合わせ件数は 154 件で過去2年とほぼ同数になったが、昨年に引き続き 100 件以上少ない。職員が参加する集会など、オンラインでの事業が定着してきたので、実際にはオンラインや館外で受け入れた数は、これより多いものと考えられる。問い合わせ元では一般(学生を除く)からの問い合わせが 60 件で最も多く、以下公共団体(33 件)が多く、マスコミからの取材・問い合わせが増加した(21 件:表①)。今年度も過去 2 年間同様、教示(84 件)が一般的な問い合わせ(36 件)を上回った(表②)。本年は過去に比べ単純な問い合わせが増加し、同定が減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛が求められたことと関係すると考えられる。問い合わせ方法は電子メール主流(95 件)への集中が顕著であったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響があるかもしれない(表③)。問い合わせの発信元は県内 96 件に対して県外 39 件で、例年と傾向は変わらない(表④)。このほか海外からの問い合わせも 5 件あった。県内からの問い合わせは、前橋市や高崎市が多い傾向は過去 3 年間変わらなかった。一方で博物館から遠いみなかみ町や館林市からの問い合わせが上位になった点も注目に値する(表 ⑤)。

①　問い合わせ元の職・所属

一般	60
公共団体	34
マスコミ	21
研究者	17
民間機関	14
博物館施設	5
小中高生	2
その他	0
大学生・院生	1
合計	154

②　問い合わせ内容の種別

教示	84
問い合せ	36
同定	30
取材	4
その他	0

③　問い合わせ方法

メール	95
電話	37
来館	16
郵送	5
その他	1

④問い合わせ元の居住地・所在地

群馬県内	96
県外国内	39
海外	0

⑤ ④のうち県内上位内訳

前橋	31
高崎	11
みなかみ	8
富岡	8
館林	7
藤岡	6
桐生	4
その他	14

(4)　学会等の開催

①ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021

※令和 4 年 1 月 22 日(土)に文化ホールで報告会を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催とした。なお、報告会の様子はライブ配信を行った。

３　資料収集・管理

(1) 資料管理

①温湿度管理

管理場所	管理状況（設定）
第１収蔵庫	夏季：20℃、50％　冬季：18℃、55％　春秋：18～20℃、55～50％
第２収蔵庫	夏季：20℃、50％　冬季：18℃、55％　春秋：18～20℃、55～50％
第３収蔵庫	夏季：20℃、50％　冬季：18℃、55％　春秋：18～20℃、55～50％

②資料の安全な保護対策

ア 文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下を実施した。

○第二収蔵庫出入り口に積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫（生物系）燻蒸	殺虫殺黴	令和３年 6 月 14 日～6 月 20 日	関東港業株式会社	アルプ
	常設展示室（D コーナー霊長類剥製）	防虫防黴	令和３年 6 月 14 日～6 月 20 日	関東港業株式会社	ブンガノン＋ライセント
2	燻蒸庫燻蒸４回	殺虫殺黴	令和３年 12 月 6 日～12 月 14 日	関東港業株式会社	エキヒューム S
3	燻蒸庫保守点検ならびに燻蒸庫燻蒸２回	殺虫殺黴	令和４年 2 月 14 日～2 月 18 日	関東港業株式会社	エキヒューム S

(2) 基準標本と天然記念物の状況

①正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-170	*Limnofregata hasegawai* Olson et Matsuoka, 2005 **ハセガワグンカンドリ**
2	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1341	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
3	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1701	*Nipponopon hasegawai* Karasawa, Kato et Terabe, 2006　**ハセガワニッポノポン，新属の模式種**
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1256	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 **ジョウモウクジラ，新属の模式種**
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3158	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010，**新属の模式種**

7	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2116	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2164	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3167	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3170	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3173	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3182	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3185	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3188	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3537	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3504	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3162	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4001	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
19	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4211	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
20	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4228	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
21	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a
22	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4122	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4125	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4128	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4133	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4137	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
27	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4142	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

28	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4147	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
29	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4152	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
30	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4157	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
31	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4159	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
32	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4163	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
33	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4167	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
34	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4172	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
35	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4177	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
36	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4181	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
37	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2570	*Ninjadelphis ujiharai* Kimura, 2016 (in Kimura and Barnes, 2016), **新属の模式種**
38	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3210	*Eschrichtius akishimaensis* Kimura, Hasegawa et Kohno, 2018 **アキシマクジラ**
39	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3244	*Kentriodon nakajimai* Kimura et Hasegawa, 2019
40	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3463	*Norisdelphis annakaensis* Kimura et Hasegawa, 2020, **新属の模式種**
41	化石	脊椎動物	爬虫類	GMNH-PV-229	*Amphicotylus milesi* Yoshida, Hori, Kobayashi, Ryan, Takakuwa et Hasegawa, 2021
42	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-678	*Annakacygna hajimei* Matsuoka et Hasegawa, 2022 **アンナカコバネハクチョウ**, **新属の模式種**
43	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-1685	*Annakacygna yoshiiensis* Matsuoka et Hasegawa, 2022

②等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH-PV-042	*Sebastes kanezawai* (Niino, 1951)

③従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1342	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1700	*Hoploparia kamimurai* Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1257, 1258	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3159	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
5	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2113-15, 2117-2124	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
6	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2165 -2170	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3538, 3539	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3505-3525	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3164	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4003	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4123, 4124, 4203, 4204	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4126, 4127, 4205, 4206	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4129, 4130, 4131, 4132	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4134, 4135,4136	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

15	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4138, 4139, 4140, 4141	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
16	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4143, 4144, 4145, 4146	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4148, 4149, 4150, 4151	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4153, 4154, 4155, 4156	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4158, 4206, 4159, 4207	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4160, 4161, 4162, (4161)	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4164, 4165, 4166	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4168, 4169, 4170, 4171	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4173, 4174, 4175, 4176	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4178, 4179	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4182, 4183, 4184, 4185	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

26	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3245	*Kentriodon nakajimai* Kimura et Hasegawa, 2019

④従基準標本(別性) Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3160-61	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3168	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3171	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3174	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3183	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3186	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3189	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3163	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4002	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4212	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4229	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a

⑤同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162-64	*Ikeyacythereis wutzushuii* (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

⑥国指定 特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-1028	*Diomedea albatrus* Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19

2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM-066 ほか	*Capricornis crispus* (Temminck, 1836) **カモシカ**	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-855	*Spilornis cheela* (Latham, 1790) **カンムリワシ**	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-677 ほか	*Grus japonensis* (Muller, 1776) **タンチョウ**	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-936 ほか	*Lagopus mutus* Montin, 1781 **ライチョウ**	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA	*Nipponia nippon* (Temminck, 1835) **トキ**	1952.03.29

⑥国指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-546 ほか	*Aquila chrysaetos* (Linnaeus, 1758) **イヌワシ**	1965.05.12
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-4658 ほか	*Parnassius eversmanni daisetsuzanus* Matsumura, 1926　**ウスバキチョウ**	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-847 ほか	*Haliaeetus pelagicus* (Pallas, 1811) **オオワシ**	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC-113	*Coenobita cavipes* Stimpson, 1858 **オカヤドカリ**	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-31292 ほか	*Vacciniina optilete daisetsuczana* (Matsumura, 1926)　**カラフトルリシジミ**	1967.05.02
6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289	*Plestiodon kishinouyei*　(Stejneger, 1901)　**キシノウエトカゲ**	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか	*Oeneis melissa daisetsuzana* Matsumura, 1926　**ダイセツタカネヒカゲ**	1965.05.12
8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959	*Anser albifrons* (Scopoli, 1769) **マガン**	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1909) **ミヤコタナゴ**	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM	*Glirulus japonicus* (Schinz, 1845) **ヤマネ**	1975.06.26

⑦県指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱 物		GMNH-EM-781	Zunyite **ズニ石（みなかみ町入須川産）**	1973.08.21

2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858 ほか	*Colias palaeno aias* Fruhstorfer, 1903 **ミヤマモンキチョウ**	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか	*Erebia niphonica* (Janson, 1877) **ベニヒカゲ**	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか	*Aporia hippia japonica* Matsumura, 1919 **ミヤマシロチョウ**	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか	*Luehdorfia puziloi inexpecta* Sheljuzhko, 1913 **ヒメギフチョウ**	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか	*Hynobius lichenatus* Bouleger, 1883 **トウホクサンショウウオ**	2007.03.27
7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	*Hynobius kimurae* Dunn, 1923 **ヒダサンショウウオ**	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001 ほか 1 点	*Rana* aff. *architemporalia* **ムカシアカガエル**	1996.03.29
9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 **ジョウモウクジラ**	2012.03.23

(3) 収蔵資料数

番号	分　　野	令和３年度登録		全登録	
		収蔵資料点数	画像登録点数	収蔵資料点数	画像登録点数
1	哺乳類	440	147	7,184	1,222
2	鳥類	41	19	2,328	678
3	両生･爬虫類	1	2	644	100
4	魚類･円口類	4	22	861	312
5	昆虫	236	0	60,071	655
6	クモ類	0	0	88	33
7	甲殻類	0	0	520	389
8	その他の節足動物	0	0	6	5
9	軟体動物	4	89	12,366	7,083
10	その他の無脊椎動物	0	0	211	113
11	ロット標本	0	0	808	0
12	種子植物	2,116	0	78,339	544
13	シダ植物	706	0	13,027	19
14	蘚苔類	0	0	829	23
15	藻類	0	0	997	323
16	地衣類	0	0	688	124
17	菌類	338	365	7,851	5,195
18	細菌類	0	0	0	0
19	人類	0	2	1,918	2,057

20	古動物	84	466	6,909	6,012
21	古植物	26	33	3,030	3,200
22	岩石	3	4	2,898	2,742
23	鉱物	6	6	1,880	1,953
24	環境･地質現象	2	11	53	28
	合　計	4,007	1,166	203,506	32,810

(4) 資料購入

番号	資　料　名　称	分　野	数量	購　入　業　者
	本年度は該当無し			

(5) 委託（製作、資料整理・保存）

番号	委 託 業 務 名 称	分野	数量	委 託 先 名 称	用 途
1	ペラゴルニス化石複製品作製業務	古生物	1	(株)プラニー商会	展　示 研　究
2	令和３年度 群馬県産鉱物資料調査収集業務	鉱物	1式	株式会社 蒜山地質年代学研究所	展　示 研　究
3	生物模型製作委託業務	菌類他	4	アンフィー合同会社	展　示 研　究

(6) 寄贈資料・管理移管資料

① 寄贈資料

番号	受贈資料名称	分野	数量	寄贈者	受付年月日
1	大水鉱山（南牧村）鉱石標本	鉱物	3	ぐんま鉱山研究会（長井真、飯島富司、本多優二）	R03.4.8
2	植物標本(2100 種)	植物	6300	阿部　利夫	R03.6.9
3	植物標本	植物	70	佐藤　民雄	R03.5.21
4	軟体動物乾燥標本（陸貝等）	無脊椎動物(軟体動物)	840	大谷　洋子	R03.6.4
5	タカラガイ等貝類標本	無脊椎動物(軟体動物)	93	辻　丈司	R03.8.3
6	海藻標本	藻類	一式(30 種)	高山村立 高山小学校	R03.9.7
7	ツキノワグマ剥製標本	哺乳類	1	関口　和子	R04.2.25
8	ヤマドリ剥製標本	鳥類	1	小林　志津夫	R04.2.25
9	陸棲哺乳類検体	哺乳類	360	県内市町村、環境森林事務所等	通年

10	鳥類資料	鳥類	15	県内市町村、環境森林事務所等	通年
11	両生類・爬虫類資料	両生類 爬虫類	1	県内市町村、環境森林事務所等	通年

② 管理移管資料

番号	管理移管資料名称	分野	数量	移管者	受付年月日
1	岩石標本、鳥類剥製標本	岩石・鳥類	41	群馬県立 妙義青少年自然の家	R04.3.11

(7) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄　託　期　間
	本年度は該当無し			

(8) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備　考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10.3.23～	前年度から継続
2	ディメトロドン生体復元模型等古生物標本	68	宮崎県総合博物館	R03.6.23 ～9.21	特別展
3	毒きのこ模型	31	群馬県野生きのこ同好会	R03.4.11 ～4.14	ネット配信番組撮影で使用
4	アンモノイド類化石標本	7	三上智之 （東京大学大学院）	R03.4.14～ 4.23	研究
5	*T. rex*頭骨レプリカ等	14	三笠市立博物館	R03.4.22 ～9.30	特別展 （巡回展）
6	アステラカンタス歯化石等古生物標本	47	みどり市大間々博物館	R03.5.28 ～9.30	企画展
7	アノドントサウルスの尾部レプリカ等古生物標本	3	兵庫県丹波市（丹波市化石工房ちーたんの館）	R03.7.10 ～9.15	夏期特別展
8	ホモ・エルガスター等人類・霊長類標本ならびに画像	46	神栖市歴史民俗資料館	R03.6.10 ～9.30	企画展
9	アウストラロピテクス・アフリカヌス頭骨等人類化石ならびに遺物	21	岩宿博物館	R03.7.31 ～9.23	企画展
10	ステゴサウルス尾部スパイクレプリカ	1	兵庫県丹波市（丹波市化石工房ちーたんの館）	R03.7.10 ～9.15	夏期特別展
11	塩ノ沢産アンモノイド類化石等	24	佐野市葛生化石館	R03.6.30～ R04.2.28 （会期延長）	企画展

12	ベニテングタケ拡大模型	1	茨城県自然博物館	R03.7.1～ 9.26	企画展
13	サメ類歯化石 （アキシマクジラと共産）	12	昭島市教育委員会	R03.7.8 ～10.31 （展示期間延長）	展示
14	岩石標本、鉱物標本、 秩父盆地産化石標本	12	埼玉県立川の博物館	R03.9.14～ 12.10	秋期企画展
15	*T. rex* 頭骨レプリカ等	14	島根県立三瓶自然館	R03.9.20～ R04.3.2	特別展 （巡回展）
16	アキシマクジラ実物標本 （頭蓋を除く）	一式	昭島市教育委員会	R03.10.1～ R04.9.30 （貸出期間延長）	展示
17	ブラジル産白亜紀カエル類 全身骨格化石、現生ワニ類 頭骨レプリカ等	7	兵庫県丹波市（丹波市化 石工房ちーたんの館）	R03.12.1～ R04.3.21	冬期特別展
18	キノコ類入りコハク標本	1	大阪スポーツみどり財団 （咲くやこの花館）	R03.12.10～ R04.2.28	展示
19	群馬県産および栃木県産 ヒメウスノキさく葉標本	4	Peter W. Fritsch （テキサス州立植物園）	R04.1.26	重複標本 提供
20	トパーズ、ベリル等 鉱物標本	9	国立科学博物館	R04.2.1～ 6.26	特別展 展示
21	プラスティネーション標本	2	本間典子 （国立看護大学校）	R03.8.1～ 9.30	研究
22	ニホンジカ剥製等 14 点、 ニホンジカ等画像 5 点	19	群馬県 環境森林部自然環境課	R04.2.25～ 2.28	イベント展 示
23	*T. rex* 頭骨レプリカ等	15	国立科学博物館	R04.3.3～ R04.6.30 （予定）	特別展 （巡回展）
24	エオラプトル全身骨格等	24	兵庫県立 人と自然の博物館	R04.6.28～ R05.1.27 （予定）	企画展 （次年度分）

(9) 借用資料

	借用資料名称	数量	借用先名称	借 用 期 間	備考
1	K／T境界層標本（常設展示）	1	馬場　健司	R03.4.1 ～R06.3.31	前年度から継続 期間更新
2	県内産アンモナイト（ヘテロケラス）等化石標本（常設展示等）	7	松原　剛史	R03.4.1 ～R06.3.31	前年度から継続 期間更新
3	沼田湖成層産ドブガイ化石（常設展示）	1	沼田市教育委員会	R03.4.1 ～R06.3.31	所有者変更
4	ギガノトサウルス歯化石等７点（常設展示等）	7	十津　守宏	R03.4.1 ～R06.3.31	前年度から継続 期間更新
5	ストロマトライト等、岩石資料（常設展示）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	R03.4.1 ～R04.3.31	前年度から継続、 期間更新
6	はやぶさ２ターゲットマーカー模型、パネルデータ	2	かかみがはら航空宇宙博物館	R04.9.6～ R04.11.30 （模型）、 R04.1.6～ R04.11.30 （データ）	次年度 企画展
7	宇宙エレベータ画像データ４点、動画データ２点	6	(株)大林組	R03.11.16～ R04.11.30	次年度 企画展
8	エウブロンテス・ノビタイレプリカ標本等	7	国立科学博物館	R03.12.13～ R04.3.18	文化庁事業 関係
9	白萩隕鉄画像データ	1	国立科学博物館	R04.4.1～ 11.30	次年度 企画展
10	ストロマトライト等、岩石資料（常設展示）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	R04.4.1 ～R05.3.31	次年度分、 前年度から継続、 期間更新

(10) 特別観覧

番号	観覧資料名称	数	特　別　観　覧　申　請　者		申請期間	備考
1	さく葉標本（ラン科、ミソハギ科）	25	ふじのくに地球環境史ミュージアム	早川宗志	R3.5.13	熟覧 撮影
2	ヘリコプリオン、エデスタス	4	東京大学大学院	三上智之	R03.4.14	熟覧 模写 実測 撮影

3	ストロマトライト標本	10	名古屋大学大学院	片田はるか	R03.7.18	熟覧 模写 実測 撮影
4	ネズミ、ブタの胎児のプラスティネーション標本	一式	国立看護大学校	本間　典子	R03.8.1	熟覧 撮影
5	上黒岩産オオツノジカ鑑定書、上黒岩産オオツノジカ化石（いずれもレプリカ）	2	東京文化財研究所 保存科学研究センター	朽津　信明	R03.10.20	熟覧 撮影
6	群馬県産ウミガメ類化石	一式	神奈川県立生命の星・地球博物館	樽　創	R03.9.19	熟覧 模写 実測 撮影
7	ササ類（ネザサ節）植物標本	一式	相模ササ類研究	三樹　和博	R03.11.19	熟覧 模写 実測 撮影
8	シダ植物標本	5	日本シダの会	岡　武利	R04.1.21	熟覧 撮影
9	アオバト、フクロウ 剥製	2		奥野　博邦	R03.7.2	実測 撮影

② 撮影等の目的

番号	観覧資料名称	数	特　別　観　覧　申　請　者		申請期間	備考
	今年度は該当無し					

(11) 画像等使用許可

番号	使用画像等の名称	数	使用者名称	使用開始日
1	画像 ゴニオフォリス類全身骨格、アクロフォカ頭骨、アロデスムス全身骨格、ポタモテリウム全身骨格	4	(株)技術評論社 （「水際の興亡史[土屋健著]」掲載）	R03.4.9～
2	画像 ジゴリザ頭骨	1	(株)技術評論社 （「水際の興亡史[土屋健著]」掲載）	R03.5.3～
3	画像　ディメトロドン 全身骨格	1	(株)ニュートンプレス （「古生物大図鑑」掲載）	R03.5.25～
4	画像　群馬県産スピノサウルス類歯化石	1	企画室トリトン（(株)チャイルド発行『チャイルド科学絵本館なぜなにクイズ図鑑「2021年度12月号」』掲載）	R03.12.1(発行予定日)～

5	画像 ホモ・ネアンデルターレンシス	1	北海道放送報道部（放射性廃棄物の無毒化に要する時間の紹介のために使用）	R03.5.25～
6	画像 ゴンドワナラクネ	1	日本経済新聞社（同社共催の巡回展「大地のハンター展（新潟､名古屋会場）で展示）	R03.7.5～9.5(会期)
7	画像 スプリッギナ等古生物標本 12 点	12	(株)第一学習社（高等学校要理科副教材『スクエア最新図説生物』ならびに指導用資料、生徒用電子書籍に掲載）	R03.6.28～
8	画像 ユーステノプテロン化石	1	野間聡（愛媛県・中学校教諭／中学生対象の YouTube の 教育チャンネル「まずはやってみよう」にて進化の証拠として使用）	R03.7.1～
9	画像 バージェス頁岩動物群ジオラマ	1	(株)アルパ（ポプラ社発行の『総合百科事典ポプラディア』に掲載）	R03.11～R04.9
10	画像 タペヤラ全身骨格等翼竜類標本画像３点	3	(株)小学館（小学生向け学習雑誌『小学８年生』に掲載）	R03.9.2(発行予定日)～
11	画像 大型鰭脚類の陰茎骨化石（研究報告 11 号，長谷川 2007）	1	(株)ブックマン社（「男と女の古生物学」に掲載[土屋健著]」掲載）	R03.12(発行予定)～
12	動画「種の散布に見る植物の知恵（当館制作）」	1	里見立夫（富岡市額部公民館ワークショップで参加者視聴）	R03.8.5
13	画像 シロオニタケ、ホコリタケ、タマゴタケ	3	富岡市役所総務部地域づくり課（Web マガジン「まゆといと」使用）	R03.9.6～
14	画像 ヤベオオツノジカ全身骨格	1	富岡市黒岩公民館（同公民館の広報誌に掲載）	R04.1.1～
15	画像　ディメトロドン全身骨格	1	(株)ニュートンプレス（「古生物大図鑑」の中国語翻訳版に掲載予定）	R04.1.5～
16	画像 シジミ化石標本	1	ベネッセコーポレーション（高校２年生向け理科教材「2022 年度 キミ専用合格への弱点克服基礎トレーニング」掲載予定）	R04.7.1～
17	画像 エトブラッティナ化石標本	1	清水聡司（箕面公園昆虫館／repicbook(株)発行「ふしぎな昆虫[仮称／申請者執筆]」掲載）	R04.3.10～
18	画像 トリケラトプス（ボーンベッド）、マメンキサウルス全身骨格	2	(株)学研プラス（トリケラトプス 1/35 骨格模型キット付属ガイドブックに掲載予定）	R04.3～
19	画像 鶏冠石標本	1	下仁田町自然史館（下仁田ジオパーク総合パンフレット解説書に掲載）	R04.3.28～

(12)　資料・展示関係機器等の修復

平成 23 年３月 11 日の地震で破損した A-2 のディメトロドン実物全身骨格の棘突起１本は、ガラスケース内での作業実施が困難であるため、修復せずに現状維持としている。

また、A-3 のプラテカルプス実物全身骨格の右前肢の指骨については、接着しても自重で再び折れてしまうことから、来館者に面していない側であることを考慮し、こちらも現状維持としている。

(13) 科学系博物館情報ネットワーク開発事業自然史標本データ整備事業

本年度は国立科学博物館のナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）最終年にあたり、9 月末に事業を完了する必要があったため、サイエンスミューアムネット(S-Net)/GBIF へのデータベース新規登録は行わなかった。なお、現在までにサイエンスミューアムネットにおいて、93,568 件の標本資料が公開されている。

(14) 文献資料等の充実

○ 購入

図書	98 冊
和雑誌	124 冊
洋雑誌	23 冊

○ 寄贈受入

図書	146 冊
雑誌	481 冊
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱ	4 冊
地図	1 冊

○ 交換受入図書数

379 冊

○ 交換館数

国内 294 機関
海外 14 機関

４　調査研究

(1)　みなかみ地域学術調査（自然史調査）

①調査の背景・目的

群馬県立自然史博物館では、調査地域における動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を数年単位で把握する学術調査を実施し、調査結果を報告書としてホームページで公表している（http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_inve）。調査結果は、分類学的取り扱いや自然史科学的課題を議論するために活用され、県内の自然に関する重要な見識を周知することに役立っている。

これまでの学術調査では、主に自然史博物館が位置する西毛地域を中心として行われてきたが、平成 29 年度から、学術調査地域をみなかみ町及び周辺地域に設定し、５年間をかけて学術調査を実施している。また、みなかみ町を対象とした調査は、日本自然保護協会（NACS-J）及びみなかみ町と連携して実施している。

この調査では、みなかみ町及び周辺地域の動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を明らかにし、当館収蔵標本と所有データの充実化を図ることで、調査結果を県内外の来館者に効果的かつ正しく伝えることを目的とする。

みなかみ地域学術調査の対象地域は比較的面積が大きく、調査ルートや標本の採集を希望する場所が国立公園、県自然環境保全地域、国有林などに該当する場合が多い。したがって、分野による活動内容のばらつきはあるものの、調査分野ごとに調査を進めた。なお、本調査の 5 年目にあたる令和 3 年度は調査のまとめを行うはずだったが、新型コロナウイルス感染症防止対策の影響を受け、十分な調査が行えなかったため、令和 4 年度まで延長することとした。

ア　調査日及び調査内容

４月２１日　維管束植物
５月１０日　維管束植物
５月２０日　菌類
５月２１日　哺乳類
５月２６日　維管束植物（県レッドデータブック調査を兼ねる）
５月２８～１９日　小型哺乳類
６月１６日　維管束植物
６月１６～１７日　小型哺乳類
６月１８日　地質・岩石
５月２１日　哺乳類、地衣類
５月２８～１９日　小型哺乳類
６月　６日　無脊椎動物（昆虫を除く）
６月１６～１７日　小型哺乳類
６月２９日　菌類
７月２１日　菌類
７月２４日　無脊椎動物（昆虫を除く）
８月２６日　菌類
９月２４日　菌類
１０月　６日　維管束植物
１０月２０日　菌類
１０月２２日　無脊椎動物（昆虫を除く）
１１月　９日　菌類
１１月４～５日　小型哺乳類

１１月１０～１１日　小型哺乳類
１１月１４日　維管束植物
１１月２３日　無脊椎動物（昆虫を除く）
１２月４日　　哺乳類、地衣類

(2)　担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容（自然史調査を除く）	主な方法
植物	・群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査 ・群馬県及び周辺部の絶滅危惧植物の生態と保全に関する調査 ・尾瀬のフロラに関する調査	・踏査、採集、GPS 測位、個体数モニタリング、低温シードバンク保存
菌類	・群馬県における菌類生息状況調査	・群馬県内の菌類標本の採集、収蔵 ・群馬県野生きのこ同好会の採集会に参加、採集資料の収蔵 ・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握
地衣類	・群馬県における地衣類生息状況調査	・群馬県内の地衣類標本の採集、収蔵
蘚苔類	・群馬県における蘚苔類生息状況調査	・群馬県内の蘚苔類標本の採集、収蔵
変形菌類	・群馬県における変形菌類生息状況調査	・群馬県内の変形菌標本の採集、収蔵
鳥類	・群馬県における外来生物調査 ・群馬県における鳥類解剖調査 ・群馬県における放射性物質汚染状況調査 ・全国鳥類分布調査 ・猛禽類鉛中毒調査	・ソウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵 ・野鳥病院より検体の受入 ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積 ・鳥類の分布変遷の把握 ・猛禽類内臓サンプルの確保
哺乳類	・群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査 ・群馬県における外来生物調査 ・群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査 ・ニホンジカ個体数調整事業にともなう調査 ・カモシカ個体数調整事業にともなう調査 ・イノシシ個体数調整事業にともなう調査 ・適正管理計画に関わる野生鳥獣の基礎調査	・群馬県鳥獣保護管理員、自然保護指導員報告野生動物情報調査 ・カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生、稲含山、渡良瀬） ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaI シンチレーション（全身スクリーニング）試料の生成、データ蓄積 ・シャーマントラップ調査（みなかみ）
博物館学	・自然史系博物館資料の３Ｄデジタル標本化	・収蔵資料等の３Ｄデジタル標本化

脊椎動物化石	・群馬県産および当館所蔵の脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
	・群馬県産海生哺乳類化石および関連標本の調査研究	・収蔵標本等のプレパレーション ・他館等収蔵の比較標本調査 ・論文の発表
無脊椎動物化石	・群馬県産、および当館所蔵の無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
植物化石	・群馬県産および当館所蔵の植物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
地質・岩石	・群馬県自然環境保全地域「根本沢」の地質・岩石・地質現象調査 ・みなかみ町西部における変質帯調査 ・高崎市吉井町における多胡石の石材利用調査 ・第四次尾瀬総合学術調査に関わる尾瀬周辺の地質調査 ・インドネシアのゴロンタロ州のジオサイト候補地におけるインタープリテーション及びジオパーク構想に関わる調査研究 ・中之条湖成層の分布調査	・フィールド調査に基づく岩石の産状及び岩相記載 ・肉眼及び偏光顕微鏡を用いた岩石記載 ・実体顕微鏡を用いた構成粒子観察
鉱物	・廃止鉱山の保護保全に関する研究	・フィールド調査に基づく坑口の確認及び地権者へのヒアリング
無脊椎動物(昆虫を除く)	・群馬県立自然史博物館周辺における陸貝の生息調査 ・群馬県における無脊椎動物(昆虫を除く)生息状況調査	・フィールド調査 ・採集資料の収蔵
昆虫	群馬県における昆虫の生息状況調査	・見つけ捕り ・ピットフォールトラップ

(3) 美術館・博物館調査研究

「宇宙への挑戦　season Ⅰ　月に向かって」
「宇宙への挑戦　season Ⅱ　月よりも遠くへ」

古代から、人類は夜空を眺めて宇宙への思いを抱いてきた。地球、月、惑星、宇宙は、いつどのようにできて、どんな姿なのか。謎を解くために、人類は宇宙を観測し、進出してい

った。アポロ、ルナ、かぐや、あかつき、はやぶさ、はやぶさ 2、H-ⅡA、H-ⅡB、H3 ロケット、国際宇宙ステーション（ＩＳＳ）…。世界のロケット、人工衛星、探査機の歴史と技術と科学を通して、これからの宇宙開発や人類が目指す宇宙を紹介する。

本企画展の開催にあたり、一般財団法人日本宇宙フォーラム、JAXA、株式会社 IHI エアロスペース、東京農業大学、富山市科学博物館、向井千秋記念子ども科学館などで、収蔵標本調査を行い、借用希望標本の選定を行った。

「毒のある生き物大図鑑」

山や海など自然と接する際に、有毒生物とたくさん遭遇する。近年、有毒生物による被害は後を絶たず、有毒生物の生態を知ることは、私たちが身を守るのに非常に有用である。一方、人間にとって脅威であり恐怖を感じる有毒生物だが、それら特有の姿形や生態には、おおいに興味をそそられる。本企画展では、有毒生物の生態や特徴、特に毒のある部位や毒をもつ起源について、また、毒と食文化、薬としての利用等、毒と人間との関わりについての展示を行いたいと考えている。

本企画展開催にあたり、千葉県立中央博物館分館海の博物館、（一財）日本蛇族学術研究所の収蔵標本調査を行い、借用希望標本の選定を行った。

(4) 群馬県立自然史博物館研究報告第 26 号の発行

内容は、論文 20（原著論文 11、資料 8、雑報 1）である。

外部からの投稿は 13 編であった。

(5) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	市民団体・自然保護団体	備考
良好な自然環境を有する地域学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 髙桒祐司 菅原久誠	○	群馬県自然環境調査研究会		
群馬県レッドデータブック改訂調査・植物部門	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境調査研究会		
群馬県レッドデータブック改訂調査・哺乳類部門	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会		
生物多様性モニタリング調査	分担	大森威宏 姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会		
群馬県特定外来生物生息状況調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境課		
群馬県希少野生動植物保護条例に係る特定県内希少動植物種モニタリング調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課		
環境省レッドリスト随時改訂のための調査	県主任調査員	大森威宏	○	日本植物分類学会		
第 4 次尾瀬総合学術調査　調査報告書編集委員会	編集委員	大森威宏	○	第 4 次尾瀬総合学術調査団		
希少植物の生態と保護増殖に関する研究	分担	大森威宏	○	日本植物園協会		
尾瀬における植物分布調査およびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室		

長野県植物誌調査	分担	大森威宏		長野県植物研究会		
群馬県シードバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課		H23～
蝦夷層群産軟骨魚類化石に関する研究	連携	髙桒祐司		三笠市立博物館		
石堂層産軟骨魚類化石に関する研究	連携	髙桒祐司		神流町恐竜センター		
化石爬虫類の頭部内部構造に関する研究	連携	髙桒祐司		東京大学、国立科学博物館		
爬虫類の脊柱に関する研究	連携	髙桒祐司		東京大学、国立科学博物館		
日本産スピノサウルス類化石に関する研究	連携	髙桒祐司		東京都市大学、神流町恐竜センターほか		
中生代ワニ類に関する研究	連携	髙桒祐司 長谷川善和		北海道大学		
茨城県産軟骨魚類化石に関する研究	連携	髙桒祐司		ミュージアムパーク茨城県自然博物館		
杵島層群産軟骨魚類化石に関する研究	連携	髙桒祐司		佐賀県立宇宙科学館		
化学合成生態系における軟体動物の適応に関する研究	連携	髙桒祐司		東京大学総合研究博物館		
カマラサウルスの顎の血管神経管に関する研究	連携	髙桒祐司		福井県立大学、福井県立恐竜博物館		
群馬県特定動物保護管理計画にともなう検体分析事業（ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ）	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、市町村 東京農業大学、（財）自然環境研究センター、京都大学霊長類研究所、総合研究大学院大学、麻布大学		
尾瀬シカ捕獲事業における科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室、群馬県自然環境課野生動物係		
赤城シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係		
神津牧場シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係		
群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	○	
セルロース分解に関する消化管内細菌叢とその制御システムの多様性	共同	姉崎智子	○	琉球大学熱帯生物圏研究センター、京都大学霊長類研究所		
群馬県産ニホンザルの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		京都大学霊長類研究所		
群馬県内におけるニホンジカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		
群馬県内におけるニホンカモシカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		

群馬県におけるツキノワグマの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		東京農業大学、東京農工大学		
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的追跡調査 科学研究費補助金B	分担	姉崎智子	○	東京農工大学、森林総合研究所		
海なし県・群馬からの『山・川・海の循環の海洋教育』のオンライン教材の開発と配信	分担	静野　聡	○	船の科学館ミュージアムサポートプログラム特別プログラム		
企画展「群馬県立自然史博物館第 74 回企画展「極地の海洋環境」開催にむけての調査」	代表	姉崎智子	○	船の科学館ミュージアムサポートプログラム３」		
ニホンジカの農作物採食が繁殖に与える影響	共同	姉崎智子		農研機構・中央農業研究センター		
尾瀬産維管束植物の分布と保全に関する研究	連携	大森威宏		黒沢高秀（福島大学）		
共同利用研究「群馬県空中写真デジタル化・環境解析事業」	連携	姉崎智子		同志社大学		
動物園個体の標本化・収蔵	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園		
みなかみ町西部の変質帯における地質岩石調査及び当該地域のインタープリテーション	連携	菅原久誠		みなかみユネスコエコパーク推進協議会、日本自然保護協会、群馬大学ほか		
高負荷環境汚染問題に対処する持続可能な地域イノベーションの共創におけるインドネシアゴロンタロジオパーク構想に関わるジオパーク学的研究	分担	菅原久誠	○	総合地球環境学研究所		
第４次尾瀬総合学術調査（補間調査）に関わる池塘及び地質調査	連携	菅原久誠		尾瀬保護財団		
多胡石の石材分布調査	連携	菅原久誠		前橋東高等学校科学部		

・外部研究者への調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名(所属)	備考
国内の絶滅のおそれのある植物の分子系統学的研究	大森威宏	矢原徹一（九州大学）・牧　雅之（東北大学）	情報提供・試料提供
ヤナギ科ヤマナラシ属の分子系統学的研究	大森威宏	Zhang Zhongshuai（中国森林科学院）	試料提供
ツツジ科スノキ属の分子系統学的研究	大森威宏	Peter Fritsch（テキサス州立植物園）	試料提供
宮城県におけるヒエスゲの分布	大森威宏	上野雄規（東北植物研究会）	情報提供
群馬県産ヘリコプリオン化石について	髙桒祐司	伊藤　剛（産総研・地質調査総合センター）	情報提供

兜岩層産植物化石について	髙桒祐司	磯田喜義（兜岩層研究会）	情報提供
ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワクマの遺伝的集団構造	姉崎智子	佐々木剛（東京農業大学） 和久大介（東京大学）	試料提供
ツキノワグマの安定同位体分析	姉崎智子	小池伸介（東京農工大学）	試料提供
ツキノワグマの核 DNA 解析	姉崎智子	大西尚樹（森林総合研究所）	試料提供
ツキノワグマの放射性セシウム汚染・筋肉と血液の相関性	姉崎智子	山崎晃司（東京農業大学）	試料提供
ツキノワグマの成長と繁殖パターン	姉崎智子	小池伸介（東京農工大学）	試料提供
群馬県ニホンザル苦味受容体遺伝子解析	姉崎智子	今井啓雄、鈴木南美（京都大学霊長類研究所）	試料提供
群馬県ニホンジカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人（麻布大学）	試料提供
群馬県ニホンカモシカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人（麻布大学）	試料提供
ニホンジカの安定同位体分析	姉崎智子	秦　綾夏（農研機構・中央農業研究センター）	試料提供

(6) 協働的調査研究の状況

①みんなで調べる群馬の自然史の実績

・ツバメ調査

・タンポポ調査

②外部団体との協働実績

哺乳類のカメラトラップ調査	利根沼田自然を愛する会
	桐生自然観察の森
地衣類調査（玉原）	利根沼田自然を愛する会
変形菌調査（玉原）	利根沼田自然を愛する会、日本変形菌研究会
軽井沢町内の絶滅危惧種情報共有	軽井沢サクラソウ会議

(7)　特別研究員

2021 年度の特別研究員 4 名の研究課題

・下総層群から産出する有孔虫化石

・群馬県西毛地域、北毛地域、吾妻地域における蘚苔類・地衣類調査について

・群馬県における鳥類生息調査について

(8) 外部資金（科学研究費助成事業）

木村敏之 (研究代表者)	研究種目名　基盤研究(C)（一般） 研究課題名　自然史系資料の適切な３Ｄデジタル標本化の指針 及び標本データベースの構築 補助事業期間　平成 30 年度～令和 4 年度
姉崎智子 (研究分担者)	研究種目名　基盤研究（Ｂ） 研究課題名　長期データを用いたツキノワグマの繁殖パラメータの算出と それに影響する要因の検討 補助事業期間　2019 年度～2021 年度 研究代表者　小池伸介（東京農工大学）

5 情報システム

（1） 第4次情報システム（現行システム）

自然史博物館情報システムは平成 28 年 10 月 1 日より第４次システムの運用を開始した。従来のシステムの経年による機器更新に加え、一部のサーバをクラウド化するなど、一層の県民サービスの向上，安定性の向上を図った。システム概要は以下の通りである。情報システムは 5 つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

① 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは採集関係、産地関係をはじめとする属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用している。使用ソフトウェアは Musetheque V4（富士通製）である。第四次システムよりデータセンターを利用したクラウド化をすることによりデータの安全性の一層の向上を図っている。また 3D スキャナを導入し、収蔵資料の３次元情報についても蓄積を行う。このほか 3D プリンタ、4K 対応ビデオカメラも導入された。

② 展示情報システム

情報コーナー展示システム、常設展示用展示システム、来館案内システムの３つからなる。収蔵情報・クイズ・ビデオ・図書情報が簡単な操作で見られるように構成されており、館内の情報コーナー及び各展示コーナーの端末で利用できる。情報コーナーでは全てが、一方、各展示コーナーでは該当部分のみを利用できる。収蔵情報は、収蔵品管理システムと連動しており、新たな収蔵品の更新情報を直ちに見ることができる。ビデオ番組は、群馬県内の自然環境および景勝地などを過去に撮影したもの等、合計 200 タイトルを保有している。来館案内は、企画展、イベントの情報を、博物館エントランスに設置したディスプレイで常時配信している。また第四次システムでは風除室での情報配信も新たに開始し、一層の来館者サービスの向上に努めている．また学習室プロジェクタも第 4 次システムにより更新した。

③ 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理するシステムである。収蔵品管理システムと同様に、一元管理された図書情報は、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用しており、展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書を館の内外から検索できる。収蔵システム同様にデータセンターを利用したクラウド化を行うことで、データの安全性の向上を図っている。2018 年 12 月より、図書貸出にあたっては、本システムによる管理一元化を図った。

④ 普及広報システム

インターネット上の HP において、イベント、博物館活用ネットワーク、友の会、ボランティア、収蔵品、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。展示室・イベント情報については動画配信を行っている。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り（デメテール）は、すべて HP からダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問について、それぞれ電子メールでの対応も行っている。なお第 4 次システムでは、より柔軟かつ迅速な情報提供を行うことを目的として CMS を導入

した。

⑤ 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所をコンピュータで調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

（2）第5次情報システム（更新準備）

現行の自然史博物館第 4 次情報システムの経年による機器更新、ソフトウェア更新、その他業務効率の向上や県民サービスの向上を目的とした第５次情報システム更新のための準備を令和元年度から継続して実施した。更新内容及び情報システム最適化について、業務プロセス改革課、文化振興課及び当館の 3 者で協議した。

現行システムには令和 5 年度 10 月に一部サポートが切れるシステムで運用されている。したがって、令和 4 年度にシステム設計・開発、令和 5 年度上期に情報システム構築が行える予定を計画している。

６　出版・広報事業

(1)　出版物

①学術的著作、普及的著作

種類	名　　称	規格	頁数	部数
企画展図録	鳥がトリであるために	A4 版版ｶﾗｰ	60	300
企画展図録	魅惑のスパイス＆ハーブ	A4 版版ｶﾗｰ	60	800
研究報告	研究報告 26 号	A4 版一部ｶﾗｰ	219	550

②広報用印刷物

種類	名　　称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No80	A4 版ｶﾗｰ	4	9,000
	自然史博物館だより「デメテール」No81	A4 版ｶﾗｰ	4	9,000
	自然史博物館だより「デメテール」No82	A4 版ｶﾗｰ	4	9,000
ポスター	開館 25 周年記念　第 64 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		2,700
	特別展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		700
	第 65 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	開館 25 周年記念　第 64 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		45,000
企画展・特別展リーフレット	開館 25 周年記念　第 64 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		110,000
	特別展	A4 版ｶﾗｰ		17,000
	第 65 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		172,000
リーフレット	イベントガイド 2021.10～2022.3	A3 版横観音開き表ｶﾗｰ･裏１色		15,000
	イベントガイド 2022.4～2022.9	A3 版横観音開き表ｶﾗｰ･裏１色		15,000

(2)　出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）
東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

(3)　広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用ＤＶＤの貸出を行った。さらに写真･資料を雑誌･広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

①プロモーション用ＤＶＤの貸出

令和３年度貸出件数　０件

②　活字媒体による情報資料掲載

ア　県広報等からの発信（１２件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
群馬県	ぐんま広報	2021.4.4	企画展「すき間片隅植物図鑑」
群馬県	ぐんま広報	2021.5.2	企画展「すき間片隅植物図鑑」
群馬県	ぐんま広報	2021.6.5	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.7.4	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.8.1	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.9.5	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.10.2	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.11.7	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2021.12.5	企画展「鳥がトリであるために」
群馬県	ぐんま広報	2022.1.1	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
群馬県	ぐんま広報	2022.2.6	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
群馬県	ぐんま広報	2022.3.6	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」

イ　上記以外からの発信（１４１件）

出版社等の名称	掲載誌（紙,web）	発行日（号）	内容
高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2021.4.1	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.4.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.4.5	企画展「すき間片隅植物図鑑」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（コラム欄）	2021.4.5	企画展「すき間片隅植物図鑑」に関わるコラム
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.4.9	企画展「すき間片隅植物図鑑」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.4.10	企画展「すき間片隅植物図鑑」の紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.4.16	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.4.26	ビデオ上映の紹介

日本博物館協会	博物館研究	2021.5.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2021.5.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	週刊風っ子	2021.5.9	企画展「すき間片隅植物図鑑」 企画展観察会「まちなか観察会 in 高崎」
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.5.10	企画展「すき間片隅植物図鑑」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞群馬版	2021.5.11	企画展「すき間片隅植物図鑑」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.6.1	自然史博物館の紹介
K＆Bパブリッシャーズ	るるぶ群馬 草津 伊香保 みなかみ‘２２	2021.6.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.6.9	赤城特別支援学校 オンライン見学会の紹介
昭文社	まっぷる　家族でおでかけ夏休み	2021.6.17	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.7.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2021.7.1	自然史博物館の紹介
山階鳥類研究所	山階鳥研 NEWS 第 296 号	2021.7.1	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
高崎市　教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2021.7.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	デリジェイ８月号	2021.7.2	自然史博物館の紹介
株式会社イープラス	チラシミュージアム	2021.7.11	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.7.15	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2021.7.16	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Gポンは web）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2021.7.16	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Gポンは web）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2021.7.16	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Gポンは web）
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.7.16	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
上毛新聞社	週刊風っ子	2021.7.18	自然史講座「夏のきのこをたくさん見つけてみよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.7.18	企画展「鳥がトリであるために」の紹介

朝日新聞社	群馬マリオン	2021.7.20	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2021.7.23	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2021.7.23	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2021.7.23	企画展「鳥がトリであるために」の紹介（Ｇポン）
日本博物館協会	博物館研究	2021.8.1	自然史博物館の紹介
富岡市観光協会	Stayway media	2021.8.2	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.8.2	ビデオ上映の紹介
認定NPO法人バードリサーチ	バードリサーチwebページ	2021.8.5	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.8.13	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
読売新聞	読売新聞	2021.8.27	企画展「鳥がトリであるために」の紹介
株式会社イープラス	チラシミュージアム	2021.8.29	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.9.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教News	2021.9.1	自然史博物館の紹介
新日本海新聞社	日本海新聞社	2021.9.2	山陰海岸ジオパーク再認定審査に向けた日本ジオパーク委員会（JGC）事前確認（審査員：菅原）
上毛新聞社	週刊風っ子	2021.9.5	身近にいる動物について（姉崎）
日本野鳥の会群馬	日本野鳥の会群馬webページ	2021.9.8	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.9.9	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
文一総合出版社	BIRDER（10月号）	2021.9.16	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.9.11	上野村で発見されたヒグマの化石についてのコメント（高桑）
モテコ出版株式会社	月刊Moteco10月号（群馬中央版）	2021.9.24	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
モテコ出版株式会社	月刊Moteco10月号（両毛版）	2021.9.24	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.9.28	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介

元裕社	ハロートラベル群馬	2020.9.30	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.10.1	自然史博物館の紹介
高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2021.10.1	自然史博物館の紹介
日本教育新聞	日本教育新聞 web 版	2021.10.2	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
誠文堂新光社	子供の科学（11 月号）	2021.10.10	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
株式会社文真堂書店	文真堂書店 web ページ	2021.10.12	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.10.13	分身ロボット「OriHime」来館について
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2021.10.15	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2021.10.15	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2021.10.15	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
日本古生物学会	日本古生物学会 web ページ	2021.10.15	10/15 化石の日関連 サケ属化石展示、自然史講座、サイエンス・サタデー
毎日新聞	毎日新聞夕刊	2021.10.16	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
毎日新聞	毎日新聞朝刊	2021.10.19	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞	上毛新聞	2021.10.19	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.10.22	企画展「鳥がトリであるために」コラム（姉崎）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2021.10.22	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2021.10.22	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2021.10.22	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介（Ｇポン）
上毛新聞	デジタルサイネージ（ショッピングモール）	2021.10.25	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2021.11.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2021.11.1	自然史博物館の紹介
株式会社 J-CAST	Ｊタウンネット	2021.11.05	きのこのキャプションについて

上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2021.11.4	ビデオ上映会の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.11.8	特別展示「日本最古のサケ属化石」について
上毛新聞社	上毛新聞	2021.11.9	オピニオン２１（真鍋特別館長）
上毛新聞社	週間風っ子	2021.11.14	「日本最古のサケ属化石」について
上毛新聞社	上毛新聞（コラム欄）	2021.11.22	「日本最古のサケ属化石」について
上毛新聞社	上毛新聞	2021.11.23	企画展「鳥がトリであるために」来館者６万人セレモニーにｔついて
産経新聞	東京プラス	2021.11.26	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介
上毛新聞社	週刊風っ子	2021.11.28	紅葉のしくみについて
上毛新聞社	上毛新聞（コラム欄）	2021.11.28	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２について
日本博物館協会	博物館研究	2021.12.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.5	ハクチョウの生態についてのコメント（姉崎）
上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.6	上野村教育委員会でのヒグマ化石を含む村内産化石についての情報交換について（髙桒）
上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について
毎日新聞社	毎日新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について
産経新聞社	産経新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について
奈良新聞社	奈良新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について
日本博物館協会	博物館研究	2022.1.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2022.1.1	自然史博物館の紹介
高崎市　教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2022.1.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2022.1.4	オピニオン２１（真鍋特別館長）
朝日新聞社	朝日新聞（夕刊）	2022.1.5	新種のワニ「アンフィコティルス・マイルシ」について

毎日新聞社	毎日新聞	2022.1.12	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」について
上毛新聞社	週刊風っ子	2022.1.15	イチゴについて
ナビタイムジャパン	ナビタイムジャパン	2022.1.15	自然史博物館の紹介
株式会社イープラス	チラシミュージアム	2022.1.18	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
中日新聞社	中日新聞	2022.1.21	新種のマッコウクジラ類について
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2022.1.20	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2022.1.21	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2022.1.21	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2022.1.21	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
株式会社　昭文社	まっぷるマガジン まっぷる群馬 23	2022.1.20	自然史博物館の紹介
読売新聞社	読売新聞	2022.1.23	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
上毛新聞社	上毛新聞	2022.1.23	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
主婦の友社	ベビモ WEB	2022.1.26	自然史博物館の紹介
株式会社 PR TIMES	ＰＲ　ＴＩＭＥＳ	2022.1.26	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」１月３０日オンライン講座について
産経新聞社	産経新聞	2022.1.27	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」について
群馬県	群馬県公式 Twitter	2022.1.27	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」１月３０日オンライン講座について
上毛新聞社	上毛新聞	2022.1.28	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」について
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2022.1.28	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2022.1.28	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介（Ｇポン）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2022.1.28	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介（Ｇポン）

上毛新聞社	上毛新聞	2022.2.1	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
日本博物館協会	博物館研究	2022.2.1	自然史博物館の紹介
朝日新聞社	朝日新聞（群馬版）	2022.2.2	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
朝日新聞社	朝日新聞（茨城版）	2022.2.2	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
朝日新聞社	朝日新聞（栃木版）	2022.2.2	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2022.2.3	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介
富岡市観光協会	富岡市観光協会 YouTube	2022.2.4	自然史博物館の紹介（VR 動画）
毎日新聞社	毎日新聞	2022.2.6	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について
株式会社ＪＴＢパブリッシング	るるぶ情報版『こどもとあそぼ首都圏’23』	2022.2.14	自然史博物館の紹介
富岡市観光協会	富岡市観光協会 YouTube	2022.2.15	自然史博物館の紹介（富岡市 PR 動画）
上毛新聞社	上毛新聞	2022.2.26	オピニオン２１（真鍋特別館長）
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.10	バーチャル恐竜博物館 online について
日本博物館協会	博物館研究	2022.3.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2022.3.1	自然史博物館の紹介
株式会社イープラス	チラシミュージアム	2022.3.3	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5	自然史博物館 25 年 未知への挑戦（上）
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.6	自然史博物館 25 年 未知への挑戦（中）
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.7	自然史博物館 25 年 未知への挑戦（下）
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（西毛版）	2022.3.11	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（中毛版）	2022.3.11	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」の紹介

群馬よみうり新聞社	タウンぐんま（東毛版）	2022.3.11	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞夕刊（群馬マリオン）	2022.3.15	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（ぱれっと）	2022.3.17	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介（チケットペア５組プレゼント）
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2022.3.18	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2022.3.25	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介
群馬県公式LINE	群馬県デジタル窓口	2022.3.25	企画展「魅惑のスパイス&ハーブ」の紹介

③　電波媒体による情報発信

ア　県広報等からの発信（２７件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
石川直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「アロマオイルでルームスプレーをつくろう」	2021.4.1
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.2
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然史博物館の紹介	2021.5.11
橋本真里子	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然史博物館の紹介	2021.5.13
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然史博物館（燻蒸作業）の紹介	2021.6.4
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然史博物館（燻蒸作業）の紹介	2021.6.9
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.7.9
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.8.12
石川直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「鳥がトリであるために」	2021.8.18（収録のみ）
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.9.10
石川直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「鳥がトリであるために」	2021.9.24
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然史博物館（移動博物館）の紹介	2021.10.8

橋本真里子	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然史博物館（移動博物館）の紹介	2021.10.21
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「植物化石をさがしてみよう」	2021.11.19
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	サイエンス・サタデー「植物化石をさがしてみよう」	2021.11.25
石川直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「フローライト（蛍石）をみがいてみよう」	2021.12.2
石川直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	サイエンス・サタデー「フローライト（蛍石）をみがいてみよう」	2021.12.10
アナウンサー読み	群馬テレビ	ジャスト６	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2021.12.30
アナウンサー読み	FMぐんま	ワイグルプレフ	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2021.12.30
橋本真里子	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2022.1.14
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2022.1.20
アナウンサー読み	FMぐんま	ぐんま情報トッピング	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2022.1.26
橋本真里子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	博物館紹介、特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2022.2.1
橋本真里子	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	博物館紹介、特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」	2022.2.10
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」	2022.3.17
月田典寿	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」	2022.3.17
アナウンサー読み	FMぐんま	ぐんま情報トッピング	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」	2022.3.30

イ　上記以外からの発信（２５件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
橋本真里子	FMぐんま	自然と遊ぼう	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.12
大森威宏	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま630	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.12
大森威宏	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま630	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.13
大森威宏	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま630	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.14

大森威宏	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま 630	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.15
大森威宏	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま 630	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.16
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.4.19
橋本真里子	FM ぐんま	自然と遊ぼう	企画展「すき間片隅植物図鑑」	2021.5.3
アナウンサー読み	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま 630	クマの活動が活発化することに関しての注意喚起	2021.6.9
アナウンサー読み	FM ぐんま	ワイグルプレフ	企画展「鳥がトリであるために」	2021.7.21
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6	企画展「鳥がトリであるために」	2021.7.21
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「鳥がトリであるために」	2021.7.23
姉崎智子	ＮＨＫ前橋	群馬のニュース 天気予報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.8.18
姉崎智子	ＮＨＫ前橋	群馬のニュース 天気予報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.8.23
姉崎智子	ＮＨＫ前橋	群馬のニュース 天気予報	企画展「鳥がトリであるために」	2021.8.24
映像	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま 630 子どもナンデモ相談室	企画展「空にいどんだ勇者たち」シノサウロプテリクスの生体復元模型の映像	2021.9.24
髙桒祐司	うえのテレビ	うえのテレビ（上野村営ケーブルテレビ）	上野村教育委員会でのヒグマ化石を含む化石についての情報交換について	2021.9.30
髙桒祐司	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	特別展示「日本最古のサケ属化石」	2021.10.13
髙桒祐司	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について	2021.12.15
髙桒祐司	ラプリーTV	RT Ruptly T.V.(HP,SNS)	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について	2021.12.24
髙桒祐司	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について	2022.1.26
石井年香	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま 630	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について	2022.1.31
アナウンサー読み	FM ぐんま	NEWS	「バーチャル恐竜博物館 online」開設について	2022.2.19

髙桒祐司	ＮＨＫ BS プレミアム	ヒューマニエンス	ディノサウロイドについて	2022.3.17
アナウンサー読み	ＮＨＫラジオ第一	ラジオ深夜便	当館監修絵本「ながいながい骨の旅」朗読	2022.3.29

④　取材対応（６３件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内　　容
ＦＭぐんま	自然と遊ぼう	2021.4.12,19（放送）	企画展「すき間片隅植物図鑑」(4.1)
上毛新聞社	上毛新聞	2021.4.10	企画展「すき間片隅植物図鑑」(4.2)
群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	2021.4.19 （放送）	企画展「すき間片隅植物図鑑」(4.7)
ＮＨＫ前橋	ＮＨＫ前橋	2021.4.12～16（放送）	企画展「すき間片隅植物図鑑」(4.8)
上毛新聞社	週間風っ子	2021.5.9	企画展観察会「まちなか観察会 in 高崎」(4.18)
上毛新聞社	週間風っ子	2021.5.9	企画展「すき間片隅植物図鑑」(4.28)
ＮＨＫ前橋	こどもナンデモ相談室スペシャル		博物館資料の館外貸出の際の梱包作業について(5.28、6.22、6.23)
ＮＨＫ前橋	ＮＨＫ前橋	2021.6.9（放送）	クマが増えている理由について(6.1、6.5)
上毛新聞社	週間風っ子	2021.7.18	自然史講座「夏のきのこをたくさん見つけてみよう」の紹介(7.4)
群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	2021.7.23 （放送）	企画展「鳥がトリであるために」(7.23)
文一総合出版社	BIRDER（10 月号）	2021.9.16（発売）	企画展「鳥がトリであるために」(7.26)
昭島市教育委員会	昭島市教育委員会	2021.8.22（取材動画は市式典にて）	アキシマクジラについて(7.29, 8.12)
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2021.8.13	企画展「鳥がトリであるために」(8.3)
東京新聞	東京新聞 前橋支局	2021.8.14	板倉層産大型サケ属化石について(8.6)
ＮＨＫ前橋	ＮＨＫ前橋	2021.8.18、23、24（放送）	企画展「鳥がトリであるために」(8.7、8.13)
読売新聞	読売新聞	2021.8.27	企画展「鳥がトリであるために」(8.21)
上毛新聞社	週間風っ子	2021.9.5	身近にいる動物について(8.25)

ナビタイムジャパン	ナビタイムジャパン	2022.1.15	自然史博物館の紹介（9.1）
富岡市観光協会	富岡市観光協会 YouTube	2022.2.4	自然史博物館の紹介 VR 撮影（9.2）
上毛新聞社	上毛新聞	2021.9.11	上野村で発見されたヒグマの化石についてのコメント取材（高桑）（9.10）
日本教育新聞	日本教育新聞 web 版	2021.10.2	企画展「鳥がトリであるために」シーズン２の紹介(9.12)
上毛新聞社	上毛新聞	2021.9.28	企画展「鳥がトリであるために」(9.14)
上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.6	上野村教育委員会でのヒグマ化石を含む化石についての情報交換について（9.30）
うえのテレビ	うえのテレビ	2021.9.30（放送）	上野村教育委員会でのヒグマ化石を含む化石についての情報交換について（9.30）
上毛新聞社	上毛新聞	2021.11.8	特別展示「日本最古のサケ属化石」について（10.8）
上毛新聞社	上毛新聞	2021.10.13	分身ロボット「OriHime」来館について(10.12)
群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	2021.10.13（放送）	特別展示「日本最古のサケ属化石」について(10.13)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(10.27) 取材対応：石井年香館長
株式会社 J-CAST	Ｊタウンネット	2021.11.5	きのこのキャプションについて(11.4)
上毛新聞社	上毛新聞（コラム欄）	2021.11.22	特別展示「日本最古のサケ属化石」について(11.10)
上毛新聞社	週間風っ子	2021.11.28	紅葉のしくみについて(11.17)
富岡市観光協会	富岡市観光協会 YouTube	2022.2.15	自然史博物館のインバウンド向け紹介動画の撮影（11.20）
上毛新聞社	上毛新聞（コラム欄）	2021.11.28	企画展「鳥がトリであるために」について(11.24)
上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.5	ハクチョウの生態について(11.30)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(12.3) 取材対応：大森威宏
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(12.3) 取材対応：木村敏之係長
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(12.3) 取材対応：髙桒祐司
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(12.3) 取材対応：菅原久誠
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.5～7	博物館四半世紀の検証連載記事(12.7) 取材対応：姉崎智子

上毛新聞社	上毛新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について(12.8)
毎日新聞社	毎日新聞	2021.12.9	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について(12.8)
共同通信社	共同通信	2022.1.1	来年の干支のトラについて(12.15)
群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	2021.12.15（放送）	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について(12.15)
ラプリーTV	RT Ruptly T.V.(HP,SNS)	2021.12.24（配信）	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」について(12.23)
上毛新聞社	週間風っ子	2022.1.15	紅葉のしくみについて(1.5)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.1.28	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」について(1.7、1.22、1.25)
毎日新聞社	毎日新聞	2022.1.12	足跡化石「エウブロンテス・ノビタイ」について(1.8)
中日新聞社	中日新聞	2022.1.21	新種のマッコウクジラ類について(1.17)
ＮＨＫ BS プレミアム	ヒューマニエンス	2022.3.17	ディノサウロイドについて(1.21)
読売新聞社	読売新聞	2022.1.23	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.22)
朝日新聞社	朝日新聞	2022.2.2	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.22)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.1.23	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.22)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.2.1	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.22)
ＮＨＫ前橋	ＮＨＫ前橋	2022.1.31（放送）	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.25)
群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	2022.1.27（放送）	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(1.26)
毎日新聞社	毎日新聞	2022.2.6	新種のワニ祖先化石「アンフィコティルス・マイルシ」全身骨格展示について(2.2)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.3.11	バーチャル恐竜博物館 online について(2.23)
ＮＨＫ東京アナウンス室	ラジオ深夜便	2022.3.29	当館監修絵本「ながいながい骨の旅」について(2.24)
上毛新聞社	上毛新聞	2022.4.5	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」について(3.20)
読売新聞社	読売新聞	2022.3.25	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」について(3.20)
ＦＭぐんま	自然と遊ぼう	2022.4.4, 4.11 （放送）	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」について(3.25)

上毛新聞社	週刊風っ子	2022.4.10	春の花（タンポポ）について(3.27)
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2022.4.15	企画展「魅惑のスパイス＆ハーブ」について(3.31)

(4) 書籍・雑誌記事の執筆、監修、編集

自然史科学の普及ならびに当館の広報を目的として、「群馬県立自然史博物館」名義で、2021（令和３）年度は以下の書籍・雑誌記事の監修を実施した。

書籍・執筆

・本年度は該当なし。

その他・執筆・編集

・「ＢＩＲＤＥＲ　2022年3月号」への執筆
　文一総合出版
　タイトル：身近な鳥“再”発見！シジュウカラ･メジロ･コゲラの形の秘密
　発行日：2022年3月

書籍・監修

・「機能獲得の進化史」
　著者：土屋健　／　イラスト：藤井康文、かわさきしゅんいち
　みすず書房
　令和３（2021）年8月11日発行

(5) tsulunosから配信した動画（２６件）

公開日	タイトル	動画リンク
2021.7.20	開館２５周年記念「鳥がトリであるために」	https://youtu.be/vVUfJ-T-i00
2021.7.22	３分でわかる群馬県立自然史博物館	https://www.youtube.com/watch?v=oC6_2OsB75w
2021.11.9	「鳥類学者 鳥を語る」森林総合研究所 川上和人	https://youtu.be/Ca5bhbzf8DQ
2021.11.9	企画展「鳥がトリであるために」特別解説 森林総合研究所 川上和人	https://youtu.be/QT7dHamGAtM
2021.11.10	企画展「鳥がトリであるために」鳥トリアートな世界へようこそ　収蔵庫の中をのぞいてみたら･･･	https://youtu.be/0gnW1K_Kg5g
2021.11.10	企画展「鳥がトリであるために シーズン１」屋内バードウォッチングへようこそ	https://youtu.be/Myf4mwO5XpI
2021.11.26	地球をめぐる海鳥	https://youtu.be/2Zdp2ZlzbKU

2021. 11. 26	山・川・海のつながり	https://youtu.be/4Rfh6UceD5Y
2021. 11. 26	海藻の森とその増え方	https://youtu.be/TYPMYP3jZ8M
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 1 イントロダクション	https://youtu.be/UJKwjmL0LVU
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 2 自然史ってな～に？	https://youtu.be/5uWU_hg0cDQ
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 3 フィールドワークの基本　その１	https://youtu.be/sJr9pFk79hU
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 4 フィールドワークの基本　その２	https://youtu.be/PSw1eXPFqBU
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 5 自然史博物館の標本	https://youtu.be/CRv-783rUJc
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 6 生物多様性	https://youtu.be/Vv8oHIOS-bk
2022. 2. 2	高校生学芸員エントリーコース no. 7 山・川・海のつながり	https://youtu.be/yBzF7txu_ec
2022. 2. 3	鳥がトリであるために　Season2	https://youtu.be/0dn1Xyr1qE0
2022. 2. 3	鳥がトリであるために・鳥たちの姿	https://youtu.be/vOF2zdgKDGY
2022. 2. 14	ナスカの地上絵に描かれた鳥とは？群馬県立自然史博物館開館 25 周年記念『鳥と古代人のトリドリばなし』ダイジェスト版／湯けむりフォーラム 2021	https://www.youtube.com/watch?v=dQz4Zwctog4
2022. 2. 17	動物たちを調べる・ライトセンサス調査	https://youtu.be/Uibyb3p0hTo
2022. 2. 17	動物たちを調べる・カメラトラップ調査	https://youtu.be/y8ExVEK9qWg
2022. 2. 17	同じ穴のむじなたち	https://youtu.be/7fJpMY5dI5A
2022. 3. 8	開館 25 周年　特別企画　「長谷川名誉館長と真鍋特別館長による特別対談」（紹介）	https://youtu.be/oWF-T3OMiVs
2022. 3. 8	開館 25 周年　特別企画　「長谷川名誉館長と真鍋特別館長による特別対談」（ダイジェスト版）	https://youtu.be/HIiI89S0JRc
2022. 3. 8	開館 25 周年　特別企画　「長谷川名誉館長と真鍋特別館長による特別対談」（ノーカット版）	https://youtu.be/dRPKhgNjwPs
2022. 3. 25	企画展「鳥がトリであるために」～剥製が収蔵庫に戻るまで～	https://youtu.be/2jDh8Lyu2wQ

（６）ＨＰ及びＳＮＳからの情報発信

①ＨＰ（開設年：1997.6）

・ＨＰアクセス数（Total Visits）：1,165,311 件（令和４年３月 31 日現在）

②フェイスブック（開設年：2015.4）

・いいね！数：1,078（令和４年３月 31 日現在）

③ツイッター（開設年：2020.8）

・フォロワー数：977（令和４年３月 31 日現在）

④インスタグラム（開設年：2021.7）

・フォロワー数 210（令和４年３月 31 日現在）

7　ボランティア等支援活動

(1)　ボランティア活動

① ボランティア登録状況

活動者	休止者	合計	新規登録者	辞退者
90 名	16 名	106 名	6 名	11 名

② ボランティア活動状況　（登録人数は重複あり）

分　　野	登録人数	延活動回数
解　説	15名	0
資料整理	31名	120
発　送	18名	0
サイエンス・サタデー	21名	147
天文・天体	5名	5
合　　計	90名	272

＊サイエンス・サタデーには、高校生ボランティアの活動 76 回を含む。

③ ボランティア基礎学習会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして基礎学習会を行った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
講　話	長谷川善和名誉館長	令和 4 年 3 月 27 日(日)	6

④ 解説ボランティア定例会

解説ボランティア同士の情報交換と解説スキル向上のため、2 ヶ月に 1 度、定例会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。

⑤ 資料整理ボランティア

資料整理ボランティア同士の情報交換と交流を図るために交流会を行う予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

⑥ サタデーボランティア新規メニュー検討会

新規のメニューの説明内容・作成方法等を習得するとともに、改善点を話し合う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

⑦ ボランティア全体会

ボランティア全体会を 1 回実施した。内容は、館職員といっしょに、一年間の活動の反省と課題について意見交換を行う予定であったが、書面開催で実施した。

日　　時	令和 4 年 3 月 6 日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での開催
参加人数	90
場　　所	―

(2) 友の会

① 令和３年度会員数　179 名

〈内 訳〉

個人会員	22 名
家族会員	43 家族
賛助会員	3

② 総会・講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし。

書面での対応を行った。

③ 友の会博物館等視察研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし。

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	富岡製糸場の石を見てまわる会
講　師	菅原久誠（地学研究係）
日　時	令和 3 年 12 月 11 日（土）
参加者	22

⑤ 友の会通信

発行号	第 43 号
発行日	令和 4 年 2 月 1 日（火）
編集委員会	令和 3 年 12 月 11 日（土）
場　所	体験活動終了後、甘楽町連石山駐車場
発行部数	1000 部

(3) 標本レスキュー活動

令和 2 年 7 月豪雨（通称熊本豪雨）により浸水被害を受けた人吉城歴史館所蔵の植物標本資料（前原勘次郎コレクション）138 点の修復作業を令和 2 年度に行った。その後同標本資料は館内に保管していたが、管理者である人吉市教育委員会で受入体制が整ったことから、令和 3 年 11 月 24 日に人吉市教育委員会歴史文化課に返却した。

Ⅲ 資料

１ 職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名　　称	依頼先	自治体等	学会等	博物館等	期　間
名誉館長 長谷川善和	埼玉県立自然の博物館 資料評価委員会委員	埼玉県立自然の博物館			○	
	日本蛇族学術研究所 理事	日本蛇族学術研究所		○		
	長野県飯田市美術博物館 顧問	飯田市			○	
	日本洞窟学研究所 理事	岩手県岩泉町		○		
館長 石井年香	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会	群馬県農政部	○			R2.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討会	群馬県農政部	○			R2.4.1～
	群馬県ニホンザル適正管理検討会	群馬県農政部	○			R2.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会	群馬県環境森林部	○			R2.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会	群馬県環境森林部	○			R2.4.1～
主　　幹 大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	○			H17.4.1～
	みなかみ BR 科学委員会委員	みなかみ町	○			R1.7.2～
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	○			H23.4.1～
	すげの会幹事	すげの会		○		H20.5.7～
	東北植物研究編集委員	東北植物研究会		○		H25.12～
	第 4 次尾瀬総合学術調査報告書編集委員	同学術調査団		○		R2.4～
	国土交通省河川環境アドバイザー	国土交通省高崎河川国道事務所	○			H29.4.1～
	群馬県自然環境行政のあり方検討ワーキンググループ	群馬県自然環境課長	○			R4.3～
主幹（学芸員） 髙桑祐司	群馬県自然環境研究調査会 会員／報告書編集委員	群馬県環境森林部	○			H26.11.8～
	ジオパーク下仁田協議会・委員	下仁田町	○			H22.3.2～
	ジオパーク下仁田協議会・学術部会長	下仁田町	○			H27.4.1～
	自然史学会連合・博物館部会委員	自然史学会連合		○		H22.1.1～
	化石研究会・事務局	化石研究会		○		H24.6.9～
	日本古生物学会・評議員	日本古生物学会		○		R01.6～
	日本地質学会・生涯教育委員会 オブザーバー	日本地質学会		○		R02.7～
	桂石文化振興財団・評議員	桂石文化振興財団			○	R01.12.16～
生物研究係長 （学芸員） 木村敏之	「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」運営委員	国立科学博物館			○	H23.9.10～
	化石研究会・事務局	化石研究会		○		H24.6.9～
	第 13 次鳥獣事業計画検討専門部会	群馬県環境森林部	○			R3.4～
	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～

主幹(学芸員) 姉崎智子	群馬県ニホンザル適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会、専門部会	群馬県環境森林部	○			H25.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会、専門部会	群馬県環境森林部	○			H25.4.1～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネーター	環境省自然環境局	○			H22.6.17～
	日本哺乳類学会 種名・標本委員会委員	日本哺乳類学会		○		H23.11～
	日本哺乳類学会 イノシシ部会委員	日本哺乳類学会		○		H25.9.6～
	文化庁全国カモシカ調査指導委員	文化庁	○			H27.4～
	河川課審議委員会	群馬県河川課	○			H28.4～
	藤岡市文化財審議委員	藤岡市教育委員会	○			H28.4～
	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	○			H26.4～
	全国鳥類繁殖分布調査委員	日本鳥類学会		○		H28.4～
	全国鳥類繁殖分布調査・統計処理委員	日本鳥類学会		○		H28.4～
副主幹 (学芸員) 菅原久誠	群馬県自然環境調査研究会会員	群馬県環境森林部	○			H27.4.1～
	国指定特別天然記念物「浅間山熔岩樹型」検討委員会委員	嬬恋村・長野原町	○			H30.7～
	日本地学教育学会誌「みんなの地学」編集委員会委員	日本地学教育学会		○		R3.4.1～
	森田洋子香りのミュージアム評議員	森田洋子香りのミュージアム			○	R3.4.1～
	日本ジオパーク委員会委員	日本ジオパーク委員会		○		R3.4.1～
	日本地学教育学会常務委員	日本地学教育学会		○		R3.4.1～

２　職員のアウトリーチ等の状況

（１）講師派遣

名　称	主　催　者	期　日	派遣職員
※　谷川岳エコツーリズム インタープリター養成講座	みなかみ町	R3.10.20	大森威宏
※　特別展講演会「絶滅モンスター列伝 ～絶滅動物の進化をたどる～」	宮崎県総合博物館	R3.8.22	髙桒祐司
※　「化石の日」恒例　出版４社共催 古生物で食う！２ ～もっと聞きたい!!　古生物のおしごと～古生物学者、サイエンスライター、イラストレーター（座談会登壇）	(株)イーストプレス、(株)技術評論社、(株)笠倉出版社、(株)ブックマン社	R3.10.16	髙桒祐司
出前なんでも講座 「せきつい動物の進化をさぐる」	高崎経済大学附属高等学校	R3.12.14	髙桒祐司
恐竜講演会「ティラノサウルス ～超肉食恐竜の秘密をさぐる～」	さいたま市 青少年宇宙科学館	R4.1.10	髙桒祐司
※　文化庁『博物館等の国際交流の促進』 シンポジウム 恐竜化石の三次元デジタルデータによる国際交流．事例報告「化石と旅する世界　中国と日本をつなぐ」	バーチャル恐竜博物館	R4.2.19	髙桒祐司

特別展「大地のハンター展」標本撤収指導	国立科学博物館	R3.6.14	髙桒祐司
2021 冬期特別展「パレオ・ハペ展～太古の両生爬虫類たち～」における標本列品指導	丹波竜化石工房	R3.12.9-11	髙桒祐司
2021 冬期特別展「パレオ・ハペ展～太古の両生爬虫類たち～」における標本撤収指導	丹波竜化石工房	R4.3.13-15	髙桒祐司
巡回展「ポケモン化石博物館」 制作・展示協力	国立科学博物館、三笠市立博物館、島根県立三瓶自然館	R3.4.1-R4.3.31	髙桒祐司
令和 3 年度富岡学「富岡に海があった頃」講師	富岡市生涯学習センター富岡学実行委員会	R3.7.7	木村敏之
※　文化庁『博物館等の国際交流の促進』 シンポジウム 恐竜化石の三次元デジタルデータによる国際交流．3 次元デジタルデータを活用した一般向けオンライン講座「3 次元デジタルデータとともに海生哺乳類の進化をたどる」	バーチャル恐竜博物館	R4.2.19	木村敏之
身近な動物たち	東富岡公民館	R3.4.27	姉崎智子
博物館実習	麻布大学	R3.8.26	姉崎智子 高橋克之
※Geotourism Festival & International Conference 2021（ジオツーリズムフェスティバル&国際会議 2021）招待講演「Transdisciplinary research for sustainable eco-tourism and preservation obtained from collaboration with local museum and community of practice（地域の博物館と実践共同体と繋がることで得られる持続可能なエコツーリズム及び保全に関わる学際的研究）	インドネシア Rinjani Lombok UNESCO Global Geopark（リンジャニ・ロンボク・ユネスコ世界ジオパーク）	R3.8.6	菅原久誠
☆谷川岳エコツーリズム インタープリター養成講座「谷川岳周辺のジオ多様性とインタープリテーション」	みなかみユネスコエコパーク推進協議会	R3.10.20	菅原久誠
※ぐんま STEAM 教育推進プロジェクト「デジタルアートでキラメキワールド　～科学とアートの境界領域をさぐる～」（録画内容は参加者に配布及び tsulunos で配信）	群馬県教育委員会	R3.1.30	菅原久誠

※：リモート講義・講演、☆：現地及びリモート配信のハイブリッド式講義・講演

（２）論文査読

名　称	主　催　者	期　日	派遣職員
論文査読：低温科学	北海道大学 低温科学研究所	R3.11, R3.12, R.4.1	大森威宏
論文査読：東北植物研究	東北植物研究	R4.1	大森威宏
論文査読: 化石研究会会誌	化石研究会	R3.8	髙桒祐司
論文査読: Cretaceous Research	Elsevier	R3.9	髙桒祐司
論文査読: Mammal Study	日本哺乳類学会	R3.4	木村敏之

論文査読：Neues Jahrbuch für Geologie und Paläontologie	Schweizerbart Science Publishers	R3.5	木村敏之
論文査読：Cetacean Population Studies	Publication Committee for Cetacean Population Studies	R3.6	木村敏之
論文査読：Historical Biology	Taylor & Francis	R3.8	木村敏之
論文査読：化石研究会会誌	化石研究会	R3.9	木村敏之
論文査読：PeerJ	PeerJ Sciences Publications	R3.10	木村敏之
論文査読：Paleontología Mexicana	Universidad nacional autónoma de México Instituto de geología	R3.11	木村敏之
論文査読：Aquatic Mammals	European Association for Aquatic Mammals	R4.2	木村敏之
論文査読：栃木県立博物館自然系研究紀要	栃木県立博物館	R4.2	木村敏之
論文査読：Diversity	MDPI	R4.3	木村敏之
論文査読：陸水学雑誌	日本陸水学会	R3.9	菅原久誠

（３）その他

名　称	主　催　者	期　日	派遣職員
化石研究会・化石研ニュース No.141、143 編集	化石研究会	R3.4-R4.3	髙桒祐司
特別展「絶滅モンスター展」監修	宮崎県総合博物館	R3.7.10-9.5	髙桒祐司
「良好な自然環境を有する地域学術調査研究報告書」編集	群馬県環境森林部自然環境課	R4.1.22	髙桒祐司
「みんなの地学　第 2 号」編集委員	日本地学教育学会	R3.6（発行日）	菅原久誠
修士論文審査委員	National Taiwan University	R3.10.24	木村敏之
博士学位論文審査委員会　副査	筑波大学	R4.1.28	木村敏之
「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物　2022 年改訂版」植物編（全編）：執筆・編集責任者	群馬県環境森林部自然環境課	R4.3（発行日）	大森威宏
「低温科学 80 号」（高地・寒冷地生態系：尾瀬特集号）編集委員	北海道大学低温科学研究所	R4.3（発行日）	大森威宏
「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物　2022 年改訂版」哺乳類：執筆・編集責任者	群馬県環境森林部自然環境課	R4.3（発行日）	姉崎智子

３　職員の論文発表等

(1)　自然史科学的調査研究論文等

職・氏名	論　　題	発　表　誌	査読	発表年
名誉館長 長谷川善和	"A new goniopholidid from the Upper Jurassic Morrison Formation, USA: novel insight into aquatic adaptation toward modern crocodylians."（Yoshida, J.; Hori, A.; Kobayashi, Y.; Ryan, M.J.; Takakuwa, Y. and Hasegawa, Y.）	The Royal Society Open Science, 8 (12). doi:10.1098/rsos.210320	○	2021
	Annakacygna, a new genus for two remarkable flightless swans (Aves, Anatidae, Cygnini) from the Miocene of Gunma, central Japan: With a note in the birds' food niche shift and specialization of wings for parental care actions. (Matsuoka, H. and Hasegawa, Y.)	Bulletin of the Gunma Museum of Natural History, (26): 1-30.	○	2022
	静岡県産タイリクオオカミは北米タイリクオオカミに類似する（長谷川善和・木村敏之・甲能直樹）	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 31-46	○	2022
地学研究係 主幹（学芸員） 髙桒祐司	"A new goniopholidid from the Upper Jurassic Morrison Formation, USA: novel insight into aquatic adaptation toward modern crocodylians."（Yoshida, J.; Hori, A.; Kobayashi, Y.; Ryan, M.J.; Takakuwa, Y. and Hasegawa, Y.）	The Royal Society Open Science, 8 (12). doi:10.1098/rsos.210320	○	2021
	群馬県神流町の山中層群石堂層（下部白亜系）からアクロドゥス属（軟骨魚綱：ヒュボドゥス類）の初産出（髙桒祐司・田中望羽・上村英雄）	群馬県立自然史博物館研究報告, (26): 55-62.	○	2022
	群馬県下仁田町・碓氷峠南方の中部中新統産貝形虫化石（小沢広和・金子稔・石川博行・野村正弘・髙桒祐司）	群馬県立自然史博物館研究報告, (26): 63-74.	○	2022
	千駄木山周辺（補完調査）（髙桒祐司・金子稔・矢島博・澤口宏・小林二三雄）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (47): 15-27.（群馬県環境森林部自然環境課編）.		2021
副主幹（学芸員） 菅原久誠	根本沢県自然環境保全地域　２　地形・地質（菅原久誠）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (47): 65-71.（群馬県環境森林部自然環境課編）		2021

生物研究係長 （学芸員） 木村敏之	A new physeteroid from the lower Miocene of Japan (Kimura, T. and Hasegawa, Y.)	Paleontological Research 26(1):87-101	○	2022
	下部中新統富草層群より産出したケントリオドン類化石 (木村敏之・関谷友彦)	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 47-54.	○	2022
	静岡県産タイリクオオカミは北米タイリクオオカミに類似する（長谷川善和・木村敏之・甲能直樹）	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 31-46.	○	2022
主幹　大森威宏	1950 ～ 1953 年の尾瀬ヶ原総合学術調査研究以後の尾瀬における植物相研究史（大森威宏・黒沢高秀）	低温科学，80：163-173.	○	2022
	尾瀬産維管束植物相とその再検討（大森威宏，黒沢高秀，志賀隆，薄葉満，根本秀一，吉井広始，海老原淳，田中徳久，天野誠）	低温科学，80：175-197.	○	2022
	尾瀬の維管束植物目録の見直し（大森威宏，黒沢高秀，志賀隆，薄葉満，根本秀一，吉井広始，海老原淳，田中徳久，天野誠）	低温科学，80：199-223.	○	2022
	尾瀬における絶滅危惧植物の研究 　オゼキンポウゲの分布と生態、ミヤマキンポウゲとの識別点について（大森威宏）	尾瀬の自然保護，45：27-34.		2022
	尾瀬ヶ原におけるシカ攪乱地の植生の変化　背中アブリ田代のシカ侵入防止ネットと隣接地域における植生変化－複数年のニホンジカのネット内侵入がもたらしたもの（大森威宏）	尾瀬の自然保護，45：1-5.		2022
	尾瀬沼及び周辺湿原の大型水生植物相（薄葉満，志賀隆，加藤将，黒沢高秀，根本秀一，緑川昭太郎，山ノ内崇志，大森威宏）	低温科学，80：225-235.	○	2022
	尾瀬ヶ原の湿原植生 － 過去 65 年間の植生調査資料に基づく植生類型について－（鈴木伸一，片野光一，吉井広始，大森威宏，下嶋聖）	低温科学，80：237-250.	○	2022

	尾瀬の植生と植物相 26 － 泉水田代・ヨシッ堀田代・東電尾瀬橋西側の湿原－（鈴木伸一，片野光一，吉井広始，大森威宏）	尾瀬の自然保護，45：17−26.		2022
主幹（学芸員） 姉崎智子	Agricultural crop consumption induces precocious maturity in deer by improving physical and reproductive performance. (Hata, A., Nakashita, R., Anezaki, T., Minami, M., Fukue, Y., Higuchi, N., Uno, H., Nakajima, Y., Saeki, M., Kozakai, C., Takada, M.)	ECOSPHERE, 12(4): 1-13.	○	2021
	Phylogeographic history of Japanese macaques. (Ito, T., Hayakawa, T., Suzuki-Hashido, N., Hamada, Y., KUrihara, Y., Hanya, G., Kaneko, A., Natsume, T., Aisu, S., Honda, T., Yachimori, S., Anezaki, T. Omi, T., Hayama, S., Tanaka, M., Wakamori, M., Imai, H., Kawamoto, Y.)	Journal of Biogeography, 48(6): 1420-1431.	○	2021
	Mobility of the forearm skeleton in the Asiatic black (*Ursus thibetanus*), brown (*U. arctos*) and polar (*U. maritimus*) bears. (Amaike, H., Sasaki, M., Tsuzuki, N., Kayano, M., Oishi, M., Yamada, K., Endo, H., Anezaki, T., Matsumoto, N., Nakashita, R., Kuroe, M., Taru, H., Bando, G., Iketani, Y., Nakamura, R., Sato, N., Fukui, D., Kitamura, N.)	Journal of Veterinary Medical Science, 83(8):1284-1489.	○	2021
	群馬県ツキノワグマの年齢的特徴（姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 161-166.	○	2022
	群馬県カモシカ個体群の年齢組成と妊娠率について（姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 165-170.	○	2022
	チュウジシギ *Gallinago megala* の群馬県における確実な記録（清水伸彦、姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告 (26): 171-174.	○	2022
教育普及係 （展示解説員） 佐々木尚子	尾瀬のコウモリ類－2017 年～2019 年の調査結果より－（安井さち子・河合久仁子・佐野舞織・佐藤顕義・勝田節子・佐々木尚子・大沢夕志・大沢啓子・牧　貴大）	低温科学，80：453−464.	○	2022

(2)　博物館学的調査研究論文等

職・氏名	論　　題	発　表　誌	査読	発表年
主幹 （学芸員） 姉崎智子	ぐんまの自然の「いま」を伝える」１３年の歩みの成果と課題（姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告（26）：203-212.	○	2022

(3) 学会等発表

職・氏名	発　表　題　目	学 会 名 等	分野	発表年
主幹 (学芸員) 髙桒 祐司	アキシマクジラと共産したサメ類 （髙桒祐司）	日本古生物学会第171 回例会夜間小集会「西部上総層群のたまりはじめの頃」（於　名古屋大学オンライン開催）	古脊椎動物	2022.2.5
	カマラサウルスの上顎および下顎の血管神経管の解析（平良暁子・河部壮一郎・髙桒祐司・関谷透）	日本古生物学会第171 回例会（於　名古屋大学オンライン開催）ポスター	古脊椎動物	2022.2.5
	福島県いわき市の上部白亜系双葉層群足沢層より産出した軟骨魚類化石群集（渡部世利英・歌川史哲・髙桒祐司・上松佐知子）	日本古生物学会第171 回例会（於　名古屋大学オンライン開催）口頭	古脊椎動物	2022.2.5
	『サメの歯化石のしらべ方』の出版の意義と反省（後藤仁敏・田中猛・金子正彦・鈴木秀史・髙桒祐司・サメの歯化石研究会）	東大大気海洋研共同利用研究集会「板鰓類シンポジウム 2021」	古脊椎動物	2021.12.17
	化学合成細菌宿主貝類における硫黄解毒機能の獲得機構（吉村太郎・佐々木猛智・髙桒祐司）	日本古生物学会2021 年年会（於 岡山理科大学オンライン開催）ポスター	古無脊椎動物	2021.7.3
主幹 鳥羽 隆敏	みなかみ町における陸貝調査	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021（於: 群馬県立自然史博物館）	無脊椎動物（昆虫を除く）	2022.1.22
副主幹 (学芸員) 菅原 久誠	The structure of sustainable eco-tourism with the case study of geodiversity story in the Oze national park, central Japan（尾瀬地域におけるジオ多様性研究をケーススタディとしたサステイナブルなエコツーリズム構造）(Sugawara, H.)	The 4th International Conference of TREPSEA(Transdisciplinary Research on Environmental Problems in Southeast Asia) 2021 Online	サステイナビリティ研究	2021.9.17
	現代美術作品で伝える地質標本の時間と空間の概念　～時間と空間に関する 2,3 の考察～（菅原久誠）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2020（於: 群馬県立自然史博物館）	地質・岩石 現代美術	2022.1.22

生物研究係長 (学芸員) 木村 敏之	西部上総層群産のクジラ類化石相(木村敏之)	日本古生物学会第171回例会夜間小集会「西部上総層群のたまりはじめの頃」(於 名古屋大学オンライン開催)	古脊椎動物	2022.2.4-6
	群馬県みなかみ町における小型哺乳類調査(木村敏之)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会2021(於 群馬県立自然史博物館)	哺乳類	2022.1.22
主幹 大森 威宏	オゼキンポウゲとオゼニガナについて―尾瀬での分布、生態、形態―(大森威宏)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会2021 (群馬県立自然史博物館)	維管束植物	2022.1.22
	尾瀬におけるヒツジグサの遺伝構造(内藤芳香, 加藤 将, 廣田 峻, 黒沢高秀, 大森威宏, 陶山佳久, 薄葉 満, 志賀 隆)	水草研究会 2021年 オンライン総会・研究発表会(ホスト:新潟)	維管束植物	2021. 12.19
	タマツリスゲ類(*Carex filipes* complex)の種と雑種(髙橋晃太郎・織田二郎・布施静香・黒木秀一・大森威宏・矢野興一・Yi-Fei Lu・Jin Xiao-Feng・田村実)	日本植物分類学会第21回神奈川大会(オンライン:ホスト:横須賀)	維管束植物	2022.3.4
主 幹 (学芸員) 姉 崎 智 子	群馬県におけるツキノワグマの繁殖パラメーターの推定の試み(栃木香帆子、深澤圭太、黒江美紗子、姉崎智子、長沼知子、小坂井千夏、稲垣亜希乃、山崎晃司、小池伸介)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021(於群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2022.1.22
	企画展「極地の海洋環境」調査について(2年目)(姉崎智子)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021(於群馬県立自然史博物館)	企画展	2022.1.22
	SAMOVA によるツキノワグマの遺伝的集団構造の解析(第一報)(浅見真穂、和久大介、米澤隆弘、姉崎智子)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021(於群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2022.1.22
	ミトコンドリアDNAの多様性に基づく群馬県のニホンカモシカ個体群の特徴(田中和明、姉崎智子)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021(於群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2022.1.22
	尾瀬ヶ原・玉原高原産の謎の雪氷微生物「キオナスター」の正体は菌類だった(松﨑令、高島勇介、鈴木石根、河地正伸、野崎久義、野原精一、姉崎智子、出川洋介)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021(於群馬県立自然史博物館)	藻類	2022.1.22

	群馬県玉原高原より記録された胞子果性アーバスキュラー菌根菌 *Glomus radiatum*（山本航平、高島勇介、陶山舞、正木照久、姉崎智子、出川洋介）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021（於群馬県立自然史博物館）	菌根菌	2022.1.22
	群馬県におけるツキノワグマの有害駆除と誘引作物と森林の有無の関連性（大江晟太郎、和久大介、姉崎智子）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021（於群馬県立自然史博物館）	陸生哺乳類	2022.1.22
	「ぐんまの自然の『いま』を伝える」：13 年の歩みの成果と課題（姉崎智子）	NORNAC24 （ 於栃木県立博物館、オンライン）	企画展	2.21.11.25-11.26
	ツキノワグマの繁殖パラメータの推定の試み（栃木香帆子、深澤圭太、黒江美紗子、姉崎智子、長沼知子、小坂井千夏、稲垣亜希乃、山﨑晃司、小池伸介）	日本哺乳類学会（オンライン）	陸生哺乳類	2021.8.28-8.31
副主幹 伊藤 智史	みなかみ町における大型菌類の調査	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2021（於:群馬県立自然史博物館）	菌類	2021.1.22

(4) その他（自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など）

職・氏　名	論　　題	発表誌／発行所	発表年	備考
主幹（学芸員） 髙桒祐司	「空よりも遠く、のびやかに」（川端裕人著／小説）執筆協力	集英社文庫	2021.5.20	古生物分野について
	記者発表『恐竜時代の地層からみつかったワニの祖先型化石を新種「アンフィコティルス・マイルシ」と命名～ワニ類における水生適応への進化のはじまりを解明』	福島県立博物館	2021.12.8	標本の来歴等について(共同会見)
	日本古生物学会ポスター賞「カマラサウルスの上顎および下顎の血管神経管の解析」	日本古生物学会第 171 回例会（於　名古屋大学オンライン開催）	2022.2.5	共同発表
主幹　大森威宏	燧ヶ岳・会津駒ヶ岳・帝釈山地の地形と植物に関するコメント	NHK BS プレミアム「グレートトラバース 3」	2021.11	
主幹（学芸員） 姉崎智子	R3 年度ツキノワグマ分析結果	群馬県特定鳥獣適正管理検討委員会・クマ	2021.11	

	R2 年度カモシカ検体分析結果	群馬県特定鳥獣適正管理検討委員会・カモシカ	2021.11	
	R3 年度生物多様性モニタリング調査・哺乳類	群馬県自然環境調査研究会	2022.3	
	鳥獣保護管理員資料	自然環境課	2022.3	
	企画展「鳥がトリであるために」	朝日ぐんま	2021.10	

４　職員の視察・研修会等への参加

氏　　名	事　項	行き先	概　　要	年月日	備考
館長　石井年香 次長　篠原克実 係長　木村敏之	視察	栃木県立博物館	収蔵庫新設までの経緯についての調査及び新収蔵庫に関する展示の視察。	2021.6.25	
主幹（学芸員） 姉崎智子	研修	オンライン	R3 博物館学芸員専門講座（文化庁）	2021 12.2～12.6	
係長　木村敏之	研修	オンライン	講演会「博物館における収蔵庫増設の実際」	2022.3.24	
係長　木村敏之	研修	オンライン	日本博物館協会 公開シンポジウム「これからの博物館防災を考える」	2022.3.30	

５　職員研修

館職員を対象に次の日程・内容で実施した。

① 令和３年 12 月 14 日（火）

10:00～11:00　講話　「群馬県立自然史博物館で働くみなさんへ」

場所：群馬県立自然史博物館学習室（オンラインと併用）

講師：真鍋特別館長

11:00～12:00　講義　「博物館をめぐる最新状況」

講師：姉崎主幹、菅原副主幹

13:30～15:00　救命入門コース　場所：富岡市立体育館アリーナ

講師：富岡消防署救急隊

６　視察受入

受 入 日	団　　体　　名	人　数
4 月 19 日	板橋区教育委員会（特別支援）	15
4 月 19 日	板橋区教育委員会	43
4 月 23 日	中野区教育委員会	33
4 月 25 日	東久留米市教育委員会	17
4 月 25 日	練馬区教育委員会瑞穂町教育委員会	20
4 月 27 日	練馬区教育委員会	40
5 月　8　日	西東京市教育委員会	26
5 月 10 日	清瀬市教育委員会	13
5 月 17 日	文京区教育委員会	22
6 月 25 日	大田区教育委員会	13
7 月 26 日	板橋区教育委員会	30
8 月 21 日	千代田区教育委員会	10
合　　計　　人　　数		282

7　教育普及事業利用者数実績一覧

事　業　名	項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
企画展記念講演・関連行事等	開催回数(回)	2	0	0	3	1	1	0	3	0	0	0	1	11
	参加者数(人)	28	0	0	39	0	20	0	67	0	0	0	12	166
ファミリー自然観察会	開催回数(回)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	参加者数(人)	0	0	15	13	0	0	0	0	0	0	0	15	43
天体観望会	開催回数(回)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3
	参加者数(人)	0	0	0	0	10	0	0	14	0	12	0	0	36
自然史講座	開催回数(回)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	29	0	0	38	0	0	0	0	0	67
移動博物館	開催回数(回)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	45	0	0	0	336	0	0	0	381
ミュージアムスクール	開催回数(回)	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	5
	参加者数(人)	6	0	5	6	0	0	4	5	0	0	0	0	26
サイエンス・サタデー	開催回数(回)	4	1	1	5	0	0	4	4	2	2	0	0	23
	参加者数(人)	137	51	49	205	0	0	134	165	135	114	0	0	990
館内授業	開催回数(回)	0	0	2	2	0	1	20	16	1	1	0	0	43
	参加者数(人)	0	0	39	121	0	55	485	431	20	20	0	0	1171
定時解説	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
随時解説	開催回数(回)	168	164	58	339	245	139	391	350	131	119	99	242	2445
	参加者数(人)	350	372	134	919	537	265	995	771	251	234	193	585	5606
紙芝居	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポット解説	開催回数(回)	0	0	2	1	0	2	42	34	3	0	0	5	89
	参加者数(人)	0	0	56	67	0	43	1239	882	273	0	0	182	2742
博物館探検隊	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ上映会	開催回数(回)	24	6	4	22	6	0	15	10	8	10	0	2	107
	参加者数(人)	326	152	74	374	107	0	224	496	42	145	0	48	1988
ミュージアムナイトツアー	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バックヤードツアー	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校生学芸員	開催回数(回)	1	6	2	4	6	2	2	0	4	7	0	0	34
	参加者数(人)	1	16	2	4	6	2	2	0	4	7	0	0	44
出前授業	開催回数(回)	0	0	1	2	0	1	2	6	4	0	2	0	18
	参加者数(人)	0	0	80	10	0	28	75	84	103	0	15	0	395
教職員実技研修会	開催回数(回)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	48
職場体験学習	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
博物館の日	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大人の自然史倶楽部	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
ホリデー・サイエンス	開催回数(回)	2	5	0	7	2	0	9	4	0	3	0	0	32
	参加者数(人)	22	75	0	111	79	0	321	153	0	106	0	0	867
その他	開催回数(回)	1	12	6	31	0	1	2	2	2	1	0	1	59
	参加者数(人)	30	996	284	2742	0	7	52	53	145	220	0	14	4543
		203	194	78	420	262	147	489	436	156	144	101	252	2,882
		900	1662	738	4688	784	420	3569	3145	1309	858	208	856	19,137

８　来館者アンケート集計結果

実施日：9/25　10/3, 10, 16　11/23　12/5
回答数：　150 名

住　所		
県　内		56%
県　外	埼玉県	44%
	東京都	
	神奈川県	
	長野県	
	栃木県	
	千葉県	
	その他	
不明		0%

年齢	
10代未満	20%
10代	11%
20代	8%
30代	33%
40代	19%
50代	3%
60代以上	6%
不明	0%

どんな目的で	
常設展	64%
企画展	12%
悪天候	1%
何となく	13%
その他	9%
不明	0%

博物館について

何で知ったか			
新聞記事	1%	インターネット	44%
新聞広告	1%	ポスター・チラシ	5%
テレビ	1%	口コミ	8%
ラジオ	0%	特になし	12%
観光情報誌	5%	その他（不明含む）	23%

来館数	
初めて	39%
2～4回	33%
5回以上	27%
不明	1%

当館の展示		館の施設		職員の対応	
よい	93%	よい	93%	よい	95%
ややよい	6%	ややよい	7%	ややよい	5%
ややよくない	1%	ややよくない	0%	ややよくない	0%
よくない	0%	よくない	0%	よくない	0%

９　来館者学校アンケート集計結果　　＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

アンケート提出校数　～　　校

学校の所在
県内
県外
・東京
・埼玉
・長野
・その他

来館した学年		
小１	中１	特別支援
小２	中２	不明
小３	中３	小？
小４	高１	中？
小５	高２	高？
小６	高３	

見学時間
1時間未満
1時間～1時間30分未満
1時間30分～2時間未満
2時間～2時間30分未満
2時間30分～3時間未満
3時間～3時間30分未満
3時間30分～
不明

学校としての来館数
初めて
来館したことがある
不明
「初めて来館」した人の情報源
前の学校で来館
ほかの先生から聞いた
個人的に来館
ホームページ
旅行会社から聞いた
当館のチラシ
その他

来館の観点
展示の内容（学習効果等）
コースの設定（学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）
その他

来館の観点	
他にも目的場所がある	当館のみである
「他にも目的場所がある」学校の目的場所	

今後の当館利用希望	
あり	なし

令和3年度集計

年　月	開館	観覧者数	有料観覧者数											無料観覧者数											
	日数	観覧者計	有料計	個人計	一　般	大・高	小　中		団体計	一　般	大・高	小　中		無料計	個人計	幼　児	小　中	65歳	身障者	その他	招待券	団体計	学　校	社会教育	特別券
H8年度	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384		4,809	3,692	760	357		48,439	39,841		3,932	11,864	1,232	22,813		8,598	6,478	2,120	0
H9年度	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150		11,700	6,449	2,200	3,051		86,119	59,045		4,316	14,454	4,092	36,183		27,074	22,806	4,268	1,170
H10年度	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704		11,543	4,872	2,112	4,559		77,993	55,216		3,380	12,856	3,445	35,535		22,777	20,533	2,244	0
H11年度	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993		11,024	3,459	3,001	4,564		73,501	54,248		3,209	11,391	2,737	36,911		19,253	18,059	1,194	0
H12年度	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426		友の会	4,982	2,862	2,120			104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041	26,428	25,831	597	1,497
H13年度	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501		一般	高大	5,297	3,389	1,908		102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346		329
H14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632		171	0	5,255	3,209	2,046		103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	25,435		196
H15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493		219	0	5,495	4,428	1,067		110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723		279
H16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468		201	0	5,579	4,333	1,246		102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994		287
H17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630		165	0	4,976	3,589	1,387		96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860		171
H18年度計	293	166,629	62,612	56,048	54,364	1,531		153	0	6,564	4,852	1,712		103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293		174
H19年度計	292	161,626	60,907	54,693	52,893	1,630		170	0	6,214	5,561	653		100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691		129
H20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610		212	5	4,887	4,572	315		93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872		117
H21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295		297	2	4,434	3,413	1,021		99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912		122
H22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043		320	2	5,878	4,685	1,193		91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306		148
H23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483		275	3	7,451	6,183	1,268		108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818		163
H24年度計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059		431	1	6,251	4,676	1,575		107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495		205
H25年度計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632		307	4	4,652	3,148	1,504		100,873	74,294	28,497	28,571		2,419	11,074	3,733	26,579	26,579		155
H26年度計	289	167,549	66,363	61,604	58,271	2,921		405	7	4,759	3,033	1,726		101,027	73,742	28,006	27,286		2,730	10,591	5,129	27,285	27,285		159
H27年度計	290	188,680	77,413	71,165	67,290	3,428		434	13	6,248	4,537	1,711		111,060	81,219	33,343	28,636		3,387	11,226	4,627	29,841	29,841		207
H28年度計	289	212,022	89,279	84,464	80,378	3,539		546	1	4,815	3,285	1,530		122,471	96,308	39,895	35,050		3,684	12,826	4,853	26,163	26,163		272
H29年度計	287	209,136	89,520	83,465	79,674	3,359		429	3	6,053	4,323	1,730		122,351	94,087	38,297	32,874		3,729	12,124	4,070	28,264	28,264		258
H30年度計	290	220,039	96,347	91,228	87,028	3,711		488	1	5,119	3,989	1,130		123,360	98,639	41,899	33,508		3,921	14,721	4,590	24,721	24,721		332
R1年度計	263	204,653	88,925	82,455	78,889	3,051		514	1	6,470	4,914	1,556		115,415	91,098	37,470	32,365		3,561	13,878	3,825	24,317	24,317		313
R2年度計	234	84,794	40,346	39,375	37,660	1,621		94	0	971	909	62		44,359	35,757	19,982	10,925		914	3,269	667	8,602	8,602		89
R3年4月	26	9,366	4,748	4,563	4,394	167		2	0	185	175	10		4,603	4,396	2,278	1,453		137	275	253	207	207		15
5月	13	6,673	3,659	3,280	3,143	137		0	0	379	209	170		3,001	2,987	1,394	1,147		71	124	251	14	14		13
6月	7	3,173	1,382	1,308	1,255	51		2	0	74	74	0		1,788	1,183	654	326		26	171	6	605	605		3
7月	27	14,650	6,983	6,963	6,736	212		15	0	20	20	0		7,633	6,477	3,293	2,291		170	603	120	1,156	1,156		34
8月	31	17,624	9,320	9,266	8,763	489		14	0	54	28	26		8,279	8,279	3,700	3,625		253	403	298	0	0		25
9月	26	8,870	4,845	4,826	4,454	348		24	0	19	19	0		3,994	3,758	2,041	1,313		107	152	145	236	236		31
10月	27	19,869	5,644	5,582	5,395	176		11	0	62	62	0		14,194	7,092	2,879	1,720		153	2,175	165	7,102	7,102		31
11月	25	17,255	6,022	5,989	5,780	196		13	0	33	33	0		11,210	5,804	3,000	1,779		138	689	198	5,406	5,406		23
12月	11	5,371	1,926	1,885	1,820	54		11	0	41	7	34		3,435	1,822	887	553		55	204	123	1,613	1,613		10
R4年1月	21	8,629	4,609	4,598	4,379	203		16	0	11	11	0		3,994	3,866	2,009	1,438		169	224	26	128	128		26
2月	20	6,915	3,703	3,697	3,483	189		25	0	6	6	0		3,187	3,025	1,851	902		85	177	10	162	162		25
3月	27	10,906	5,538	5,518	5,086	398		34	0	20	20	0		5,347	5,244	2,641	2,006		154	278	165	103	103		21
R3年度計	261	129,301	58,379	57,475	54,688	2,620		167	0	904	664	240		70,665	53,933	26,627	18,553		1,518	5,475	1,760	16,732	16,732		257
合計	7,353	4,340,811	1,813,525	1,661,193	1,514,178	58,743		5,998	43	152,330	######	36,773		2,523,251	1,881,872	633,804	645,310		60,533	390,410	82,409	641,379	630,956		7,029

移動博物館観覧者数	（人）		（人）		（人）		（人）		（人）
10年度	979	15年度	3,868	20年度	1,362	25年度	6,390	30年度	3,420
11年度	1,556	16年度	2,421	21年度	2,793	26年度	2,171	R1年度	9,999
12年度	1,646	17年度	3,416	22年度	2,979	27年度	777	R2年度	0
13年度	1,719	18年度	2,585	23年度	6,121	28年度	2,609	R3年度	336
14年度	3,240	19年度	1,959	24年度	2,004	29年度	4,224	累計	68,574

観覧者数一覧(4月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
4/1	木	327	157	151	142	9	0	0	6	6	0	170	170	84	80	4	2	0	0	0	0	0
2	金	393	167	160	152	8	0	0	7	7	0	226	226	73	128	5	11	9	0	0	0	0
3	土	763	406	381	368	13	0	0	25	25	0	357	357	181	145	10	9	12	0	0	0	0
4	日	940	485	469	453	16	0	0	16	15	1	453	453	237	173	9	8	26	0	0	2	2
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	355	155	150	135	15	0	0	5	4	1	200	200	52	97	24	18	9	0	0	0	0
7	水	150	85	83	75	8	0	0	2	2	0	65	65	32	19	1	10	3	0	0	0	0
8	木	60	35	33	32	1	0	0	2	2	0	25	25	17	2	1	4	1	0	0	0	0
9	金	61	34	34	31	3	0	0	0	0	0	26	26	19	1	1	5	0	0	0	1	1
10	土	545	296	294	290	4	0	0	2	2	0	245	245	138	74	6	9	18	0	0	4	4
11	日	778	407	398	390	8	0	0	9	7	2	371	371	211	125	8	12	15	0	0	0	0
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	59	41	40	40	0	0	0	1	1	0	17	17	8	1	2	3	3	0	0	1	1
14	水	51	32	32	31	1	0	0	0	0	0	19	19	13	0	2	2	2	0	0	0	0
15	木	52	35	30	30	0	0	0	5	5	0	17	17	11	0	2	1	3	0	0	0	0
16	金	49	14	13	11	2	0	0	1	1	0	34	34	26	1	0	5	2	0	0	1	1
17	土	928	503	475	456	19	0	0	28	25	3	422	422	233	144	10	20	15	0	0	3	3
18	日	870	462	449	440	9	0	0	13	13	0	408	408	257	98	9	10	34	0	0	0	0
19	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	火	92	38	36	33	3	0	0	2	2	0	54	54	13	2	2	35	2	0	0	0	0
21	水	71	32	30	30	0	0	0	2	2	0	39	9	6	0	0	2	1	30	30	0	0
22	木	75	33	28	28	0	0	0	5	5	0	42	42	8	1	4	17	12	0	0	0	0
23	金	85	32	29	29	0	0	0	3	3	0	53	53	35	3	3	6	6	0	0	0	0
24	土	503	260	251	243	8	0	0	9	7	2	242	242	119	89	4	8	22	0	0	1	1
25	日	627	319	310	299	10	1	0	9	8	1	307	307	171	92	14	11	19	0	0	1	1
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	火	124	32	23	22	1	0	0	9	9	0	92	92	37	3	4	42	6	0	0	0	0
28	水	261	50	45	40	5	0	0	5	5	0	211	34	13	4	1	10	6	177	177	0	0
祝29	木	988	519	512	495	16	1	0	7	7	0	468	468	252	171	9	13	23	0	0	1	1
30	金	159	119	107	99	8	0	0	12	12	0	40	40	32	0	2	2	4	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9,366	4,748	4,563	4,394	167	2	0	185	175	10	4,603	4,396	2,278	1,453	137	275	253	207	207	15	15

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	17	2,424	1,091	1,024	960	64	0	0	67	66	1	1,330	1,123	479	342	58	175	69	207	207	3	3
土日祝	9	6,942	3,657	3,539	3,434	103	2	0	118	109	9	3,273	3,273	1,799	1,111	79	100	184	0	0	12	12
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	9,366	4,748	4,563	4,394	167	2	0	185	175	10	4,603	4,396	2,278	1,453	137	275	253	207	207	15	15
年間TOTAL(令和3年度)																						
平 日	17	2,424	1,091	1,024	960	64	0	0	67	66	1	1,330	1,123	479	342	58	175	69	207	207	3	3
土日祝	9	6,942	3,657	3,539	3,434	103	2	0	118	109	9	3,273	3,273	1,799	1,111	79	100	184	0	0	12	12
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	9,366	4,748	4,563	4,394	167	2	0	185	175	10	4,603	4,396	2,278	1,453	137	275	253	207	207	15	15

開館以来の累計(開館日数 7118日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	4,220,877	1,759,894	1,608,281					151,611			2,457,189	1,832,335						624,854		6,787	
平 均	593	247	226					21			345	257						88			

観覧者数一覧(5月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
5/1	土	831	434	399	388	11	0	0	35	35	0	395	395	196	149	11	13	26	0	0	2	2
2	日	938	513	478	457	21	0	0	35	33	2	425	425	227	158	10	10	20	0	0	0	0
祝3	月	1,036	576	532	512	20	0	0	44	40	4	460	460	217	193	15	16	19	0	0	0	0
祝4	火	907	514	493	464	29	0	0	21	21	0	392	392	205	136	9	9	33	0	0	1	1
祝5	水	935	506	483	466	17	0	0	23	22	1	427	427	228	166	3	5	25	0	0	2	2
6	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	金	107	66	65	63	2	0	0	1	1	0	41	41	28	2	3	4	4	0	0	0	0
8	土	368	222	218	210	8	0	0	4	4	0	146	146	82	42	5	6	11	0	0	0	0
9	日	401	229	218	209	9	0	0	11	11	0	170	170	87	52	6	4	21	0	0	2	2
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	93	59	47	46	1	0	0	12	11	1	34	20	7	0	0	4	9	14	14	0	0
12	水	46	36	33	31	2	0	0	3	3	0	10	10	2	0	1	2	5	0	0	0	0
13	木	88	59	54	53	1	0	0	5	5	0	27	27	13	2	2	3	7	0	0	2	2
14	金	71	45	37	31	6	0	0	8	8	0	26	26	5	6	1	3	11	0	0	0	0
15	土	463	236	221	211	10	0	0	15	15	0	223	223	90	63	5	5	60	0	0	4	4
16	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	58	1	1	1	0	0	0	0	0	0	57	57	0	52	0	5	0	0	0	0	0
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	木	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	0	45	0	4	0	0	0	0	0
21	金	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	0	15	0	9	0	0	0	0	0
22	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	84	1	1	1	0	0	0	0	0	0	83	83	7	66	0	10	0	0	0	0	0
26	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	金	174	162	0	0	0	0	0	162	0	162	12	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0
29	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		6,673	3,659	3,280	3,143	137	0	0	379	209	170	3,001	2,987	1,394	1,147	71	124	251	14	14	13	13

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平 日	5	794	429	238	226	12	0	0	191	28	163	363	349	62	188	7	56	36	14	14	2	2
土日祝	8	5,879	3,230	3,042	2,917	125	0	0	188	181	7	2,638	2,638	1,332	959	64	68	215	0	0	11	11
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	6,673	3,659	3,280	3,143	137	0	0	379	209	170	3,001	2,987	1,394	1,147	71	124	251	14	14	13	13
年間TOTAL(令和3年度)																						
平 日	22	3,218	1,520	1,262	1,186	76	0	0	258	94	164	1,693	1,472	541	530	65	231	105	221	221	5	5
土日祝	17	12,821	6,887	6,581	6,351	228	2	0	306	290	16	5,911	5,911	3,131	2,070	143	168	399	0	0	23	23
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	39	16,039	8,407	7,843	7,537	304	2	0	564	384	180	7,604	7,383	3,672	2,600	208	399	504	221	221	28	28

開館以来の累計(開館日数 7131日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	4,227,550	1,763,553	1,611,561					151,990			2,460,190	1,835,322						624,868		6,800	
平 均	593	247	226					21			345	257						88			

観覧者数一覧(6月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
6/1	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	金	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	57	0	50	0	7	0	0	0	0	0
5	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	木	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	45	0	0	0	45	0	0	0	0	0
11	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	水	305	80	77	70	7	0	0	3	3	0	225	74	46	0	2	24	2	151	151	0	0
24	木	255	67	59	57	2	0	0	8	8	0	188	50	20	0	2	28	0	138	138	0	0
25	金	85	53	50	48	2	0	0	3	3	0	32	32	18	5	1	6	2	0	0	0	0
26	土	870	488	464	455	7	2	0	24	24	0	381	381	239	115	13	12	2	0	0	1	1
27	日	1,026	595	564	540	24	0	0	31	31	0	429	429	258	155	8	8	0	0	0	2	2
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	194	68	63	55	8	0	0	5	5	0	126	75	64	0	0	11	0	51	51	0	0
30	水	336	31	31	30	1	0	0	0	0	0	305	40	9	1	0	30	0	265	265	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3,173	1,382	1,308	1,255	51	2	0	74	74	0	1,788	1,183	654	326	26	171	6	605	605	3	3

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	5	1,277	299	280	260	20	0	0	19	19	0	978	373	157	56	5	151	4	605	605	0	0
土日祝	2	1,896	1,083	1,028	995	31	2	0	55	55	0	810	810	497	270	21	20	2	0	0	3	3
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	3,173	1,382	1,308	1,255	51	2	0	74	74	0	1,788	1,183	654	326	26	171	6	605	605	3	3
年間TOTAL(令和3年度)																						
平 日	27	4,495	1,819	1,542	1,446	96	0	0	277	113	164	2,671	1,845	698	586	70	382	109	826	826	5	5
土日祝	19	14,717	7,970	7,609	7,346	259	4	0	361	345	16	6,721	6,721	3,628	2,340	164	188	401	0	0	26	26
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	46	19,212	9,789	9,151	8,792	355	4	0	638	458	180	9,392	8,566	4,326	2,926	234	570	510	826	826	31	31

開館以来の累計(開館日数 7138日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	4,230,723	1,764,935	1,612,869					152,064			2,461,978	1,836,505						625,473		6,803	
平 均	593	247	226					21			345	257						88			

観覧者数一覧（7月）

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
7/1	木	349	50	48	46	2	0	0	2	2	0	299	59	37	6	0	16	0	240	240	0	0
2	金	269	93	93	89	4	0	0	0	0	0	174	113	69	7	3	34	0	61	61	2	2
3	土	896	470	470	455	13	2	0	0	0	0	426	426	248	164	6	7	1	0	0	0	0
4	日	1,052	576	576	571	5	0	0	0	0	0	473	473	286	174	4	5	4	0	0	3	3
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	350	56	56	56	0	0	0	0	0	0	294	47	20	4	1	22	0	247	247	0	0
7	水	288	47	46	40	6	0	0	1	1	0	241	40	10	1	0	29	0	201	201	0	0
8	木	138	74	74	70	4	0	0	0	0	0	64	64	51	4	3	6	0	0	0	0	0
9	金	515	65	64	63	1	0	0	1	1	0	450	162	57	9	0	96	0	288	288	0	0
10	土	778	413	413	400	13	0	0	0	0	0	362	362	218	109	17	18	0	0	0	3	3
11	日	947	519	519	499	18	2	0	0	0	0	427	427	258	156	6	7	0	0	0	1	1
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	237	84	83	81	2	0	0	1	1	0	153	54	40	6	1	7	0	99	99	0	0
14	水	82	60	58	56	2	0	0	2	2	0	22	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0
15	木	114	61	61	54	7	0	0	0	0	0	53	42	27	2	3	10	0	11	11	0	0
16	金	123	38	38	35	3	0	0	0	0	0	85	76	57	3	0	16	0	9	9	0	0
17	土	641	342	342	325	15	2	0	0	0	0	296	296	158	113	5	10	10	0	0	3	3
18	日	869	489	489	465	21	3	0	0	0	0	379	379	211	140	10	9	9	0	0	1	1
19	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	火	114	69	69	67	2	0	0	0	0	0	43	43	27	7	1	3	5	0	0	2	2
21	水	210	91	84	82	1	1	0	7	7	0	119	119	30	45	28	15	1	0	0	0	0
22	木	995	537	537	510	25	2	0	0	0	0	453	453	253	170	12	10	8	0	0	5	5
23	金	1,013	552	552	546	6	0	0	0	0	0	461	461	252	167	11	7	24	0	0	0	0
24	土	955	527	527	524	3	0	0	0	0	0	426	426	233	160	13	11	9	0	0	2	2
25	日	1,029	536	536	525	11	0	0	0	0	0	488	488	231	215	14	16	12	0	0	5	5
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	火	546	243	241	231	10	0	0	2	2	0	303	303	104	106	4	79	10	0	0	0	0
28	水	323	153	151	143	8	0	0	2	2	0	169	169	63	74	3	25	4	0	0	1	1
29	木	426	190	190	185	4	1	0	0	0	0	234	234	72	115	6	40	1	0	0	2	2
30	金	529	173	171	165	6	0	0	2	2	0	356	356	65	183	9	96	3	0	0	0	0
31	土	862	475	475	453	20	2	0	0	0	0	383	383	194	151	10	9	19	0	0	4	4
計		14,650	6,983	6,963	6,736	212	15	0	20	20	0	7,633	6,477	3,293	2,291	170	603	120	1,156	1,156	34	34

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	16	4,613	1,547	1,527	1,463	62	2	0	20	20	0	3,059	1,903	751	572	62	494	24	1,156	1,156	7	7
土日祝	11	10,037	5,436	5,436	5,273	150	13	0	0	0	0	4,574	4,574	2,542	1,719	108	109	96	0	0	27	27
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	27	14,650	6,983	6,963	6,736	212	15	0	20	20	0	7,633	6,477	3,293	2,291	170	603	120	1,156	1,156	34	34
年間TOTAL（令和3年度）																						
平　日	43	9,108	3,366	3,069	2,909	158	2	0	297	133	164	5,730	3,748	1,449	1,158	132	876	133	1,982	1,982	12	12
土日祝	30	24,754	13,406	13,045	12,619	409	17	0	361	345	16	11,295	11,295	6,170	4,059	272	297	497	0	0	53	53
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	73	33,862	16,772	16,114	15,528	567	19	0	658	478	180	17,025	15,043	7,619	5,217	404	1,173	630	1,982	1,982	65	65

開館以来の累計（開館日数　7165日）

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,245,373	1,771,918	1,619,832					152,084			2,469,611	1,842,982						626,629		6,837	
平　均	593	247	226					21			345	257						87			

観覧者数一覧(8月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
8/1	日	969	521	521	497	23	1	0	0	0	0	448	448	209	194	14	10	21	0	0	0	0
2	月	320	140	139	137	2	0	0	1	1	0	180	180	49	87	4	33	7	0	0	0	0
3	火	339	161	161	150	10	1	0	0	0	0	177	177	61	70	13	28	5	0	0	1	1
4	水	308	145	145	138	7	0	0	0	0	0	162	162	48	65	8	35	6	0	0	1	1
5	木	359	164	164	152	12	0	0	0	0	0	195	195	55	89	6	36	9	0	0	0	0
6	金	377	172	172	163	9	0	0	0	0	0	204	204	69	107	6	18	4	0	0	1	1
7	土	775	426	426	409	16	1	0	0	0	0	348	348	191	134	8	9	6	0	0	1	1
祝8	日	983	531	531	512	19	0	0	0	0	0	451	451	237	188	10	11	5	0	0	1	1
振9	月	954	504	504	490	14	0	0	0	0	0	449	449	229	187	11	11	11	0	0	1	1
10	火	774	422	422	401	21	0	0	0	0	0	352	352	171	160	3	5	13	0	0	0	0
11	水	817	424	423	405	18	0	0	1	1	0	392	392	174	184	8	11	15	0	0	1	1
12	木	962	506	506	488	18	0	0	0	0	0	454	454	190	220	12	14	18	0	0	2	2
13	金	963	513	511	485	26	0	0	2	2	0	447	447	212	191	13	13	18	0	0	3	3
14	土	993	554	554	538	16	0	0	0	0	0	438	438	229	192	7	7	3	0	0	1	1
15	日	974	538	538	527	10	1	0	0	0	0	432	432	207	193	6	7	19	0	0	4	4
16	月	950	485	485	465	20	0	0	0	0	0	465	465	225	189	12	13	26	0	0	0	0
17	火	807	422	422	377	44	1	0	0	0	0	385	385	173	175	14	16	7	0	0	0	0
18	水	613	303	302	272	30	0	0	1	1	0	309	309	106	162	15	21	5	0	0	1	1
19	木	352	188	185	168	15	2	0	3	3	0	164	164	70	80	3	4	7	0	0	0	0
20	金	248	136	135	106	29	0	0	1	1	0	112	112	46	47	3	14	2	0	0	0	0
21	土	519	299	299	283	12	4	0	0	0	0	220	220	117	83	2	2	16	0	0	0	0
22	日	713	386	386	364	22	0	0	0	0	0	325	325	142	161	8	6	8	0	0	2	2
23	月	273	137	137	125	12	0	0	0	0	0	136	136	45	30	29	28	4	0	0	0	0
24	火	283	145	143	124	18	1	0	2	2	0	138	138	48	63	7	9	11	0	0	0	0
25	水	276	124	121	116	5	0	0	3	3	0	152	152	41	70	14	19	8	0	0	0	0
26	木	230	135	101	93	8	0	0	34	8	26	95	95	36	42	2	9	6	0	0	0	0
27	金	160	95	94	82	12	0	0	1	1	0	65	65	29	28	4	4	0	0	0	0	0
28	土	456	253	253	240	12	1	0	0	0	0	201	201	105	79	2	2	13	0	0	2	2
29	日	637	353	353	341	12	0	0	0	0	0	281	281	137	117	6	6	15	0	0	3	3
30	月	143	83	81	70	11	0	0	2	2	0	60	60	27	22	3	2	6	0	0	0	0
31	火	97	55	52	45	6	1	0	3	3	0	42	42	22	16	0	0	4	0	0	0	0
計		17,624	9,320	9,266	8,763	489	14	0	54	28	26	8,279	8,279	3,700	3,625	253	403	298	0	0	25	25

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	21	9,651	4,955	4,901	4,562	333	6	0	54	28	26	4,686	4,686	1,897	2,097	179	332	181	0	0	10	10
土日祝	10	7,973	4,365	4,365	4,201	156	8	0	0	0	0	3,593	3,593	1,803	1,528	74	71	117	0	0	15	15
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	31	17,624	9,320	9,266	8,763	489	14	0	54	28	26	8,279	8,279	3,700	3,625	253	403	298	0	0	25	25
年間TOTAL(令和3年度)																						
平　日	64	18,759	8,321	7,970	7,471	491	8	0	351	161	190	10,416	8,434	3,346	3,255	311	1,208	314	1,982	1,982	22	22
土日祝	40	32,727	17,771	17,410	16,820	565	25	0	361	345	16	14,888	14,888	7,973	5,587	346	368	614	0	0	68	68
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	104	51,486	26,092	25,380	24,291	1,056	33	0	712	506	206	25,304	23,322	11,319	8,842	657	1,576	928	1,982	1,982	90	90

開館以来の累計(開館日数　7196日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,262,997	1,781,238	1,629,098					152,138			2,477,890	1,851,261						626,629		6,862	
平　均	592	248	226					21			344	257						87			

観覧者数一覧(9月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
9/1	水	147	109	108	82	25	1	0	1	1	0	38	38	23	11	0	0	4	0	0	0	0
2	木	152	50	45	33	12	0	0	5	5	0	102	52	30	7	0	10	5	50	50	0	0
3	金	101	63	61	51	10	0	0	2	2	0	37	31	16	4	2	4	5	6	6	1	1
4	土	655	373	373	346	25	2	0	0	0	0	282	282	166	99	4	5	8	0	0	0	0
5	日	722	427	427	399	25	3	0	0	0	0	295	295	162	111	7	7	8	0	0	0	0
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	114	81	77	55	21	1	0	4	4	0	33	33	25	6	1	1	0	0	0	0	0
8	水	70	52	52	34	18	0	0	0	0	0	18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0
9	木	125	81	81	67	14	0	0	0	0	0	44	44	26	10	4	4	0	0	0	0	0
10	金	74	40	40	40	0	0	0	0	0	0	34	34	28	0	2	4	0	0	0	0	0
11	土	694	376	376	354	17	5	0	0	0	0	317	317	162	133	7	9	6	0	0	1	1
12	日	712	355	355	333	20	2	0	0	0	0	356	356	197	124	6	8	21	0	0	1	1
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	85	58	58	48	9	1	0	0	0	0	26	26	21	2	0	1	2	0	0	1	1
15	水	86	64	64	49	15	0	0	0	0	0	21	21	17	0	2	2	0	0	0	1	1
16	木	191	49	47	43	4	0	0	2	2	0	142	31	10	1	1	16	3	111	111	0	0
17	金	90	59	56	52	4	0	0	3	3	0	31	31	25	3	0	3	0	0	0	0	0
18	土	707	370	370	351	15	4	0	0	0	0	336	336	160	128	17	14	17	0	0	1	1
19	日	726	391	391	373	18	0	0	0	0	0	333	333	158	139	9	9	18	0	0	2	2
祝20	月	698	368	368	341	27	0	0	0	0	0	327	327	159	139	8	9	12	0	0	3	3
21	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	水	125	80	80	79	0	1	0	0	0	0	44	44	41	3	0	0	0	0	0	1	1
祝23	木	737	368	368	351	16	1	0	0	0	0	365	365	193	135	13	13	11	0	0	4	4
24	金	157	113	113	103	10	0	0	0	0	0	43	43	38	3	0	0	2	0	0	1	1
25	土	686	374	374	358	16	0	0	0	0	0	306	306	145	136	8	8	9	0	0	6	6
26	日	749	408	408	386	20	2	0	0	0	0	335	335	191	113	10	7	14	0	0	6	6
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	116	49	47	44	2	1	0	2	2	0	65	25	13	2	0	10	0	40	40	2	2
29	水	109	54	54	51	3	0	0	0	0	0	55	26	11	4	4	7	0	29	29	0	0
30	木	42	33	33	31	2	0	0	0	0	0	9	9	6	0	2	1	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		8,870	4,845	4,826	4,454	348	24	0	19	19	0	3,994	3,758	2,041	1,313	107	152	145	236	236	31	31

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	16	1,784	1,035	1,016	862	149	5	0	19	19	0	742	506	348	56	18	63	21	236	236	7	7
土日祝	10	7,086	3,810	3,810	3,592	199	19	0	0	0	0	3,252	3,252	1,693	1,257	89	89	124	0	0	24	24
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	8,870	4,845	4,826	4,454	348	24	0	19	19	0	3,994	3,758	2,041	1,313	107	152	145	236	236	31	31
年間TOTAL(令和3年度)																						
平 日	80	20,543	9,356	8,986	8,333	640	13	0	370	180	190	11,158	8,940	3,694	3,311	329	1,271	335	2,218	2,218	29	29
土日祝	50	39,813	21,581	21,220	20,412	764	44	0	361	345	16	18,140	18,140	9,666	6,844	435	457	738	0	0	92	92
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	130	60,356	30,937	30,206	28,745	1,404	57	0	731	525	206	29,298	27,080	13,360	10,155	764	1,728	1,073	2,218	2,218	121	121

開館以来の累計(開館日数 7222日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	4,271,867	1,786,083	1,633,924					152,157			2,481,884	1,855,019						626,865		6,893	
平 均	592	247	226					21			344	257						87			

観覧者数一覧（10月）

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
10/1	金	332	65	65	62	3	0	0	0	0	0	267	105	63	17	2	21	2	162	162	0	0
2	土	680	381	381	364	15	2	0	0	0	0	297	297	172	101	5	10	9	0	0	2	2
3	日	941	486	486	460	26	0	0	0	0	0	452	452	235	182	9	10	16	0	0	3	3
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	266	51	51	46	5	0	0	0	0	0	215	52	19	5	3	21	4	163	163	0	0
6	水	594	56	56	52	4	0	0	0	0	0	538	115	64	13	1	33	4	423	423	0	0
7	木	368	43	43	42	1	0	0	0	0	0	325	55	18	0	3	26	8	270	270	0	0
8	金	473	38	36	35	1	0	0	2	2	0	435	50	15	2	0	30	3	385	385	0	0
9	土	780	419	419	401	15	3	0	0	0	0	361	361	181	148	11	14	7	0	0	0	0
10	日	1,067	560	560	546	14	0	0	0	0	0	501	501	223	230	15	15	18	0	0	6	6
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	506	98	98	98	0	0	0	0	0	0	408	110	40	18	0	46	6	298	298	0	0
13	水	560	80	78	78	0	0	0	2	2	0	480	69	22	10	5	32	0	411	411	0	0
14	木	548	52	51	49	2	0	0	1	1	0	495	127	82	1	1	41	2	368	368	1	1
15	金	708	64	64	62	2	0	0	0	0	0	642	89	24	12	1	49	3	553	553	2	2
16	土	960	531	531	511	20	0	0	0	0	0	428	428	218	169	18	15	8	0	0	1	1
17	日	1,029	570	570	557	13	0	0	0	0	0	459	459	273	168	2	7	9	0	0	0	0
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	884	64	64	59	5	0	0	0	0	0	819	147	77	1	1	62	6	672	672	1	1
20	水	689	46	46	42	4	0	0	0	0	0	642	75	10	0	0	63	2	567	567	1	1
21	木	681	53	53	50	3	0	0	0	0	0	628	150	67	12	2	69	0	478	478	0	0
22	金	961	39	39	36	3	0	0	0	0	0	922	183	80	2	2	99	0	739	739	0	0
23	土	568	303	303	297	6	0	0	0	0	0	261	261	150	84	11	10	6	0	0	4	4
24	日	883	451	451	444	6	1	0	0	0	0	430	430	230	143	19	24	14	0	0	2	2
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	903	60	60	58	1	1	0	0	0	0	842	108	24	8	0	67	9	734	734	1	1
27	水	821	87	54	52	2	0	0	33	33	0	734	123	38	2	0	83	0	611	611	0	0
28	木	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
29	金	535	67	43	41	2	0	0	24	24	0	468	200	138	10	1	48	3	268	268	0	0
30	土	776	403	403	394	9	0	0	0	0	0	372	372	173	150	20	18	11	0	0	1	1
31	日	1,124	577	577	559	14	4	0	0	0	0	541	541	243	232	21	30	15	0	0	6	6
計		19,869	5,644	5,582	5,395	176	11	0	62	62	0	14,194	7,092	2,879	1,720	153	2,175	165	7,102	7,102	31	31

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	16	9,829	963	901	862	38	1	0	62	62	0	8,860	1,758	781	113	22	790	52	7,102	7,102	6	6
土日祝	10	8,808	4,681	4,681	4,533	138	10	0	0	0	0	4,102	4,102	2,098	1,607	131	153	113	0	0	25	25
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	27	19,869	5,644	5,582	5,395	176	11	0	62	62	0	14,194	7,092	2,879	1,720	153	2,175	165	7,102	7,102	31	31
年間TOTAL（令和3年度）																						
平　日	96	30,372	10,319	9,887	9,195	678	14	0	432	242	190	20,018	10,698	4,475	3,424	351	2,061	387	9,320	9,320	35	35
土日祝	60	48,621	26,262	25,901	24,945	902	54	0	361	345	16	22,242	22,242	11,764	8,451	566	610	851	0	0	117	117
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	157	80,225	36,581	35,788	34,140	1,580	68	0	793	587	206	43,492	34,172	16,239	11,875	917	3,903	1,238	9,320	9,320	152	152

開館以来の累計（開館日数　7249日）

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,291,736	1,791,727	1,639,506					152,219			2,496,078	1,862,111						633,967		6,924	
平　均	592	247	226					21			344	257						87			

観覧者数一覧(11月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
11/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	874	88	88	86	2	0	0	0	0	0	785	127	53	10	1	59	4	658	658	1	1
祝3	水	1,036	532	532	517	13	2	0	0	0	0	501	501	248	216	10	14	13	0	0	3	3
4	木	692	47	45	42	3	0	0	2	2	0	645	91	36	4	0	46	5	554	554	0	0
5	金	563	67	67	58	9	0	0	0	0	0	496	172	94	14	13	51	0	324	324	0	0
6	土	812	443	443	423	20	0	0	0	0	0	369	369	196	136	11	16	10	0	0	0	0
7	日	1,051	569	569	542	22	5	0	0	0	0	482	482	255	195	9	8	15	0	0	0	0
8	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	火	706	103	100	94	6	0	0	3	3	0	603	93	29	2	3	58	1	510	510	0	0
10	水	584	58	58	58	0	0	0	0	0	0	526	109	63	4	1	37	4	417	417	0	0
11	木	288	47	45	42	3	0	0	2	2	0	241	74	37	6	1	30	0	167	167	0	0
12	金	447	50	50	47	3	0	0	0	0	0	397	97	68	0	1	28	0	300	300	0	0
13	土	806	431	431	419	9	3	0	0	0	0	373	373	205	136	9	12	11	0	0	2	2
14	日	975	523	523	508	15	0	0	0	0	0	452	452	233	184	10	9	16	0	0	0	0
15	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	火	400	67	65	65	0	0	0	2	2	0	332	68	35	2	1	24	6	264	264	1	1
17	水	382	57	57	54	3	0	0	0	0	0	325	126	74	10	2	36	4	199	199	0	0
18	木	707	47	47	46	0	1	0	0	0	0	660	80	14	4	1	53	8	580	580	0	0
19	金	579	69	69	66	3	0	0	0	0	0	510	171	121	1	1	46	2	339	339	0	0
20	土	716	397	397	388	8	1	0	0	0	0	317	317	178	101	11	15	12	0	0	2	2
21	日	1,143	649	649	632	16	1	0	0	0	0	493	493	267	188	8	11	19	0	0	1	1
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
祝23	火	1,165	589	589	564	25	0	0	0	0	0	568	568	284	233	13	17	21	0	0	8	8
24	水	463	84	60	56	4	0	0	24	24	0	379	48	18	4	3	22	1	331	331	0	0
25	木	341	59	59	59	0	0	0	0	0	0	282	95	56	10	1	21	7	187	187	0	0
26	金	541	58	58	58	0	0	0	0	0	0	483	52	9	3	1	35	4	431	431	0	0
27	土	777	416	416	404	12	0	0	0	0	0	359	359	185	132	17	15	10	0	0	2	2
28	日	989	532	532	513	19	0	0	0	0	0	454	454	229	184	10	13	18	0	0	3	3
29	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	火	218	40	40	39	1	0	0	0	0	0	178	33	13	0	0	13	7	145	145	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		17,255	6,022	5,989	5,780	196	13	0	33	33	0	11,210	5,804	3,000	1,779	138	689	198	5,406	5,406	23	23

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平　日	15	7,785	941	908	870	37	1	0	33	33	0	6,842	1,436	720	74	30	559	53	5,406	5,406	2	2
土日祝	10	9,470	5,081	5,081	4,910	159	12	0	0	0	0	4,368	4,368	2,280	1,705	108	130	145	0	0	21	21
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	25	17,255	6,022	5,989	5,780	196	13	0	33	33	0	11,210	5,804	3,000	1,779	138	689	198	5,406	5,406	23	23
年間TOTAL(令和3年度)																						
平　日	111	38,157	11,260	10,795	10,065	715	15	0	465	275	190	26,860	12,134	5,195	3,498	381	2,620	440	14,726	14,726	37	37
土日祝	70	58,091	31,343	30,982	29,855	1,061	66	0	361	345	16	26,610	26,610	14,044	10,156	674	740	996	0	0	138	138
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	182	97,480	42,603	41,777	39,920	1,776	81	0	826	620	206	54,702	39,976	19,239	13,654	1,055	4,592	1,436	14,726	14,726	175	175

開館以来の累計(開館日数　7274日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,308,991	1,797,749	1,645,495					152,252			2,507,288	1,867,915						639,373		6,947	
平　均	592	247	226					21			345	257						88			

観覧者数一覧（12月）

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
12/1	水	153	60	58	53	5	0	0	2	2	0	93	36	20	4	0	4	8	57	57	0	0
2	木	464	49	46	39	7	0	0	3	3	0	415	39	7	3	2	27	0	376	376	0	0
3	金	308	55	55	54	1	0	0	0	0	0	253	82	40	12	3	19	8	171	171	0	0
4	土	714	373	373	365	7	1	0	0	0	0	340	340	155	128	13	12	32	0	0	1	1
5	日	931	463	463	443	18	2	0	0	0	0	461	461	189	182	7	8	75	0	0	7	7
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	399	51	51	51	0	0	0	0	0	0	348	50	23	4	1	22	0	298	298	0	0
8	水	353	99	63	61	2	0	0	36	2	34	253	71	40	4	1	26	0	182	182	1	1
9	木	388	33	33	33	0	0	0	0	0	0	355	88	54	2	2	30	0	267	267	0	0
10	金	386	48	48	48	0	0	0	0	0	0	337	75	23	13	5	34	0	262	262	1	1
11	土	535	282	282	269	5	8	0	0	0	0	253	253	124	101	14	14	0	0	0	0	0
12	日	740	413	413	404	9	0	0	0	0	0	327	327	212	100	7	8	0	0	0	0	0
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		5,371	1,926	1,885	1,820	54	11	0	41	7	34	3,435	1,822	887	553	55	204	123	1,613	1,613	10	10

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	7	2,451	395	354	339	15	0	0	41	7	34	2,054	441	207	42	14	162	16	1,613	1,613	2	2
土日祝	4	2,920	1,531	1,531	1,481	39	11	0	0	0	0	1,381	1,381	680	511	41	42	107	0	0	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	11	5,371	1,926	1,885	1,820	54	11	0	41	7	34	3,435	1,822	887	553	55	204	123	1,613	1,613	10	10
年間TOTAL（令和3年度）																						
平　日	118	40,608	11,655	11,149	10,404	730	15	0	506	282	224	28,914	12,575	5,402	3,540	395	2,782	456	16,339	16,339	39	39
土日祝	74	61,011	32,874	32,513	31,336	1,100	77	0	361	345	16	27,991	27,991	14,724	10,667	715	782	1,103	0	0	146	146
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	193	102,851	44,529	43,662	41,740	1,830	92	0	867	627	240	58,137	41,798	20,126	14,207	1,110	4,796	1,559	16,339	16,339	185	185

開館以来の累計（開館日数　7285日）

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,314,362	1,799,675	1,647,380					152,293			2,510,723	1,869,737						640,986		6,957	
平　均	592	247	226					21			345	257						88			

観覧者数一覧（1月）

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
1/1	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	日	980	556	556	532	23	1	0	0	0	0	422	422	177	214	12	19	0	0	0	2	2
3	月	847	489	489	462	26	1	0	0	0	0	355	355	194	143	7	8	3	0	0	3	3
4	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	水	492	253	253	239	14	0	0	0	0	0	237	237	125	91	7	14	0	0	0	2	2
6	木	357	164	164	150	14	0	0	0	0	0	193	193	85	88	5	13	2	0	0	0	0
7	金	114	61	61	58	3	0	0	0	0	0	53	53	28	12	5	8	0	0	0	0	0
8	土	643	346	346	330	13	3	0	0	0	0	295	295	182	92	10	11	0	0	0	2	2
9	日	968	532	532	517	15	0	0	0	0	0	434	434	240	174	10	10	0	0	0	2	2
祝10	月	759	381	381	375	5	1	0	0	0	0	376	376	201	143	15	14	3	0	0	2	2
11	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	水	87	51	49	45	4	0	0	2	2	0	36	36	17	5	10	4	0	0	0	0	0
13	木	94	30	30	28	2	0	0	0	0	0	64	64	3	0	39	22	0	0	0	0	0
14	金	161	32	30	23	7	0	0	2	2	0	129	21	14	0	1	6	0	108	108	0	0
15	土	453	227	227	216	9	2	0	0	0	0	226	226	112	95	10	9	0	0	0	0	0
16	日	605	331	331	313	18	0	0	0	0	0	274	274	131	119	8	10	6	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	土	393	211	211	201	8	2	0	0	0	0	180	180	120	33	3	21	3	0	0	2	2
23	日	538	297	297	284	13	0	0	0	0	0	237	237	135	79	7	16	0	0	0	4	4
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	67	42	40	36	4	0	0	2	2	0	21	21	13	4	0	1	3	0	0	4	4
26	水	86	36	34	29	5	0	0	2	2	0	50	30	12	0	3	12	3	20	20	0	0
27	木	53	36	33	30	1	2	0	3	3	0	16	16	10	0	1	5	0	0	0	1	1
28	金	104	68	68	66	2	0	0	0	0	0	36	36	30	3	0	1	2	0	0	0	0
29	土	308	177	177	171	4	2	0	0	0	0	129	129	77	42	5	5	0	0	0	2	2
30	日	520	289	289	274	13	2	0	0	0	0	231	231	103	101	11	15	1	0	0	0	0
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		8,629	4,609	4,598	4,379	203	16	0	11	11	0	3,994	3,866	2,009	1,438	169	224	26	128	128	26	26

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	11	2,462	1,262	1,251	1,166	82	3	0	11	11	0	1,190	1,062	531	346	78	94	13	128	128	10	10
土日祝	10	6,167	3,347	3,347	3,213	121	13	0	0	0	0	2,804	2,804	1,478	1,092	91	130	13	0	0	16	16
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	21	8,629	4,609	4,598	4,379	203	16	0	11	11	0	3,994	3,866	2,009	1,438	169	224	26	128	128	26	26
年間TOTAL（令和3年度）																						
平　日	129	43,070	12,917	12,400	11,570	812	18	0	517	293	224	30,104	13,637	5,933	3,886	473	2,876	469	16,467	16,467	49	49
土日祝	84	67,178	36,221	35,860	34,549	1,221	90	0	361	345	16	30,795	30,795	16,202	11,759	806	912	1,116	0	0	162	162
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	214	111,480	49,138	48,260	46,119	2,033	108	0	878	638	240	62,131	45,664	22,135	15,645	1,279	5,020	1,585	16,467	16,467	211	211

開館以来の累計（開館日数　7306日）

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,322,991	1,804,284	1,651,978					152,304			2,514,717	1,873,603						641,114		6,983	
平　均	592	247	226					21			344	256						88			

観覧者数一覧(2月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
2/1	火	74	49	47	42	5	0	0	2	2	0	24	24	19	1	0	3	1	0	0	1	1
2	水	89	49	49	49	0	0	0	0	0	0	40	40	23	11	2	4	0	0	0	0	0
3	木	42	24	24	22	2	0	0	0	0	0	14	14	11	0	0	2	1	0	0	4	4
4	金	69	45	44	42	2	0	0	1	1	0	24	24	20	1	0	3	0	0	0	0	0
5	土	408	223	223	215	8	0	0	0	0	0	184	184	103	46	16	17	2	0	0	1	1
6	日	606	337	337	330	6	1	0	0	0	0	267	267	166	93	1	7	0	0	0	2	2
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	118	51	51	38	11	2	0	0	0	0	66	66	49	0	2	15	0	0	0	1	1
9	水	54	30	30	24	6	0	0	0	0	0	23	23	17	2	1	3	0	0	0	1	1
10	木	40	29	29	23	6	0	0	0	0	0	11	11	7	1	0	3	0	0	0	0	0
祝11	金	444	250	250	242	5	3	0	0	0	0	193	193	120	57	7	7	2	0	0	1	1
12	土	577	323	323	295	23	5	0	0	0	0	254	254	148	82	8	14	2	0	0	0	0
13	日	663	359	359	337	16	6	0	0	0	0	302	302	178	97	7	20	0	0	0	2	2
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	土	523	309	309	290	19	0	0	0	0	0	213	213	131	67	6	9	0	0	0	1	1
20	日	636	361	361	342	14	5	0	0	0	0	271	271	172	88	7	4	0	0	0	4	4
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	140	56	56	42	14	0	0	0	0	0	84	84	72	2	1	9	0	0	0	0	0
祝23	水	770	401	401	384	16	1	0	0	0	0	369	369	220	131	8	10	0	0	0	0	0
24	木	211	67	66	64	2	0	0	1	1	0	144	61	43	4	1	13	0	83	83	0	0
25	金	198	56	54	45	9	0	0	2	2	0	142	63	43	4	1	15	0	79	79	0	0
26	土	465	251	251	244	5	2	0	0	0	0	210	210	112	76	10	10	2	0	0	4	4
27	日	788	433	433	413	20	0	0	0	0	0	352	352	197	139	7	9	0	0	0	3	3
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		6,915	3,703	3,697	3,483	189	25	0	6	6	0	3,187	3,025	1,851	902	85	177	10	162	162	25	25

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平 日	10	1,035	456	450	391	57	2	0	6	6	0	572	410	304	26	8	70	2	162	162	7	7
土日祝	10	5,880	3,247	3,247	3,092	132	23	0	0	0	0	2,615	2,615	1,547	876	77	107	8	0	0	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	20	6,915	3,703	3,697	3,483	189	25	0	6	6	0	3,187	3,025	1,851	902	85	177	10	162	162	25	25
年間TOTAL(令和3年度)																						
平 日	139	44,105	13,373	12,850	11,961	869	20	0	523	299	224	30,676	14,047	6,237	3,912	481	2,946	471	16,629	16,629	56	56
土日祝	94	73,058	39,468	39,107	37,641	1,353	113	0	361	345	16	33,410	33,410	17,749	12,635	883	1,019	1,124	0	0	180	180
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合 計	234	118,395	52,841	51,957	49,602	2,222	133	0	884	644	240	65,318	48,689	23,986	16,547	1,364	5,197	1,595	16,629	16,629	236	236

開館以来の累計(開館日数 7326日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	4,329,906	1,807,987	1,655,675					152,310			2,517,904	1,876,628						641,276		7,008	
平 均	591	247	226					21			344	256						88			

観覧者数一覧(3月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
3/1	火	83	54	54	41	12	1	0	0	0	0	29	29	22	4	0	3	0	0	0	0	0
2	水	67	44	44	33	9	2	0	0	0	0	23	23	19	4	0	0	0	0	0	0	0
3	木	81	48	48	42	6	0	0	0	0	0	33	33	23	1	6	3	0	0	0	0	0
4	金	352	60	60	57	1	2	0	0	0	0	292	223	180	4	0	37	2	69	69	0	0
5	土	490	284	284	266	17	1	0	0	0	0	205	205	106	85	7	7	0	0	0	1	1
6	日	764	447	447	425	20	2	0	0	0	0	317	317	199	102	8	8	0	0	0	0	0
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	158	56	53	40	13	0	0	3	3	0	101	101	86	1	2	12	0	0	0	1	1
9	水	178	75	75	58	17	0	0	0	0	0	103	103	87	1	3	12	0	0	0	0	0
10	木	102	61	61	47	14	0	0	0	0	0	41	41	32	6	0	3	0	0	0	0	0
11	金	128	65	65	49	16	0	0	0	0	0	63	60	46	4	1	8	1	3	3	0	0
12	土	525	299	299	275	21	3	0	0	0	0	225	225	116	95	6	8	0	0	0	1	1
13	日	701	374	374	357	13	4	0	0	0	0	327	327	184	122	10	11	0	0	0	0	0
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	52	38	38	30	8	0	0	0	0	0	14	14	11	3	0	0	0	0	0	0	0
16	水	58	39	37	30	7	0	0	2	2	0	17	17	12	4	0	1	0	0	0	2	2
17	木	108	53	53	40	13	0	0	0	0	0	55	33	25	1	1	4	2	22	22	0	0
18	金	275	173	173	138	35	0	0	0	0	0	102	102	74	16	5	5	2	0	0	0	0
19	土	764	418	418	398	18	2	0	0	0	0	341	341	163	137	8	7	26	0	0	5	5
20	日	890	509	509	488	21	0	0	0	0	0	381	381	191	155	7	7	21	0	0	0	0
祝21	月	857	429	429	411	15	3	0	0	0	0	421	421	194	183	11	12	21	0	0	7	7
22	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	水	166	79	78	72	6	0	0	1	1	0	87	78	32	24	4	10	8	9	9	0	0
24	木	222	101	99	76	20	3	0	2	2	0	118	118	64	40	3	9	2	0	0	3	3
25	金	195	107	107	93	10	4	0	0	0	0	88	88	60	23	0	3	2	0	0	0	0
26	土	901	489	489	462	25	2	0	0	0	0	412	412	195	176	9	13	19	0	0	0	0
27	日	972	509	509	486	21	2	0	0	0	0	462	462	217	190	15	15	25	0	0	1	1
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	849	299	295	276	19	0	0	4	4	0	550	550	140	344	15	42	9	0	0	0	0
30	水	486	210	207	197	8	2	0	3	3	0	276	276	92	133	15	19	17	0	0	0	0
31	木	482	218	213	199	13	1	0	5	5	0	264	264	71	148	18	19	8	0	0	0	0
計		10,906	5,538	5,518	5,086	398	34	0	20	20	0	5,347	5,244	2,641	2,006	154	278	165	103	103	21	21

	日数	観覧合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平　日	18	4,042	1,780	1,760	1,518	227	15	0	20	20	0	2,256	2,153	1,076	761	73	190	53	103	103	6	6
土日祝	9	6,864	3,758	3,758	3,568	171	19	0	0	0	0	3,091	3,091	1,565	1,245	81	88	112	0	0	15	15
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	27	10,906	5,538	5,518	5,086	398	34	0	20	20	0	5,347	5,244	2,641	2,006	154	278	165	103	103	21	21
年間TOTAL(令和3年度)																						
平　日	157	48,147	15,153	14,610	13,479	1,096	35	0	543	319	224	32,932	16,200	7,313	4,673	554	3,136	524	16,732	16,732	62	62
土日祝	103	79,922	43,226	42,865	41,209	1,524	132	0	361	345	16	36,501	36,501	19,314	13,880	964	1,107	1,236	0	0	195	195
無料日	1	1,232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,232	1,232	0	0	0	1,232	0	0	0	0	0
合　計	261	129,301	58,379	57,475	54,688	2,620	167	0	904	664	240	70,665	53,933	26,627	18,553	1,518	5,475	1,760	16,732	16,732	257	257

開館以来の累計(開館日数　7353日)

	観覧合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	4,340,812	1,813,525	1,661,193					152,330			2,523,251	1,881,872						641,379		7,029	
平　均	590	247	226					21			343	256						87			

１１　職員名簿

職　　名		氏　　名	当館における履歴
名　誉　館　長		長谷川　善和	H7.4～H8.3 建設準備室参与 H8.4～H22.3 館長 H22.4～ 名誉館長
特　別　館　長		真鍋　真	R2.4～
館　長		石井　年香	R2.4～R4.3
次　長（総務係長）		根岸　政彦	R3.4～
次　長（地学研究係長）		篠原　克実	H23.4～H27.3 学芸係主幹 R3.4～
総　務　係	主　幹	島崎　希美子	H10.4～H13.3 R3.4～
	主　任	畑　祐栄	H13.4.～H19.3 H28.4～
	会年職員	坂　美希十	R4.1～
教育普及係	教育普及係長	静野　聡	H6.4～H7.3 建設準備室（嘱託） H27.4～H28.3 学芸係主幹 H28.4～R2.3 教育普及係主幹 R2.4～R4.3
	主　幹	月田　典寿	H11.4～H12.3 資料整理員（嘱託） H27.4～
	主　幹	橋本真里子	R2.4～
	副主幹	石川直紀	H30.4～
地学研究係	主幹（学芸員）	髙桑　祐司	H5.4～H8.3 建設準備室 H8.4～
	主　幹	鳥羽隆敏	R2.4～
	副主幹 （学芸員）	菅原　久誠	H25.4～
生物研究係	生物研究係長 （学芸員）	木村　敏之	H14.4～H15.3 教育普及係 H15.4～H31.3 学芸係 H31.4～
	主　幹	高橋　克之	H12.4～
	主　幹	大森　威宏	H10.4～
	主幹（学芸員）	姉崎　智子	H17.4～
	副主幹	伊藤智史	H29.4～
展示解説員 （会年職員）		髙橋　弘美　外所　宏美　佐々木　尚子　松本　恵利那 林　夏希　坂田　由佳　北詰　千紘　福島　紗羽（R3.9～）	